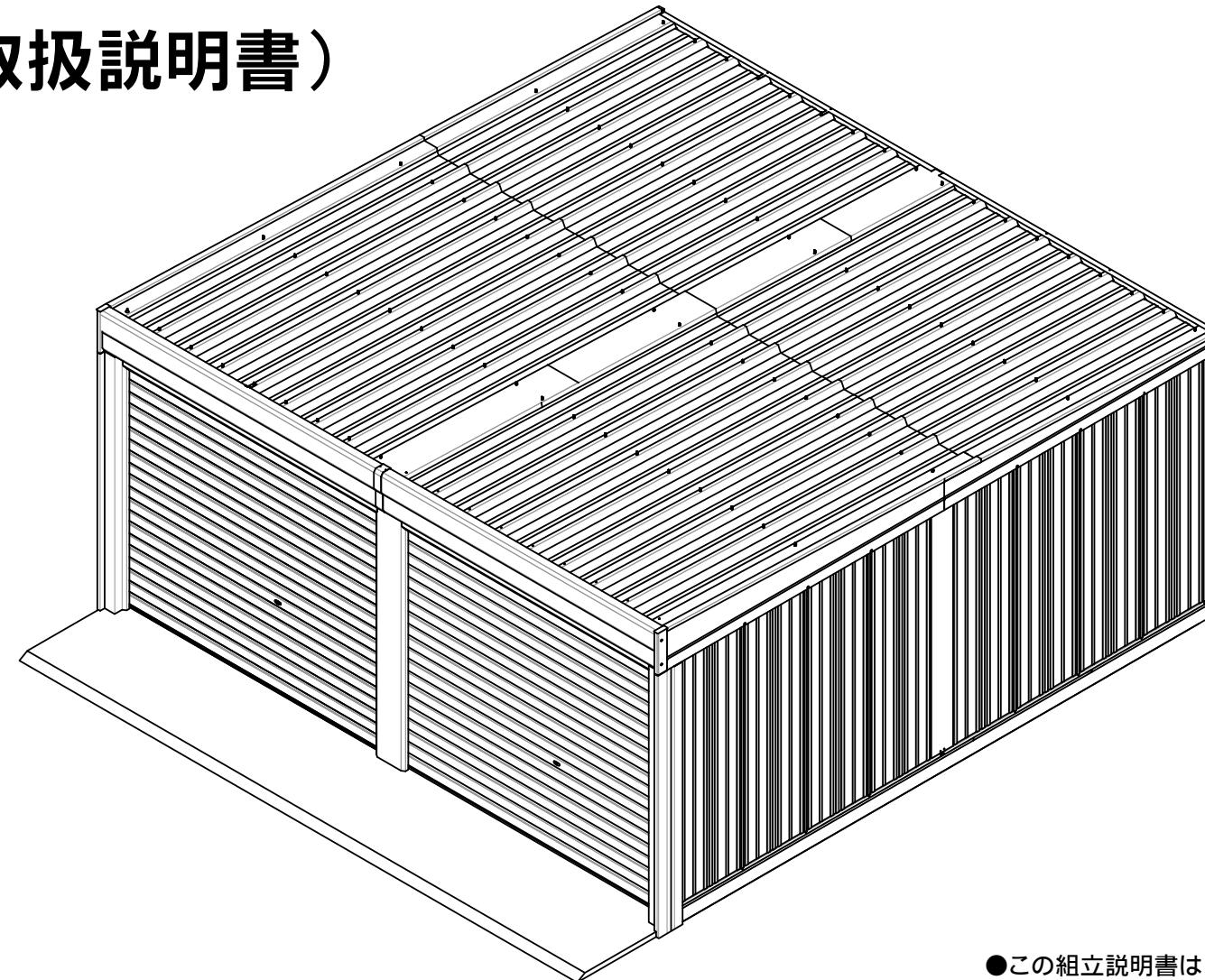


タクボガレージ (連棟用)

- ベルフォーマスクード(オーバースライド扉仕様)
- カールフォーマスクード(巻取シャッター扉仕様)

共通組立説明書(取扱説明書)

ベルフォーマ スクード (オーバースライド扉仕様) 品番	カールフォーマ スクード (巻取シャッター扉仕様) 品番
XS-2753L	YS-2753L
XS-2760L	YS-2760L
XS-2765L	YS-2765L
XS-3153L	YS-3153L
XS-3160L	YS-3160L
XS-3165L	YS-3165L
XS-3453L	YS-3453L
XS-3460L	YS-3460L
XS-3465L	YS-3465L
XM-2753L	YM-2753L
XM-2760L	YM-2760L
XM-2765L	YM-2765L
XM-3153L	YM-3153L
XM-3160L	YM-3160L
XM-3165L	YM-3165L
XM-3453L	YM-3453L
XM-3460L	YM-3460L
XM-3465L	YM-3465L
XL-2753L	YL-2753L
XL-2760L	YL-2760L
XL-2765L	YL-2765L
XL-3153L	YL-3153L
XL-3160L	YL-3160L
XL-3165L	YL-3165L
XL-3453L	YL-3453L
XL-3460L	YL-3460L
XL-3465L	YL-3465L

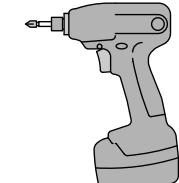
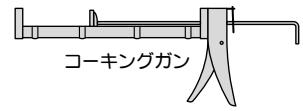


●この組立説明書は XM-3460L を主な例に説明しています。

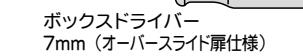
安全に組み立てていただくために・・・

- お買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立ててください。
 - 特に〈1.組立前に必ずお読みください〉をよくご覧ください。
 - 施工業者様へ：組立完成後、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
 - 強風時などに備え、転倒予防措置には十分なご配慮をお願いします。
- 特に安全が確認できない屋上等、高所への設置はお避けください。

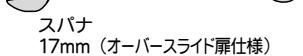
組立に必要な工具



インパクトドライバー



ペンチ
(オーバースライド扉仕様)



スパナ
(オーバースライド扉仕様)

1.組立前に必ずお読みください

ここに記載してある内容は、タクボガレージを安全に組立・ご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。

■危害・損害の程度による内容について

△ 注意	取り扱いを誤ると、お客様が重傷などの人的損害を負う危険、または物的損害の発生する可能性があります。
[留意事項]	ここに書かれている内容をお守りにならなかった場合、軽いケガや物的損害の発生する可能性があります。

1-1.製品の仕様についてのご注意

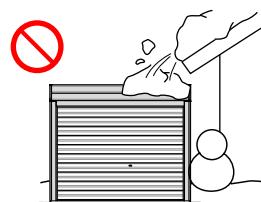
△ 注意

- 設置現場で部材を組み立てる製品の特性上、多少の隙間（光が漏れる程度）が生じます。
- 製品の構造上、完全な防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。
- 上記2点の問題により、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合がありますのでご注意ください。
- 運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。

1-2.設置場所についてのご注意

△ 注意

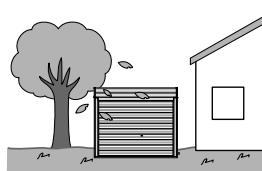
- 屋根などの雪が落下する恐れがある場所への設置は避けてください。ガレージは柱構造のため、安全性を高めた設計構造ですが、万が一破損、または倒壊してケガをする可能性があり危険です。
- 崖の縁など、安全の確認できない場所への設置は避けてください。また、ビルの屋上などへの設置も避けてください。強風により転倒したり、部品が落下する可能性があり危険です。



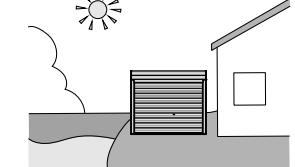
- 地盤が軟らかい場所は、地固めを行ってから設置してください。扉の開閉が重くなったり雨漏りの恐れがあります。



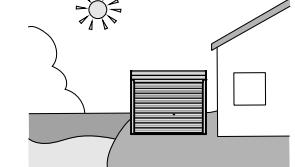
- 木の下付近は落ち葉等で雨樋が詰まり、雨漏りや腐食の原因となることがあります。
- 隣地境界線付近（雨水の排水・跳ね返り、落雪、日照の妨げ等に対する近隣への配慮が必要です）



- 薬品・融雪剤等の影響を受ける場所では、ガレージ本体の変色や腐食の原因となることがあります。



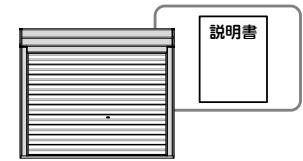
- 塩害を受ける場所（海沿いの地域等）は、ガレージ本体の腐食の原因となることがあります。定期的な水洗いを推奨します。
- 建物に隣接する時は、屋根の出幅・組立施工に必要な所定のスペースを確保してください。



1-3.組立にあたってのご注意

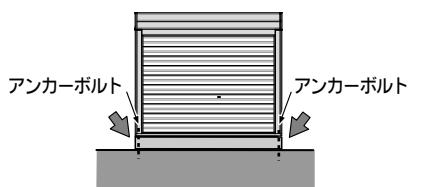
組立前に！

- 組立前には、まず組立説明、取扱説明をよくお読みください。また、組立完了後は、説明書をお客様が大切に保管してください。



△ 注意

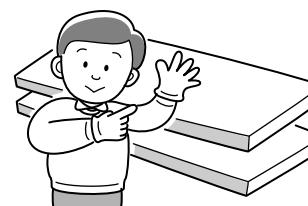
- 転倒予防のため、所定の基礎打設作業を必ず行ってください。指定の作業が行われていないと倒壊、または破損してケガをする可能性があり危険です。



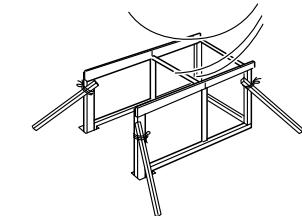
- 風の強い日は施工を避けてください。強風のため部材の転倒による破損、または部材が飛ぶなどしてケガをする可能性があり危険です。



- 組立時は、必ず手袋、長袖シャツや作業着といった保護具を着用してください。万全を期していますが、部材の角や端部などでケガをする恐れがあります。

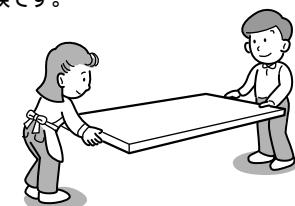


- 組立途中での放置は避けてください。やむを得ず組立途中に離れる場合は、支え柱やロープによる部材固定を行ってください。強風により部材が飛散・転倒してケガや破損をする可能性があり危険です。

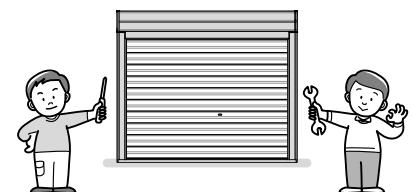


【留意事項】

- 重量部材（特に30kg以上）の運搬は、必ず二人以上で行ってください。ケガをしたり、腰を痛めるなどの可能性があり危険です。



- お客様が組立を行う場合は、必ず二人以上で行ってください。無理に一人で作業を行うと、組立中の部材が転倒したり、落下したりして非常に危険です。



- 組立完了後、ボルトの締め付けや金具類の取り付け忘れないかなどをご確認ください。正しく組み立てられてないと所定の強度が確保できなくなります。



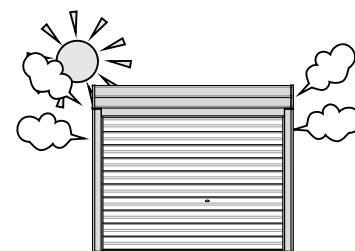
1-4. 安全にご使用いただくためのご注意

⚠ 注意

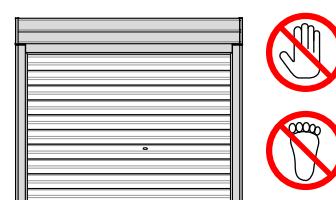
- 他の建物の上からガレージの屋根に飛び乗るなどの行為は行わないでください。ケガをする恐れがあり危険です。



- 直射日光によりガレージが熱くなる場合があります。やけどに注意してください。



- 扉・窓の開閉時に、手や足を挟まないよう注意してください。ケガをする恐れがあります。



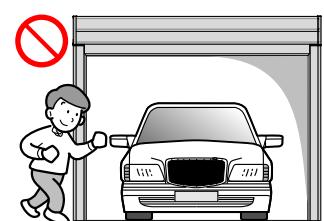
- 台風等の暴風雨などにより、商品の機能を超える事態が発生するとシャッター や本体が飛ばされるような事態になったり、庫内に雨水が侵入することがあります。災害が予想される場合には、本施錠の上、角材や別売のシャッター補強棒で補強するとか、事前に収納物を移動させるなどの対策をお願いします。



- 屋根の上に物を載せたり、人が乗ったり、ぶら下がるなどの行為はしないでください。転倒や落下によりケガをしたり、破損などの原因になる恐れがあります。



- 閉まりかけている扉の下に走り込まないでください。ケガや死亡事故につながる恐れがあります。



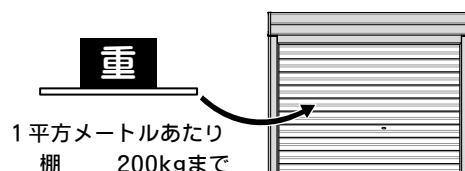
- 電気配線や改造・変更などを行う場合は、必ず専門の業者にご相談ください。お客様が独自に改造などをされますと、強度などの問題により、ケガなどの人的損害や物的損害などを与える恐れがあります。



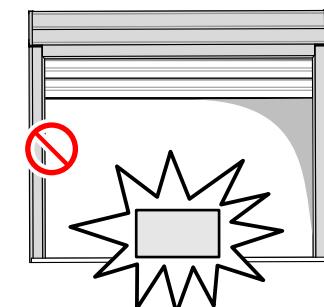
⚠ 注意

- 棚は許容耐荷重以上のものは載せないでください。

許容耐荷重は、等分布荷重で1平方メートルあたり2000N(200kgf)までです。荷物を載せるときは、静かに載せてください。これを超えた荷物を載せると棚が破損したり、変形して荷物の落下によりケガなどの原因になる恐れがあります。



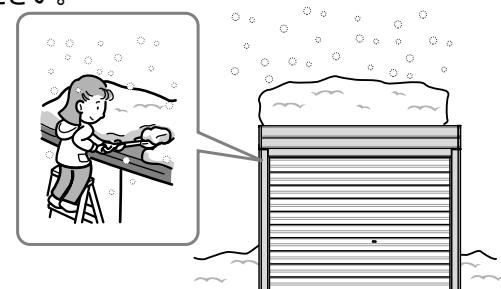
- 扉の下方に物を置かないでください。扉の落下により物が壊れる恐れがあります。



⚠ 注意

●積雪時のご注意

- 1) 雪下ろし・雪庇落としは早めに行ってください。
※ 安全のため、最大積雪基準を目安に雪下ろしをしてください。
□ 一般地用 … 1200N/m² (120kgf/m²) … 60cm以下
□ 多雪地用 … 3000N/m² (300kgf/m²) … 100cm以下
 - 2) 雪下ろしを行う際は、できるだけ屋根には上がらずに作業してください。屋根に上がる際は、落下・転倒に十分ご注意してください。
 - 3) ガレージ周囲の雪も早めに取り除いてください。
 - 4) 雪下ろしのために水を掛けないでください。水を含んだ雪は重くなり、本体破損やすがもれの原因になります。
 - 5) 積雪量が多く、寒暖差が大きい時に、すがもれ現象が生じやすくなります。早めに雪下ろしや軒樋付近の氷を取り除いてください。濡れて困るような収納物は、ビニール等で覆ってください。
- ※ 許容耐荷重を超えた積雪の場合は、人的被害や収納物の破損などの事故につながる可能性がありますのでご注意ください。

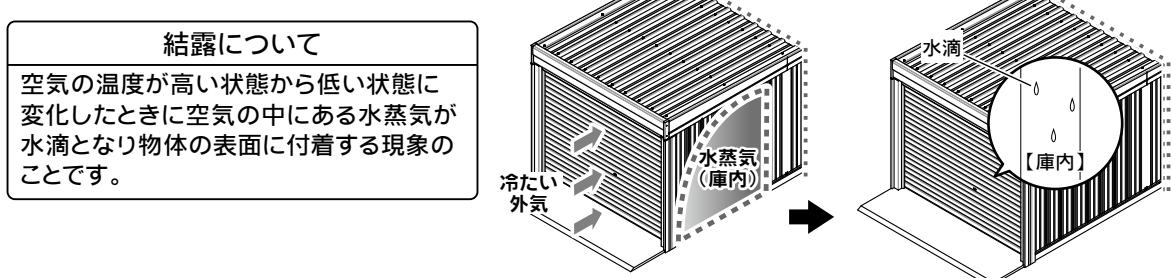


⚠ 注意

庫内と外気の温度差が大きくなると、庫内に結露が発生する自然現象が生じます。結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。また、換気を行うなどをして外気との温度差を少なくすることで結露の発生を軽減できます。

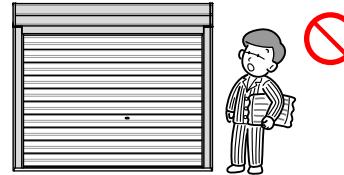
結露について

空気の温度が高い状態から低い状態に変化したときに空気の中にある水蒸気が水滴となり物体の表面に付着する現象のことです。



【留意事項】

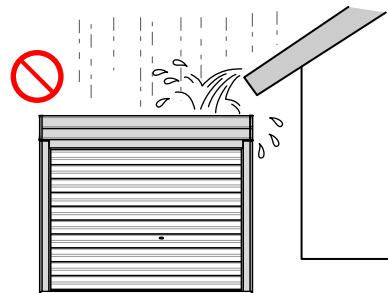
●ガレージは、物の収納用として設計されていますので、他の目的（遊び場、住居の一部など）には絶対に使用しないでください。ケガなどの事故につながる可能性があります。



●ガレージの中では、子どもを遊ばせないでください。ケガなどをすることがあります。

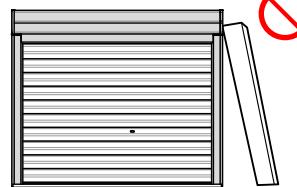


●家の屋根などから、雨水がガレージの上に直接落ちないようにしてください。雨漏りの原因になることがあります。



●ガレージに物を立てかけないでください。

強風による物の転倒や飛散も考えられ、危険です。



●ガレージは柱構造のため、頑丈につくられていますが、搖すったりする無理な扱いはケガなどにつながることがあります。

●シャッターの内側に水が入ってくる場合があるので、濡れて困るものをシャッターの近くに置かないでください。

●シャッターの屋外側に横向きの風雨があたった場合、シャッターの庫内側に水が伝わり、濡れることがあります。

●シャッターが雨などに濡れているときに開閉すると、シャッターの屋外側と庫内側が重なるため、庫内側に水滴がつくことがあります。

●地域・気候・使用条件などにより、ガレージ内に結露が発生します。結露水が落ちる場合がありますので、その付近に濡れては困る物を置かないでください。

●高温・多湿などにより変色・変形が生じる恐れがあるものは、収納を避けてください。

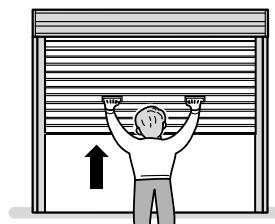
●化学肥料や農薬・塩分の出る可能性のあるものを棚にのせる場合は、必ず受け皿や敷物をお使いください。（サビの発生の原因になります。）

●タイヤは、よく水洗いしてから収納してください。融雪剤の塩素がサビの原因になります。

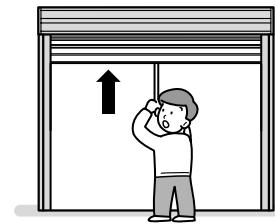
巻取シャッターの開閉方法

【巻上げスピードが早いと、破損の原因になります。以下の事項を守って下さい。】

1. 手掛けをもって、水切りが胸の位置にくるくらいまで静かに引き上げます。

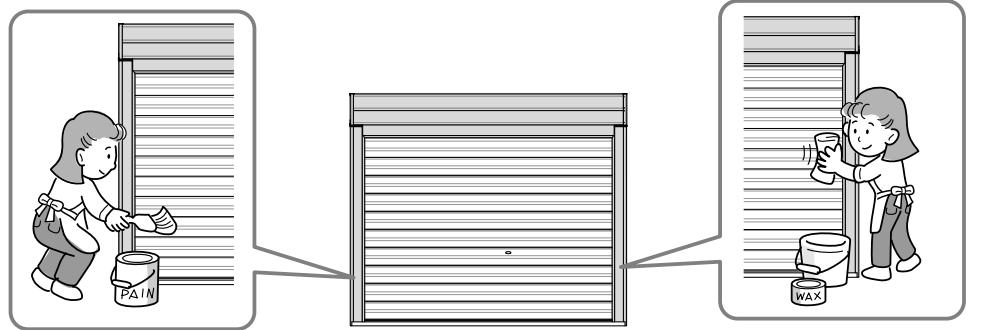


2. シャッター引き下げ棒を水切りの穴にかけ、静かに押し上げます。

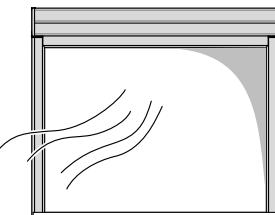


お手入れについて！

●長期間ご使用になると、様々な傷ができることがあります。傷はなるべく早めに補修しましょう。また、可動部品に劣化が見られた場合は交換をお願いします。

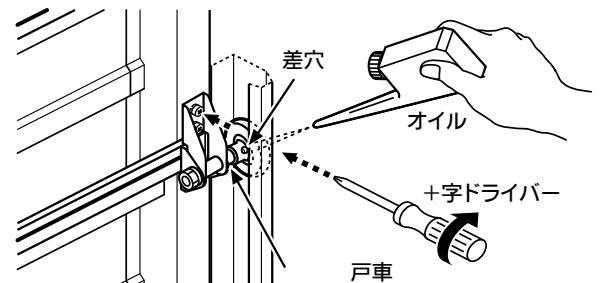


●時々シャッターを開けるなどして、換気をしてください。



【オーバースライド扉仕様の場合】

●半年に1~2回、左右レールの中の戸車軸、及び差穴へオイルを塗ってください。



●ガレージ内部に結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。

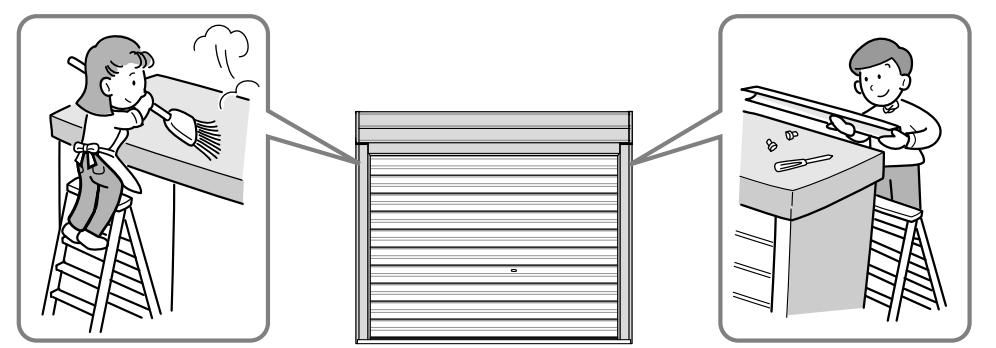
※結露は自然現象です。ガレージの設置場所・環境によっては結露が発生する場合があります。

●屋根や軒樋・レールなどに枯れ葉やゴミがたまらないように、定期的に清掃を行いましょう。

注意

屋根の上には乗らないでください。ケガをする可能性があり危険です。

※軒樋のゴミを取り除く時は、軒樋を取り外してください。詳しくは組立説明書をご覧ください。（57ページ「30.軒樋・軒樋止め金具の組立」の逆の手順で外してください）



2. 部品一覧表

2-1. 部品のチェック

各部品にはシールが貼ってあります。

(注: 部品の中にはシールを貼っていないものもあります。シールのないものは部品のナンバーの右に*がついています。)

F253
47

商品の分類番号です。

部品のナンバー(47は、組立手順の最初に出てくる 台枠水切り左右前 です。)

シールの下半分のナンバーで、部品を確認してください。

(例)

本組立説明書の中では右のようなマークで部品を表しています。

47

名 称	品番	機種別個数																																					
		XS・YSタイプ												XM・YMタイプ												XL・YLタイプ													
		2753L	2760L	2765L	3153L	3160L	3165L	3453L	3460L	3465L	2753L	2760L	2765L	3153L	3160L	3165L	3453L	3460L	3465L	2753L	2760L	2765L	3153L	3160L	3165L	3453L	3460L	3465L	2753L	2760L	2765L	3153L	3160L	3165L	3453L	3460L	3465L		
左台枠前	G253_01	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
左台枠後	G253_02	1				1			1			1			1			1			1			1			1			1			1						
	G260_02		1				1			1			1			1			1			1			1			1			1			1					
	G265_02			1				1			1			1			1			1			1			1			1			1			1				
右台枠前	G253_03	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
右台枠後	G253_04	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1			1			1				
	G260_04		1				1			1			1			1			1			1			1			1			1			1					
	G265_04			1				1			1			1			1			1			1			1			1			1			1				
後台枠	G253_05	1	1	1	1	1	1							1	1	1	1	1	1							1	1	1	1	1	1	1							
	G353_05						1	1	1	1	1	1							1	1	1	1	1	1						1	1	1	1	1	1	1			
	G453_05										1	1	1	1	1	1																			1	1	1	1	1
前コーナー柱左	XS53_06	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	XM53_06													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	XL53_06																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
前コーナー柱右	XS53_07	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	XM53_07													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	XL53_07																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
縦力バー左	XS53_206	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	XM53_206													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	XL53_206																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
縦力バー右	XS53_207	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	XM53_207													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	XL53_207																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
後コーナー柱左	G253_08	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	M253_08													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	J253_08																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
後コーナー柱右	G253_09	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																										
	M253_09													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	J253_09																									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
中間柱	G253_10	13	3	15	3	17	3	14	4	16	4	18	4	14	4	16	4	18	4																				
	M253_10																			13	3	15	3	17	3	14	4	16	4	18	4	14	4	16	4	18	4		

名 称	品番	機種別個数																																									
		XS・YSタイプ										XM・YMタイプ										XL・YLタイプ																					
		独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟	独立	連棟												
軒樋	G253 28	1	1	1	1	1	1																																				
	G353 28					1	1	1	1	1	1																																
	G453 28											1	1	1	1	1	1	1														1	1	1	1	1	1						
屋根板前	F253 29	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5					
屋根板後	F253 31	4	4			4	4			5	5			4	4			4	4			5	5			4	4						4	4		5	5						
	F260 31			4	4			4	4			5	5			4	4			4	4			5	5			4	4			4	4			5	5						
	F265 31					4	4			4	4			5	5			4	4			4	4			5	5										5	5					
屋根水切り左前	F253 33	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
屋根水切り左後	F253 34	1				1				1				1				1				1				1				1						1							
	F260 34			1				1				1			1			1				1				1				1						1							
	F265 34					1				1				1				1				1				1				1						1							
屋根水切り右前	F253 35	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
屋根水切り右後	F253 36	1				1				1				1				1				1				1				1						1							
	F260 36			1				1				1			1			1				1				1				1						1							
	F265 36					1				1				1				1				1				1				1						1							
台枠水切り左右前	F253 47	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
台枠水切り後	F453 50	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6					
角アンカー金具	G253 51*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
台枠継ぎ金具	G253 52*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
縦力バー繋ぎ	X253 53*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
縦力バー上キャップ	X253 54*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
縦力バー上	X253 55	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
軒樋止め金具	G253 56*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
屋根サドル	G253 57*	32	32	40	40	45	45	36	36	45	45	45	45	50	50	50	50	32	32	40	40	45	45	36	36	45	45	45	45	50	50	50	50	32	32	45	45	45	45	50	50	50	50
台枠穴カバー(アイボリープラック)	G253 58*	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6					
屋根コーナーカバー前左	G253 59	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
屋根コーナーカバー前右	G253 60	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
屋根コーナーカバー後左	G253 61	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
屋根コーナーカバー後右	G253 62	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
間口仮固定棒	G253 63	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
前化粧板止め金具上	G253 65*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
前化粧板止め金具下	G253 66*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
前柱連棟	S253 101	1	1	1	1	1																																					

【ベルフォーマ用（オーバースライド扉）組立部品

* のついている部品にはシールがはられていません。予備を含んだ個数です。()は、予備の数量です。

【カールフォーマー用(巻取シャッター扉)組立部品】

* のついている部品にはシールがはられていません。予備を含んだ個数です。()は、予備の数量です。

【S型(多雪型)用組立部品】

名称	品番	機種別個数																																
		XS・YSタイプ										XM・YMタイプ										XL・YLタイプ												
		独立	連棟																															
中央母屋S型	G253 314	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	G353 314						1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1			
	G453 314									1	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1
一般母屋S型	G253 315	5	5	6	6	7	7							5	5	6	6	7	7					5	5	6	6	7	7					
	G353 315					5	5	6	6	7	7					5	5	6	6	7	7				5	5	6	6	7	7				
	G453 315							5	5	6	6	7	7					5	5	6	6	7	7				5	5	6	6	7	7		
中央母屋内材	G253 324	1	1	1	1	1	1	1						1	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1				
	G353 324					1	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1			
	G453 324							1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	
一般母屋内材	G253 325	5	5	6	6	7	7						5	5	6	6	7	7					5	5	6	6	7	7						
	G353 325					5	5	6	6	7	7				5	5	6	6	7	7				5	5	6	6	7	7					
	G453 325						5	5	6	6	7	7					5	5	6	6	7	7				5	5	6	6	7	7			
支柱	S253 351	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	M253 351													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	J253 351																					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
支柱継ぎ金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
アンカー棒		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
支柱下金具		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
アジャスター		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
M6×55 六角ボルト (アブセットセムスM6×55棒先)	21 (1)	21 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	21 (1)	21 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	25 (5)	25 (5)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	21 (1)	21 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	21 (1)	21 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)				
M6×75 六角ボルト (アブセットセムスM6×75棒先)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			
M6 フランジ付六角ナット (フランジNT M6)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	33 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	33 (1)	33 (1)	33 (1)	25 (5)	25 (5)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	33 (1)	33 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)	33 (1)	33 (1)	25 (1)	25 (1)	29 (1)	29 (1)				
M8×20 フランジ付六角ボルト (フランジ付 M8X20 あら先)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				

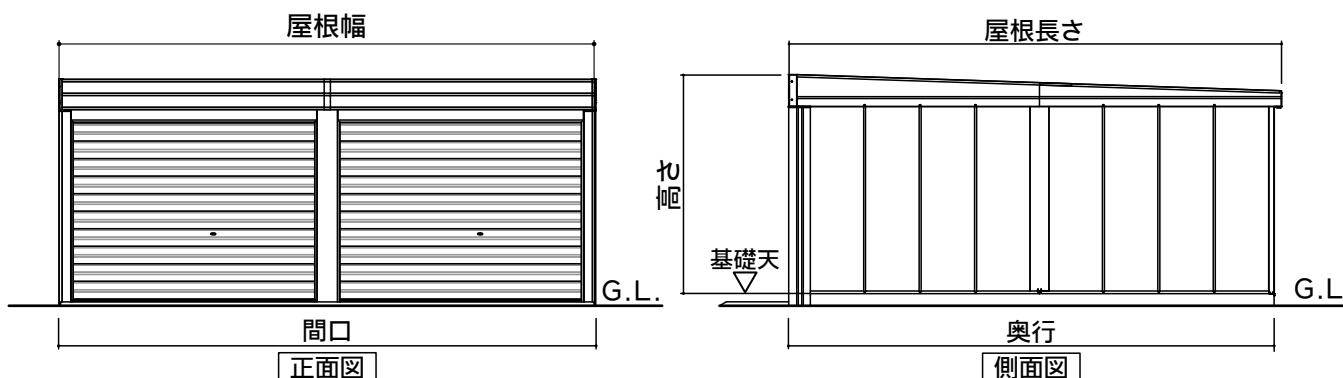
3. サイズ表 (ベルフォーマ・カールフォーマ 共通)

■ 2連棟・3連棟のサイズ一覧表 (単位はmm: 奥行・屋根長さ・高さは連棟数が増えても共通です。)

基本となる機種	連棟数	間 口	屋根幅	奥 行	屋根長さ	高 さ
XS・YS-2753	2連棟	5508	5508	5432	5522	2450
	3連棟	8242	8242			
XS・YS-2760	2連棟	5508	5508	6132	6222	2450
	3連棟	8242	8242			
XS・YS-2765	2連棟	5508	5508	6648	6738	2450
	3連棟	8242	8242			
XS・YS-3153	2連棟	6208	6208	5432	5522	2450
	3連棟	9292	9292			
XS・YS-3160	2連棟	6208	6208	6132	6222	2450
	3連棟	9292	9292			
XS・YS-3165	2連棟	6208	6208	6648	6738	2450
	3連棟	9292	9292			
XS・YS-3453	2連棟	6908	6908	5432	5522	2450
	3連棟	10342	10342			
XS・YS-3460	2連棟	6908	6908	6132	6222	2450
	3連棟	10342	10342			
XS・YS-3465	2連棟	6908	6908	6648	6738	2450
	3連棟	10342	10342			

基本となる機種	連棟数	間 口	屋根幅	奥 行	屋根長さ	高 さ
XM・YM-2753	2連棟	5508	5508	5432	5522	2763
	3連棟	8242	8242			
XM・YM-2760	2連棟	5508	5508	6132	6222	2763
	3連棟	8242	8242			
XM・YM-2765	2連棟	5508	5508	6648	6738	2763
	3連棟	8242	8242			
XM・YM-3153	2連棟	6208	6208	5432	5522	2763
	3連棟	9292	9292			
XM・YM-3160	2連棟	6208	6208	6132	6222	2763
	3連棟	9292	9292			
XM・YM-3165	2連棟	6208	6208	6648	6738	2763
	3連棟	9292	9292			
XM・YM-3453	2連棟	6908	6908	5432	5522	2763
	3連棟	10342	10342			
XM・YM-3460	2連棟	6908	6908	6132	6222	2763
	3連棟	10342	10342			
XM・YM-3465	2連棟	6908	6908	6648	6738	2763
	3連棟	10342	10342			

基本となる機種	連棟数	間 口	屋根幅	奥 行	屋根長さ	高 さ
XL・YL-2753	2連棟	5508	5508	5432	5522	3250
	3連棟	8242	8242			
XL・YL-2760	2連棟	5508	5508	6132	6222	3250
	3連棟	8242	8242			
XL・YL-2765	2連棟	5508	5508	6648	6738	3250
	3連棟	8242	8242			
XL・YL-3153	2連棟	6208	6208	5432	5522	3250
	3連棟	9292	9292			
XL・YL-3160	2連棟	6208	6208	6132	6222	3250
	3連棟	9292	9292			
XL・YL-3165	2連棟	6208	6208	6648	6738	3250
	3連棟	9292	9292			
XL・YL-3453	2連棟	6908	6908	5432	5522	3250
	3連棟	10342	10342			
XL・YL-3460	2連棟	6908	6908	6132	6222	3250
	3連棟	10342	10342			
XL・YL-3465	2連棟	6908	6908	6648	6738	3250
	3連棟	10342	10342			



4. 基礎図 (ベルフォーマ:XS・XM・XL型 カールフォーマ:YS・YM・YL型 共通:2連棟の例です)



安全が確認できない屋上など、高所への設置はお避けください。

※基礎は別途施工となります。

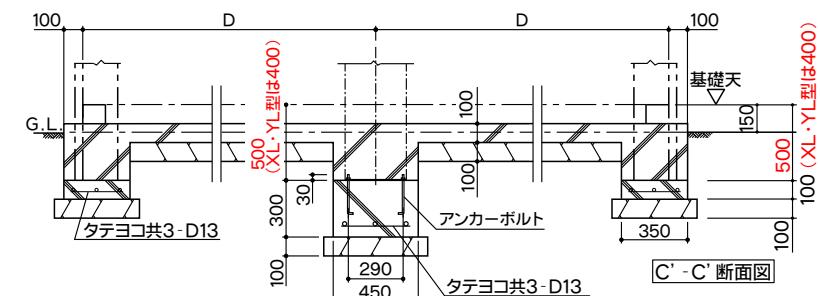
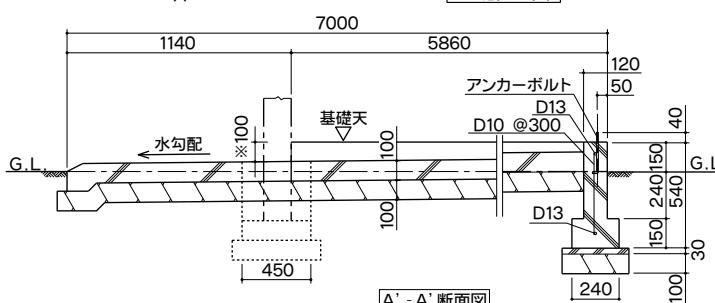
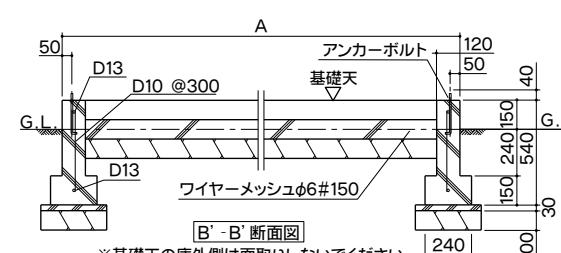
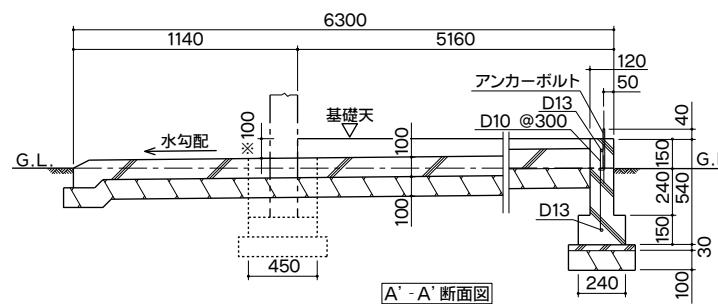
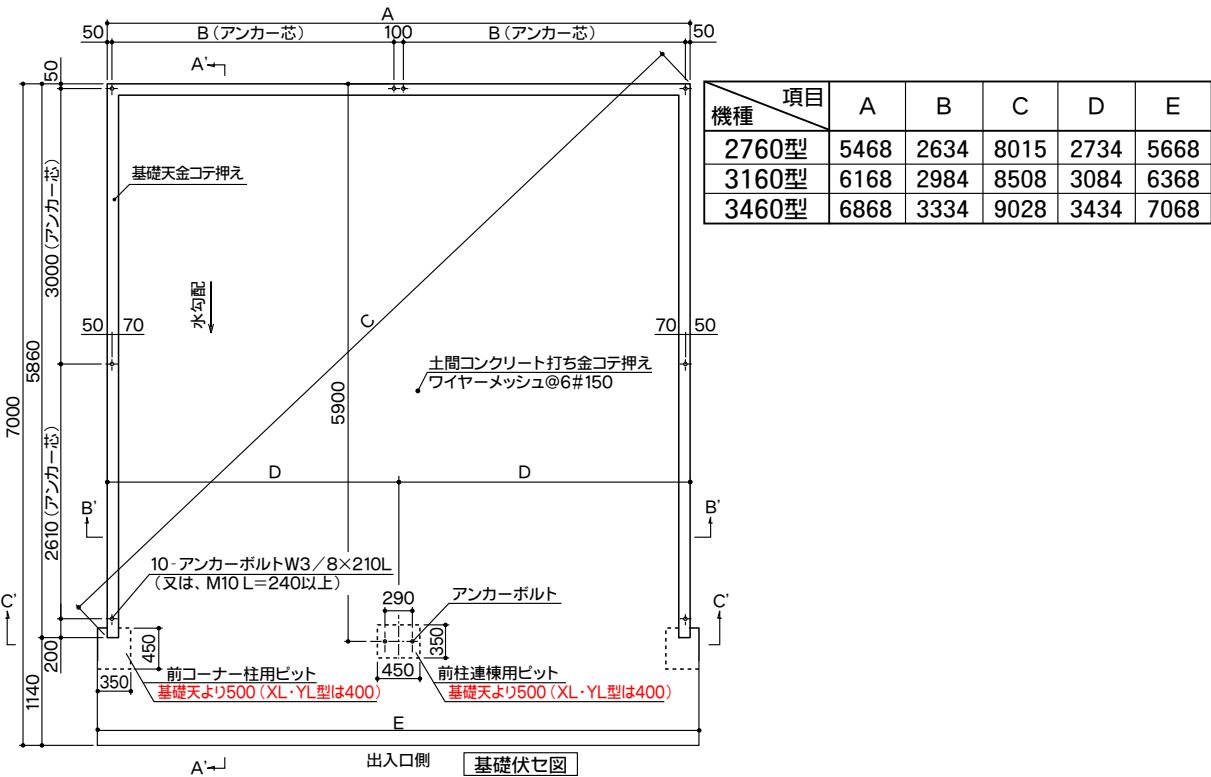
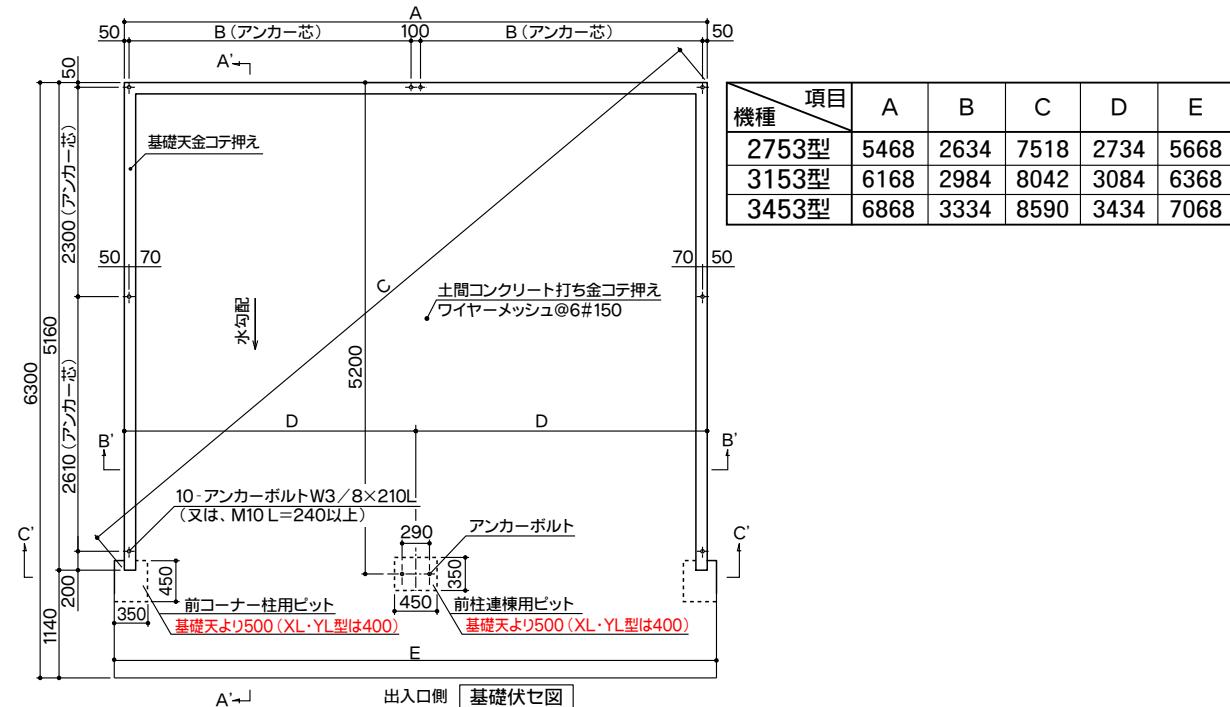
※（注）入口面で基礎天から床面までの段差が、ベルフォーマ XS・XM型は0～350mm、XL型は0～250mm、カールフォーマ YS・YM型は100～350mm、YL型は0～250mm、の範囲になるようにします。（図示は100mm）

※基礎図は参考として掲載していますが、施工場所の実情に合わせて設計してください。

【布基礎施工図】

XS-2753L/XS-3153L/XS-3453L/XM-2753L/XM-3153L/XM-3453L/XL-2753L/XL-3153L/XL-3453L
YS-2753L/YS-3153L/YS-3453L/YM-2753L/YM-3153L/YM-3453L/YL-2753L/YL-3153L/YL-3453L

XS-2760L/XS-3160L/XS-3460L/XM-2760L/XM-3160L/XM-3460L/XL-2760L/XL-3160L/XL-3460L
YS-2760L/YS-3160L/YS-3460L/YM-2760L/YM-3160L/YM-3460L/YL-2760L/YL-3160L/YL-3460L

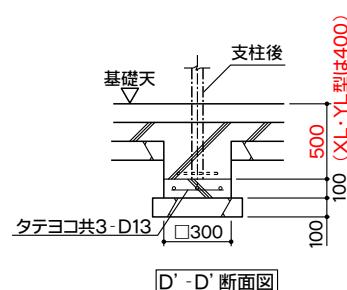
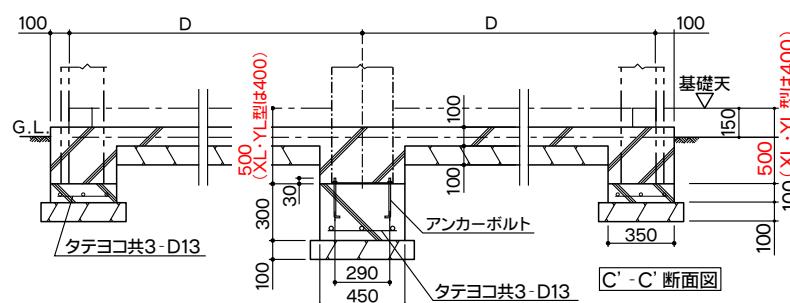
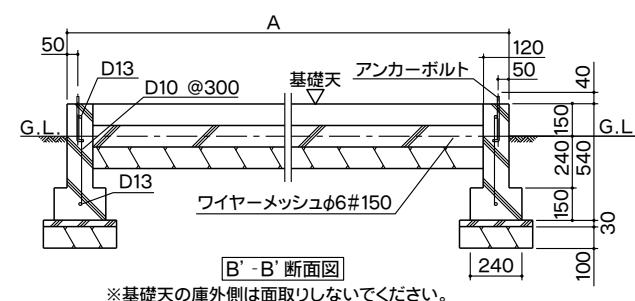
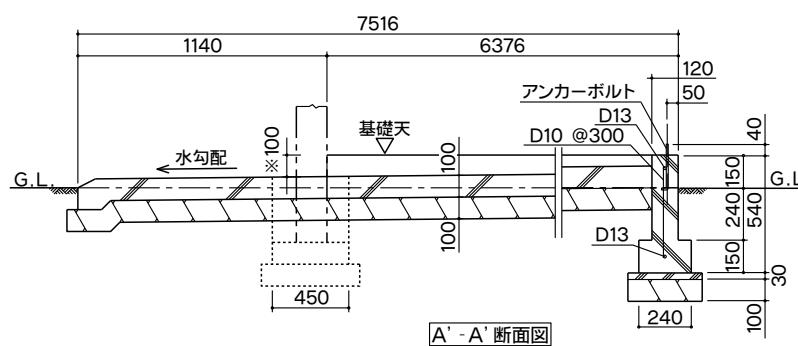
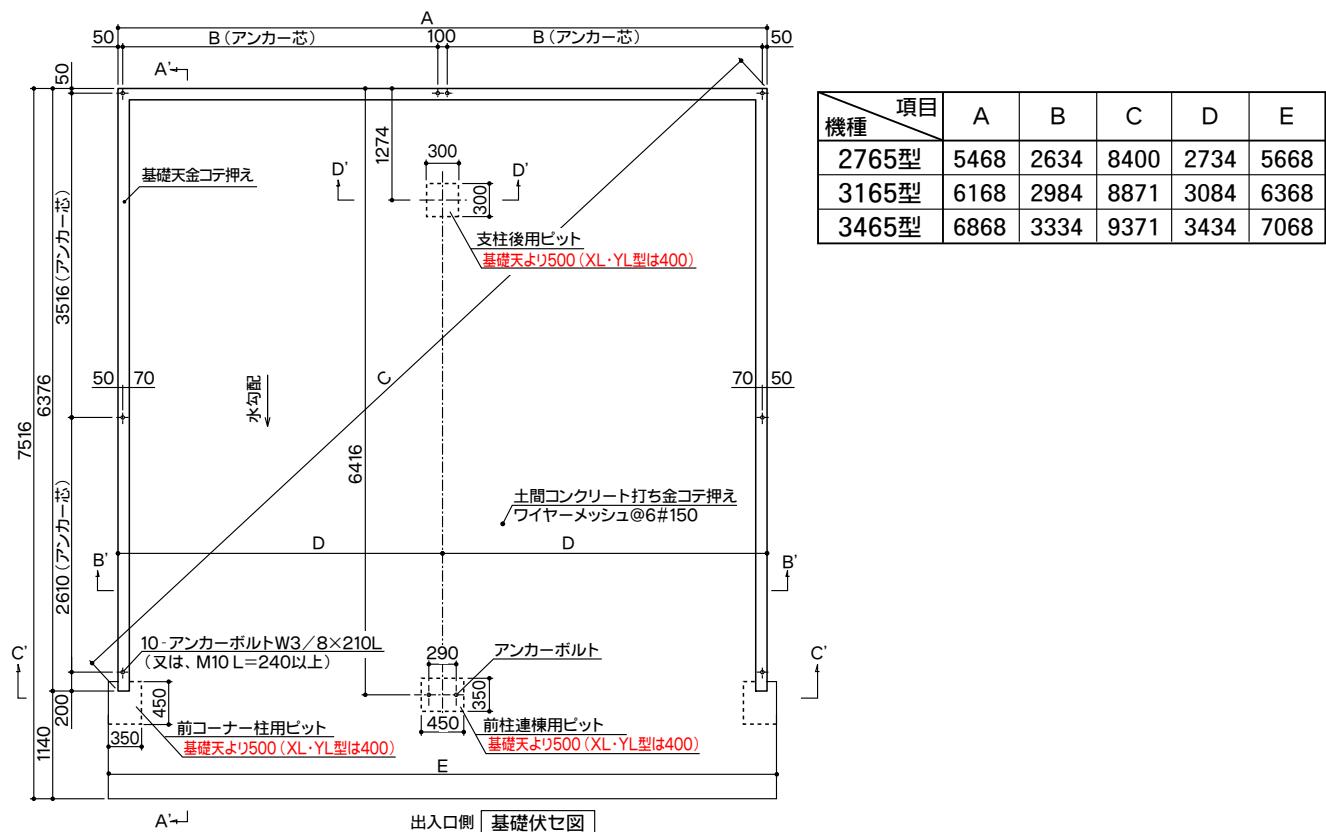


XS-2765L/XS-3165L/XS-3465L/XM-2765L/XM-3165L/XM-3465L/XL-2765L/XL-3165L/XL-3465L
 YS-2765L/YS-3165L/YS-3465L/YM-2765L/YM-3165L/YM-3465L/YL-2765L/YL-3165L/YL-3465L

※基礎は別途施工となります。

※(注) 入口面で基礎天から床面までの段差が、ベルフォーマ XS・XM型は0~350mm、XL型は 0~250mm、カールフォーマ YS・YM型は 100~350mm、YL型は 0~250mm、の範囲になるようにします。(図示は100mm)

※基礎図は参考として掲載していますが、施工場所の実情に合わせて設計してください。



多雪型 (ベルフォーマ:XS・XM・XL型 カールフォーマ:YS・YM・YL型 共通)

警告 安全が確認できない屋上など、高所への設置はお避けください。

注意 基礎のベースは確実に行ってください。積雪により柱が下がる恐れがあります。

（布基礎施工図）

XS-S2753L/XS-S3153L/XS-S3453L/XM-S2753L/XM-S3153L/XM-S3453L/XL-S2753L/XL-S3153L/XL-S3453L
YS-S2753L/YS-S3153L/YS-S3453L/YM-S2753L/YM-S3153L/YM-S3453L/YL-S2753L/YL-S3153L/YL-S3453L

※基礎は別途施工となります。

※（注）入口面で基礎天から床面までの段差が、ベルフォーマ XS・XM型は0～350mm、XL型は0～250mm、カールフォーマ YS・YM型は100～350mm、YL型は0～250mm、の範囲になるようにします。（図示は100mm）

※基礎図は参考として掲載していますが、施工場所の実情に合わせて設計してください。

※寒冷地の場合、凍結深度等を考慮して設計してください。

項目	A	B	C	D	E
2753型	5468	2634	7518	2734	5668
3153型	6168	2984	8042	3084	6368
3453型	6868	3334	8590	3434	7068

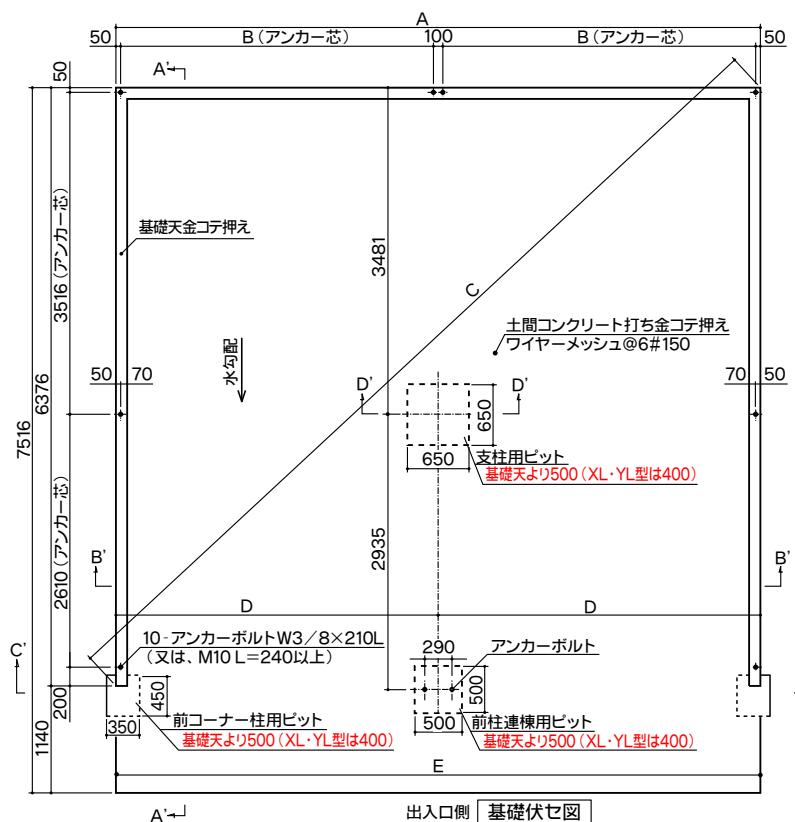
XS-S2760L/XS-S3160L/XS-S3460L/XM-S2760L/XM-S3160L/XM-S3460L/XL-S2760L/XL-S3160L/XL-S3460L
YS-S2760L/YS-S3160L/YS-S3460L/YM-S2760L/YM-S3160L/YM-S3460L/YL-S2760L/YL-S3160L/YL-S3460L

Technical cross-sectional diagram of a concrete foundation structure labeled 'A-A'. The diagram shows a concrete base with dimensions 1200mm wide and 50mm thick. A steel plate is welded to the base. The steel plate has a thickness of 50mm and a width of 1200mm. The plate is secured to the base with 13mm diameter bolts spaced at 300mm. A 13mm diameter bolt is also shown protruding from the top of the plate. The plate is supported by four 150mm diameter wire mesh supports. The foundation is labeled '基礎天' (Ground Surface). The diagram also shows 'アンカーボルト' (Anchor Bolt) and 'ワイヤーメッシュφ6#150' (Wire Mesh φ6#150). Reference lines 'G.L.' are shown on both sides. A label 'B'-B' 断面図' (Section B-B) is at the bottom, and a note '※基礎天の庫外側は面取りしないでください。' (Do not round the outer edge of the foundation surface) is at the bottom right.

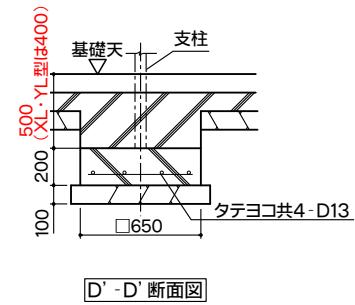
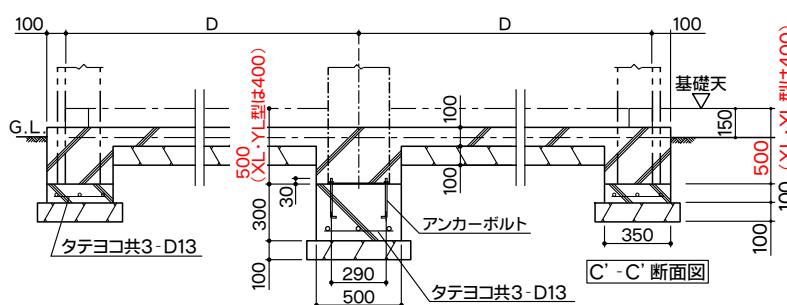
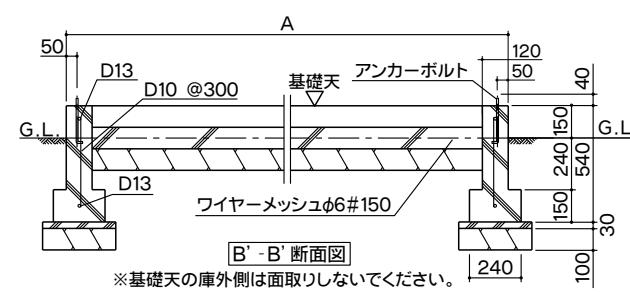
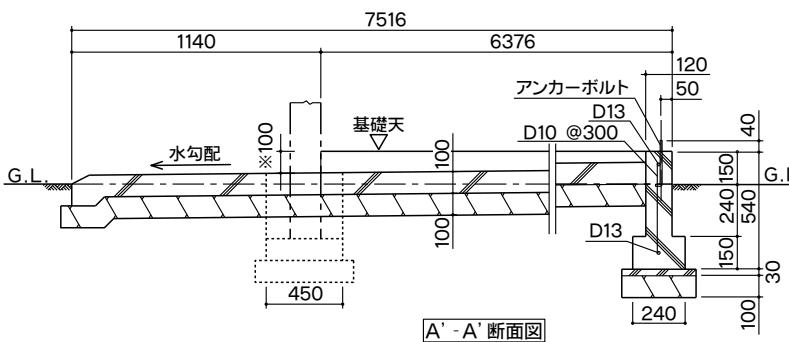
※基礎は別途施工となります。

※(注) 入口面で基礎天から床面までの段差が、ベルフォーマ XS・XM型は0~350mm、XL型は0~250mm、カールフォーマ YS・YM型は100~350mm、YL型は0~250mm、の範囲になるようにします。(図示は100mm)

※基礎図は参考として掲載していますが、施工場所の実情に合わせて設計してください。
 ※寒冷地の場合、凍結深度等を考慮して設計してください。



機種	A	B	C	D	E
2765型	5468	2634	8400	2734	5668
3165型	6168	2984	8871	3084	6368
3465型	6868	3334	9371	3434	7068

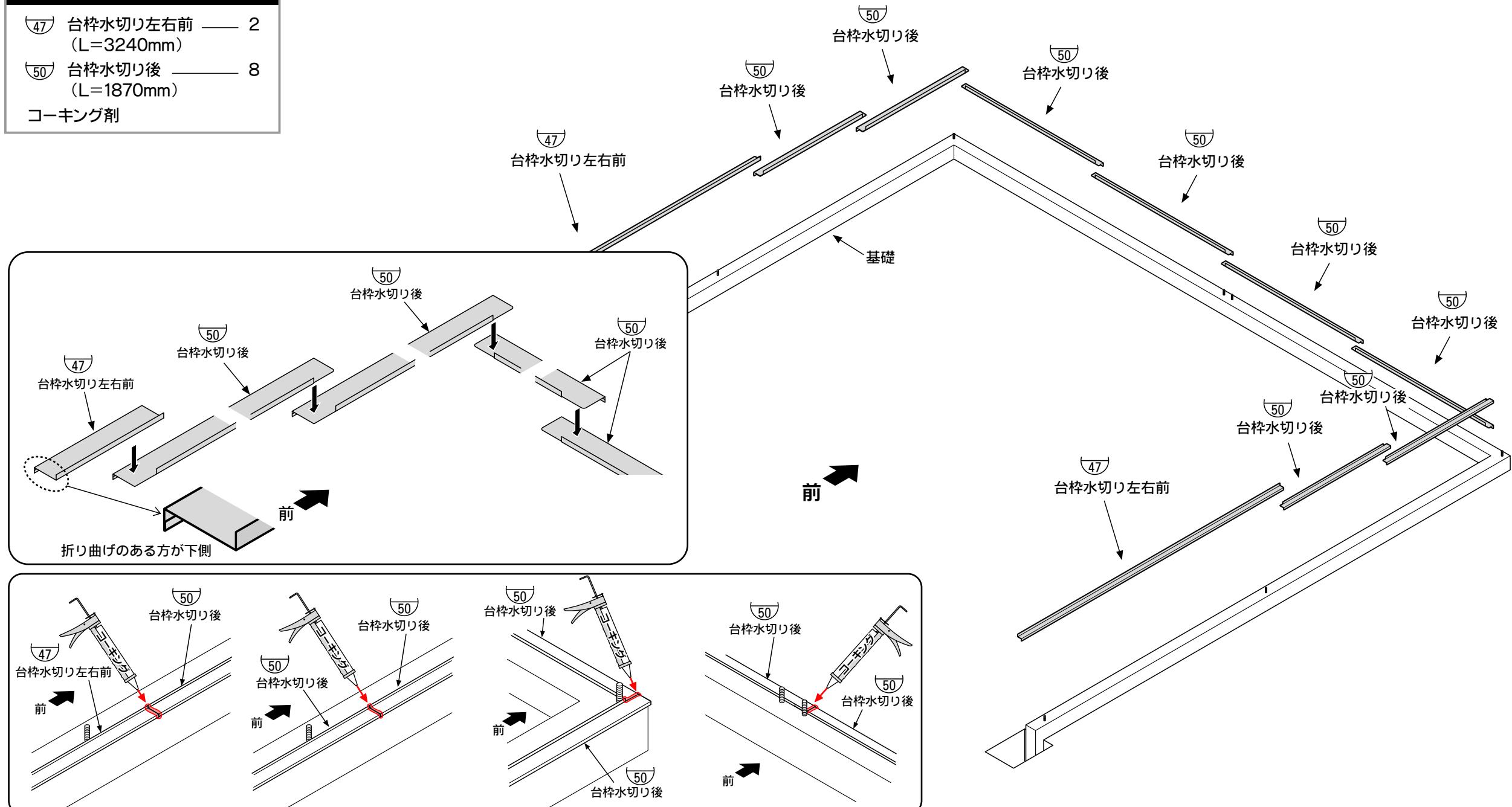


5. 組立手順

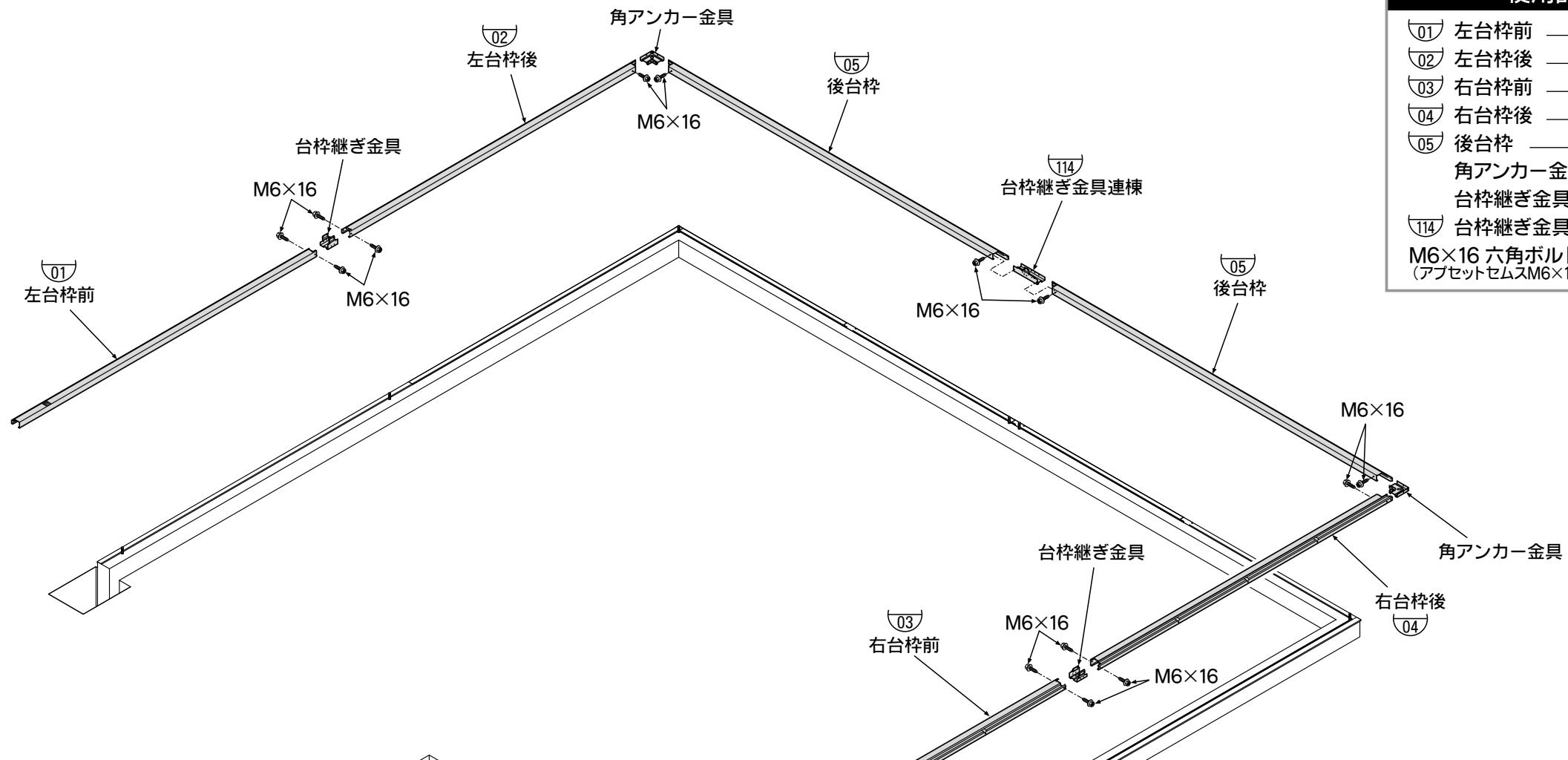
1. 台枠水切りの組立

- 台枠水切りを基礎の上に載せ、連結部を付属のコーティング剤でコーティングします。
- ガレージ内部に雨水が浸入する恐れがありますので、コーティング剤で必ず水漏れ防止をしてください。
- 本体組立後に台枠水切りを取り付けることはできません。必ず最初に取り付けてください。

使用部品	
47	台枠水切り左右前 2 (L=3240mm)
50	台枠水切り後 8 (L=1870mm)
コーティング剤	

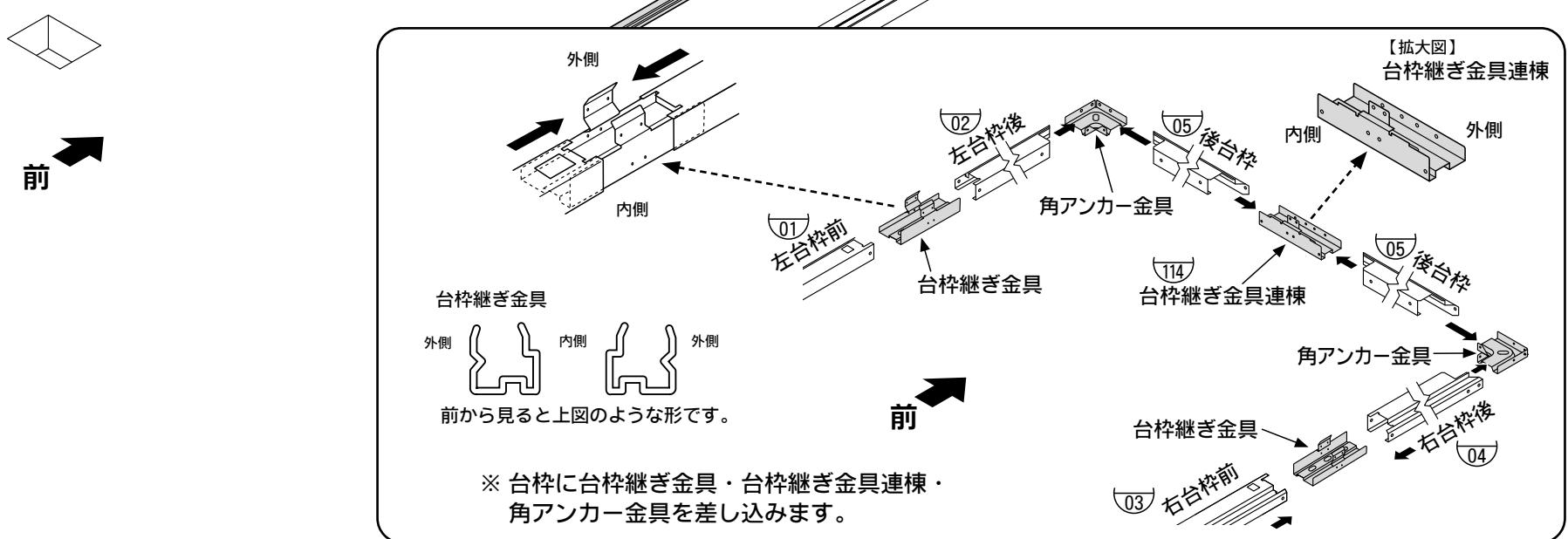
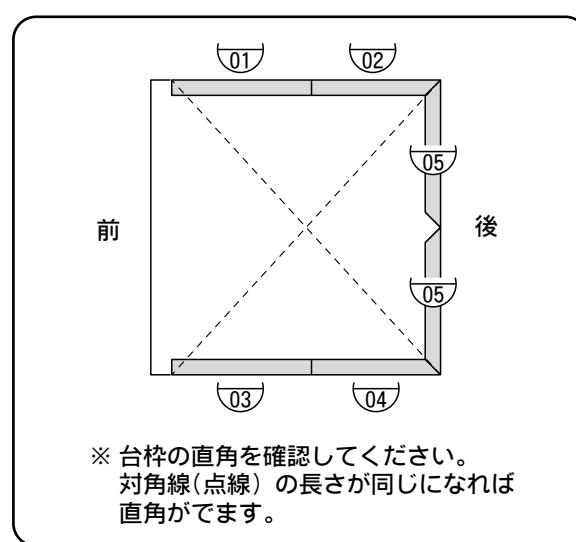


2. 台枠の組立



使用部品

01	左台枠前	1
02	左台枠後	1
03	右台枠前	1
04	右台枠後	1
05	後台枠	2
114	台枠継ぎ金具連棟	1
角アンカーフック	2	
台枠継ぎ金具	2	
角アンカーフック	1	
M6×16 六角ボルト	14	
(アセットセムスM6×16棒先)		



3-1. 屋根サドルの組立

使用部品

12	後桁	2
13	前桁	2
14	中央母屋	2

15 一般母屋

2753L/3153L/3453L	2
2760L/2765L/3160L/3165L /3460L/3465L	4

屋根サドル

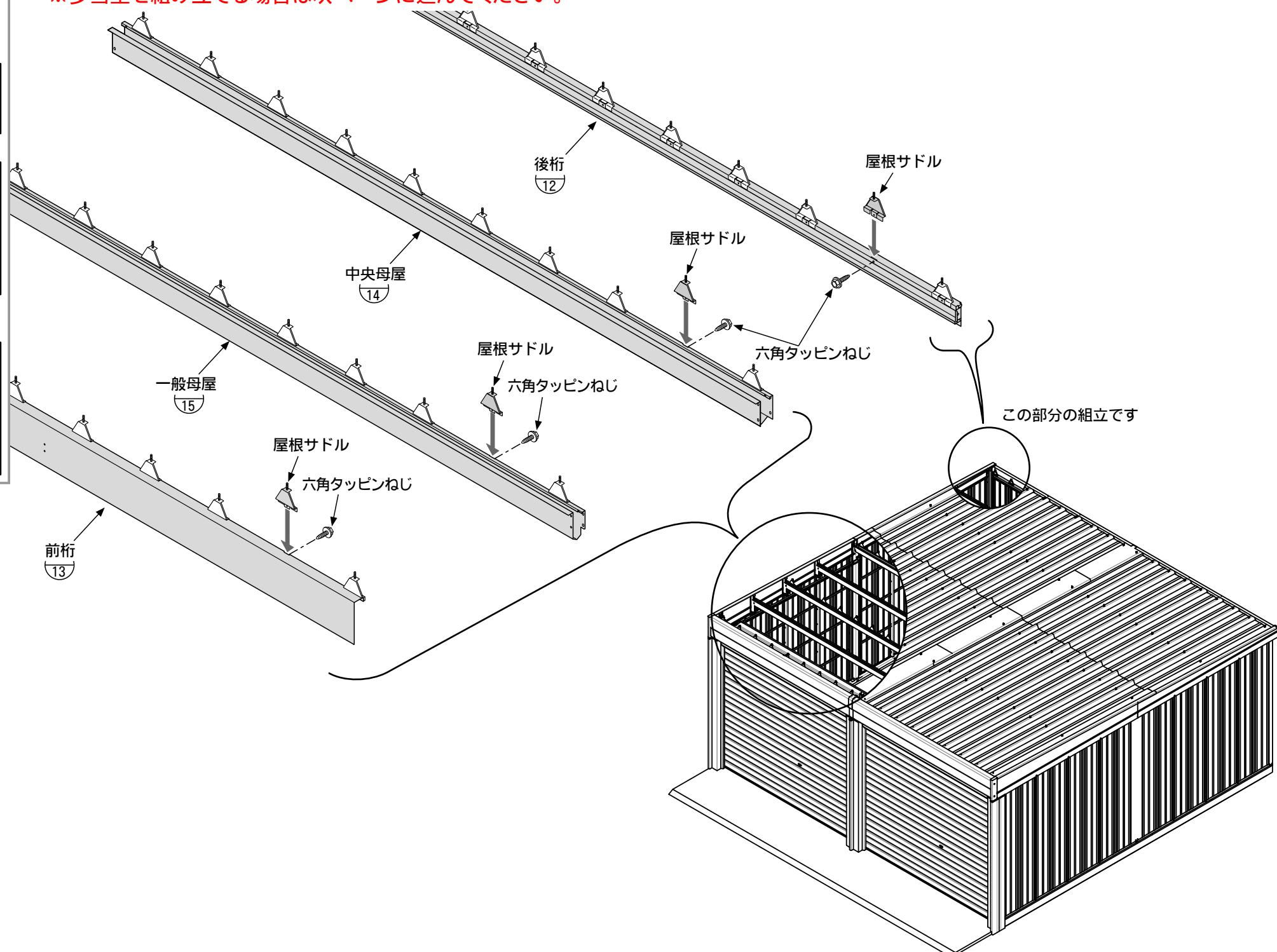
2753L	64
3153L	72
2760L/2765L/3453L	80
3160L/3165L	90
3460L/3465L	100

六角タッピングねじ (フランジA 5X12種)

2753L	64
3153L	72
2760L/2765L/3453L	80
3160L/3165L	90
3460L/3465L	100

⚠ タッピングねじの止め付けは、インパクトドライバーを使用してください。

※多雪型を組み立てる場合は次ページに進んでください。

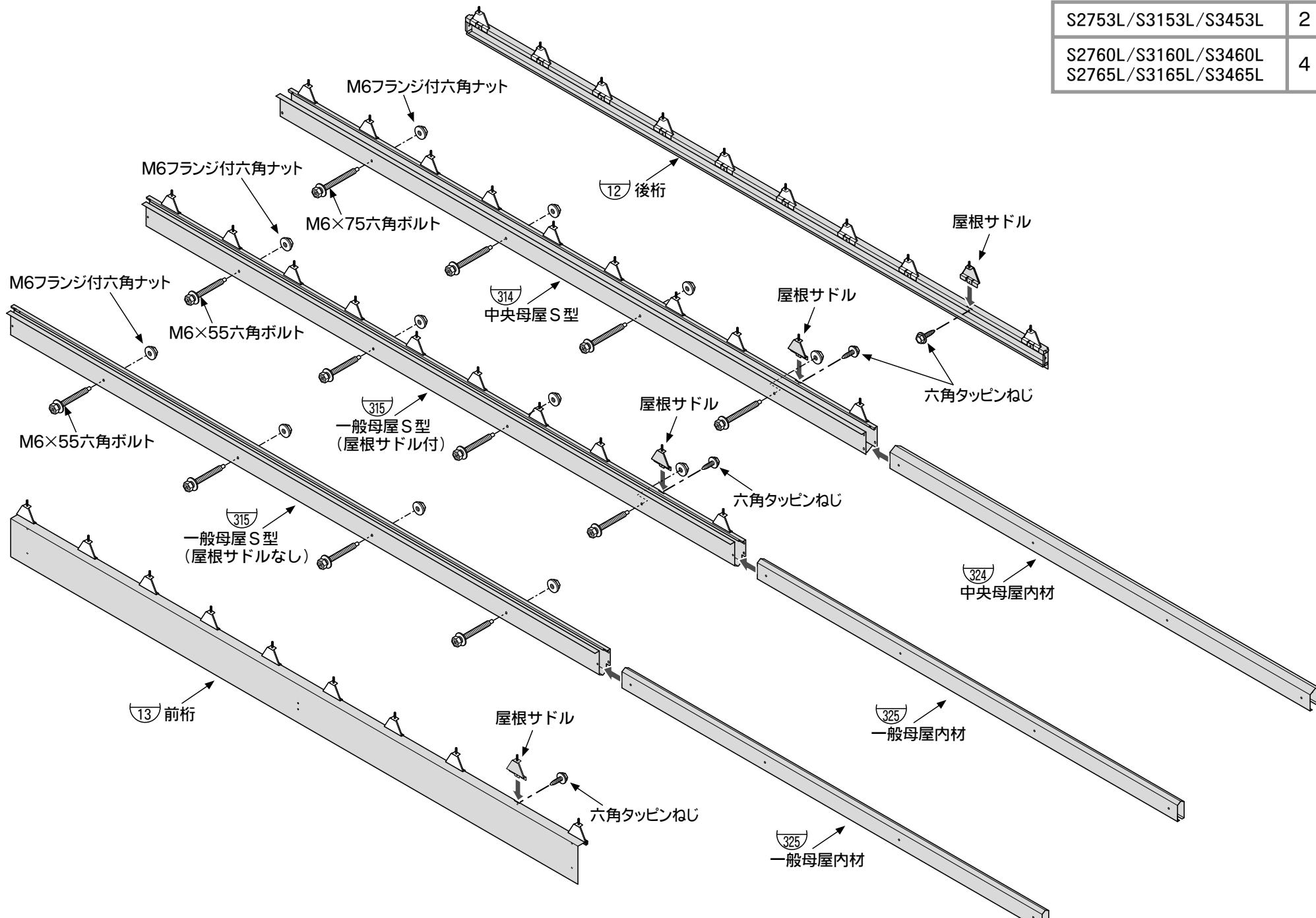


3-2. 【多雪型】屋根サドル・中央母屋S型・一般母屋S型の組立

- 中央母屋S型⁽³¹⁴⁾と一般母屋S型⁽³¹⁵⁾は、屋根サドルを付ける前に、中央母屋内材⁽³²⁴⁾と一般母屋内材⁽³²⁵⁾を先に取り付けてください。
 - 六角タッピンねじの止め付けは、インパクトドライバーを使用してください。
- ※ 一般母屋S型には、屋根サドルを取り付けておくものと、付けないものがあります。右表でご確認ください。

※屋根サドルを取り付ける
一般母屋S型⁽³¹⁵⁾の本数

S2753L/S3153L/S3453L	2
S2760L/S3160L/S3460L S2765L/S3165L/S3465L	4



使用部品

(12) 後桁	2
(13) 前桁	2
(314) 中央母屋S型	2
(315) 一般母屋S型	

S2753L/S3153L/S3453L	10
S2760L/S3160L/S3460L	12
S2765L/S3165L/S3465L	14

(324) 中央母屋内材	2
(325) 一般母屋内材	

S2753L/S3153L/S3453L	10
S2760L/S3160L/S3460L	12
S2765L/S3165L/S3465L	14

屋根サドル

S2753L	64
S3153L	72
S2760L/S2765L/S3453L	80
S3160L/S3165L	90
S3460L/S3465L	100

M6×55六角ボルト (アッセットセムスM6×55棒先)

S2753L/S3153L/S3453L	40
S2760L/S3160L/S3460L	48
S2765L/S3165L/S3465L	56

M6×75六角ボルト (アッセットセムスM6×75棒先)

M6フランジ付六角ナット (フランジNT M6)

S2753L/S3153L/S3453L	48
S2760L/S3160L/S3460L	56
S2765L/S3165L/S3465L	64

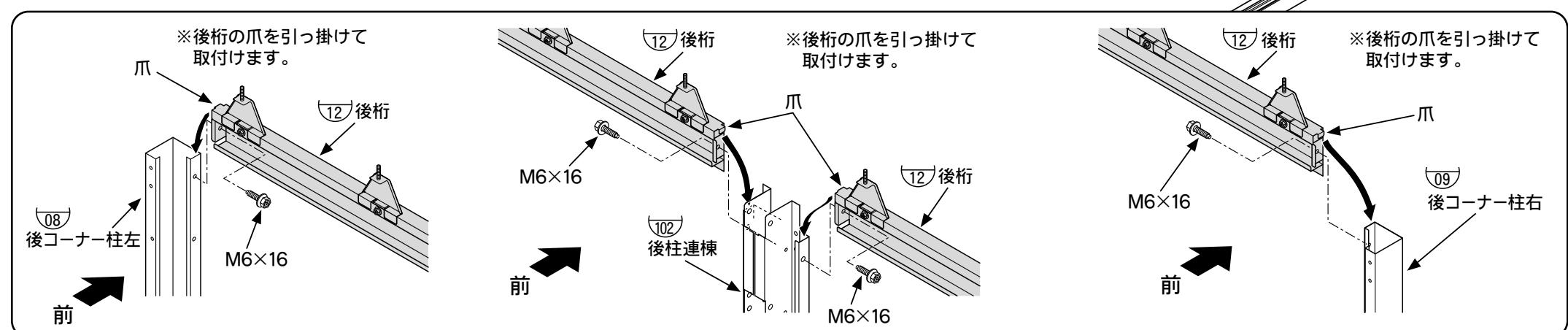
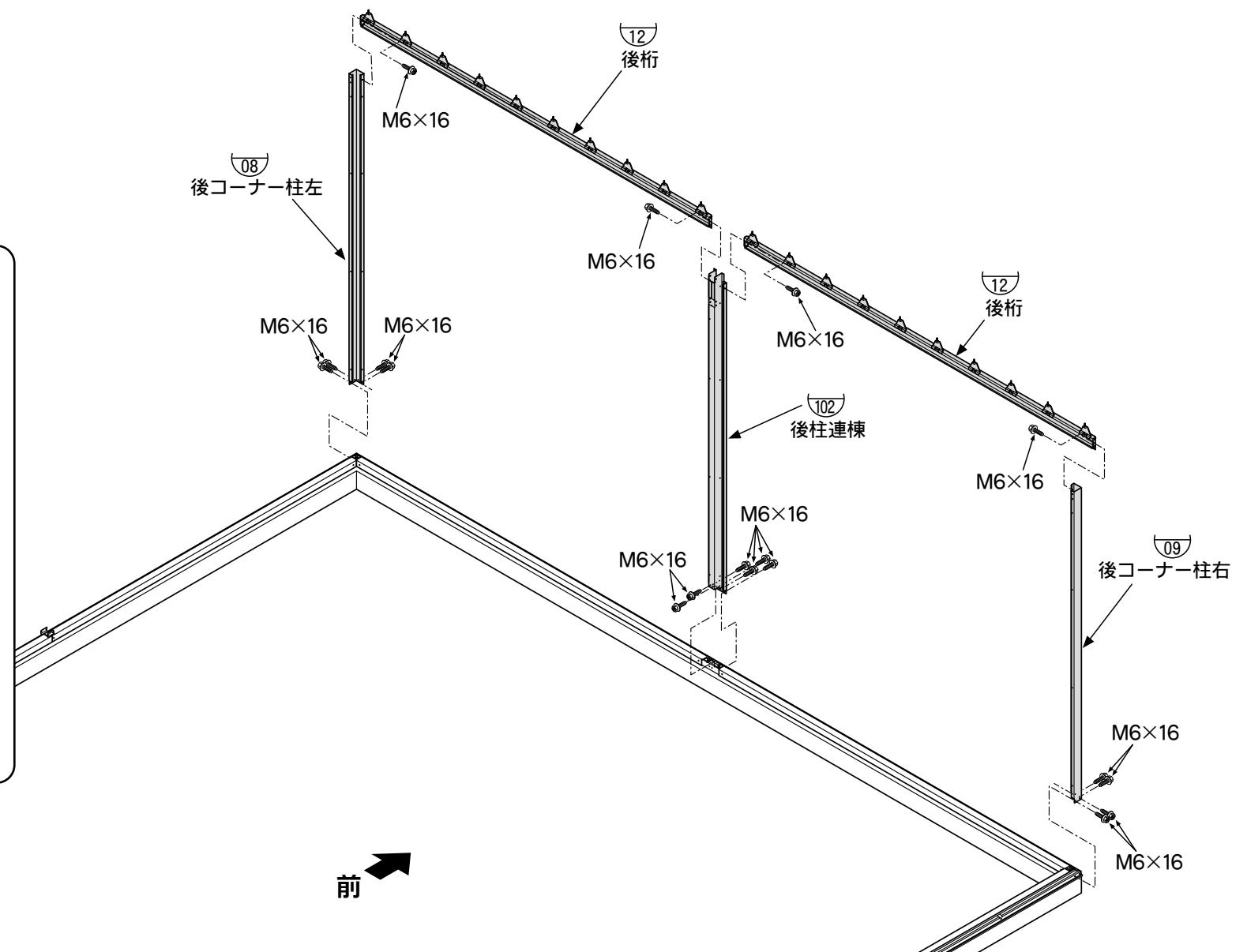
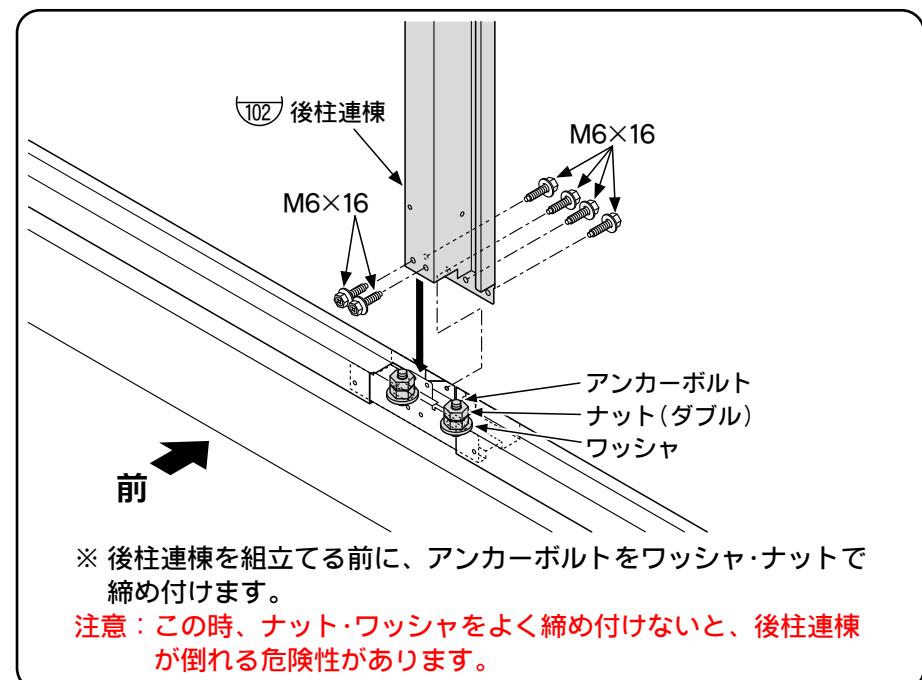
六角タッピンねじ (フランジA 5X12)

S2753L	64
S3153L	72
S2760L/S2765L/S3453L	80
S3160L/S3165L	90
S3460L/S3465L	100

4. 後コーナー柱、後柱連棟と後桁の組立

使用部品

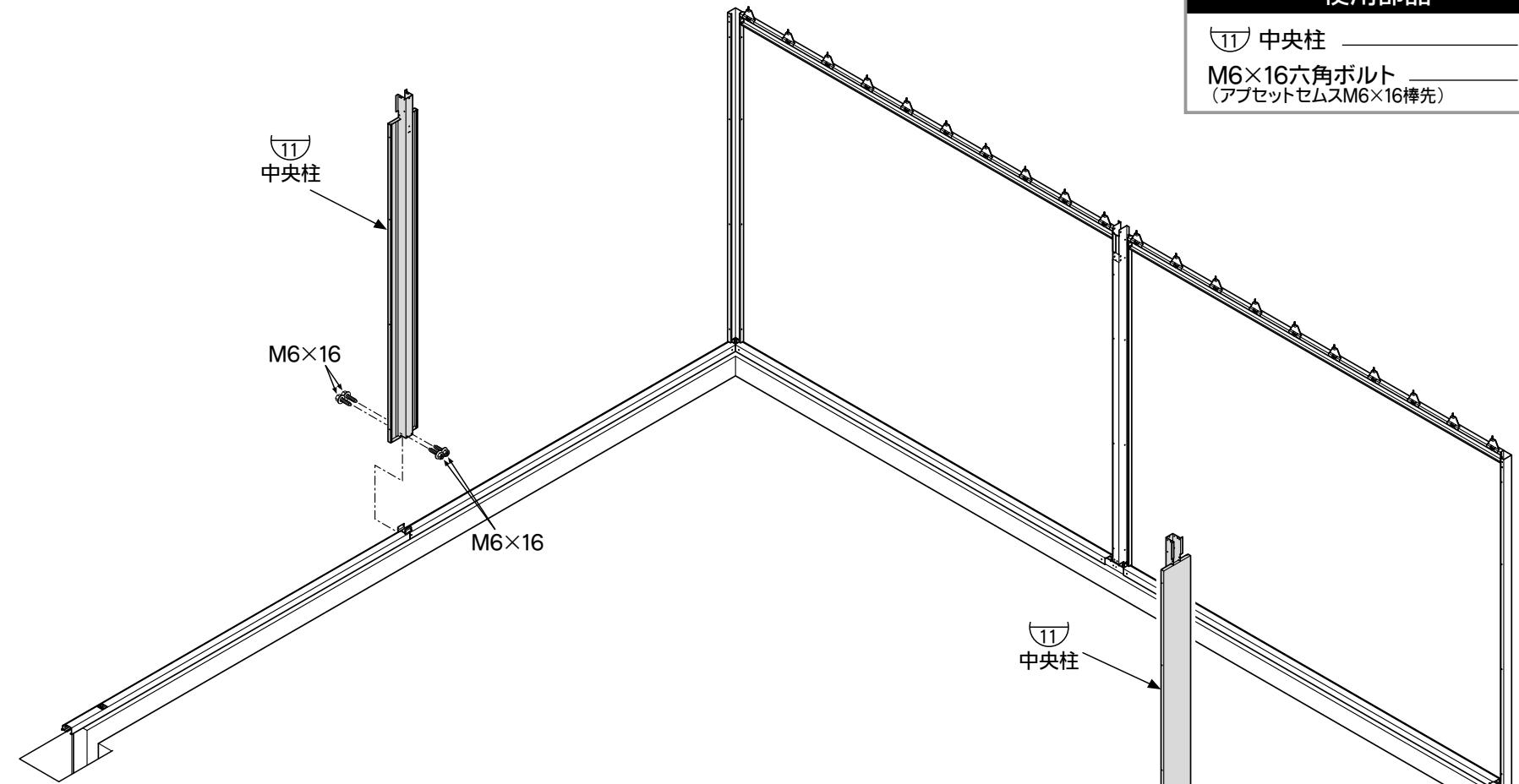
⑩8 後コーナー柱左	1
⑩9 後コーナー柱右	1
⑪2 後桁	2
⑪02 後柱連棟	1
M6×16六角ボルト	18
(アブセットセムスM6×16棒先)	



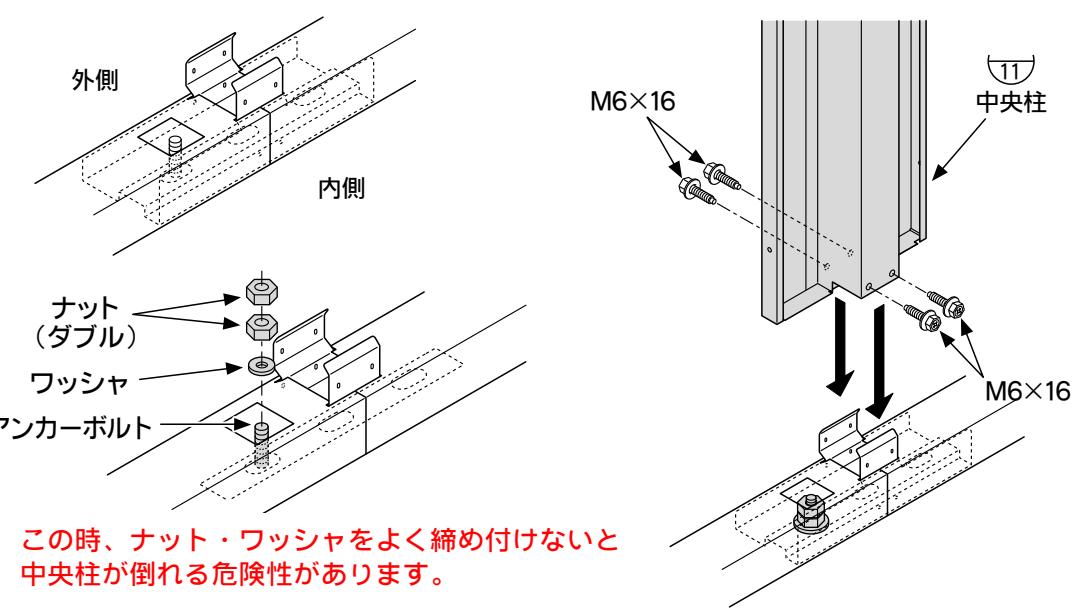
5. 中央柱の組立

使用部品

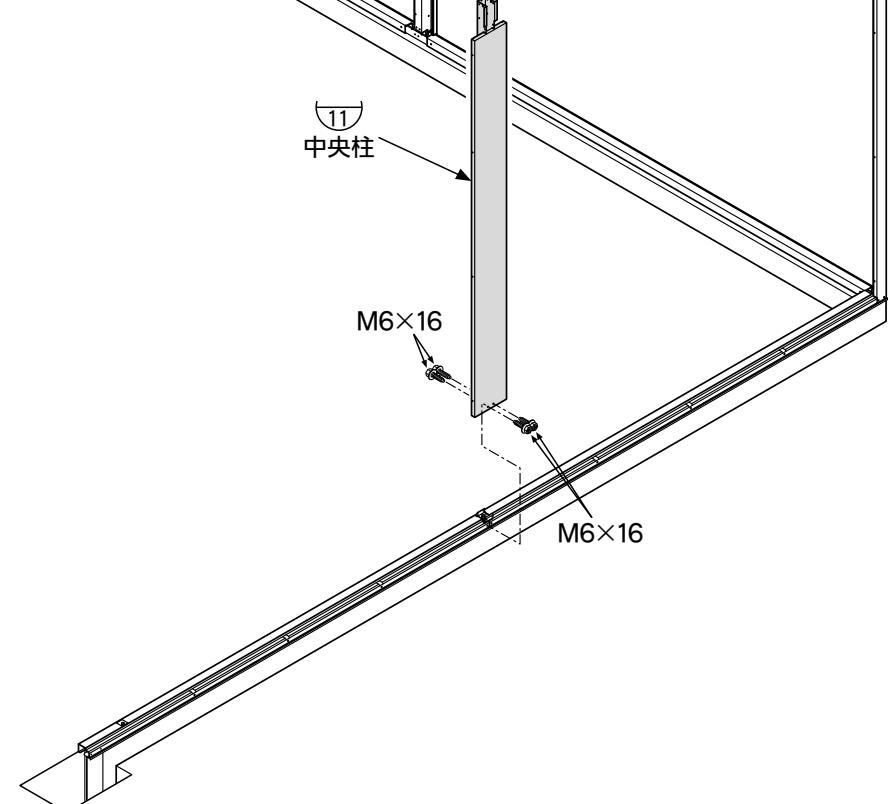
(11) 中央柱	2
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	8



※中央柱を組立てる前に、アンカーボルトをワッシャ、ナットで締め付けます。



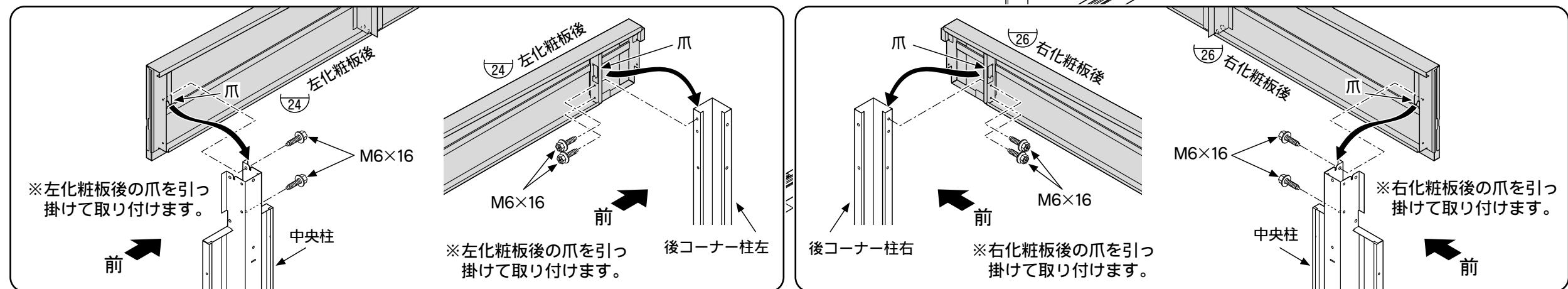
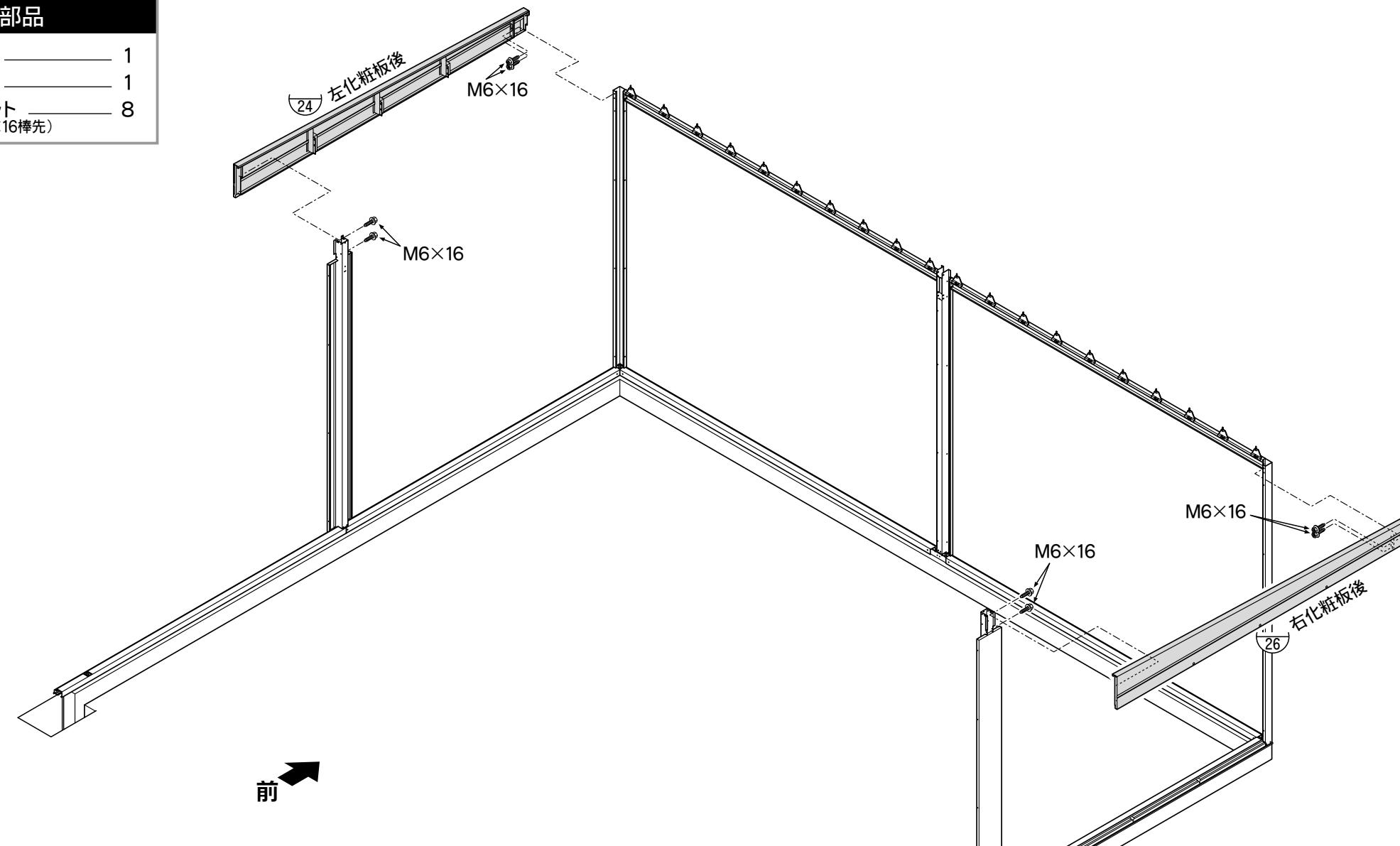
前



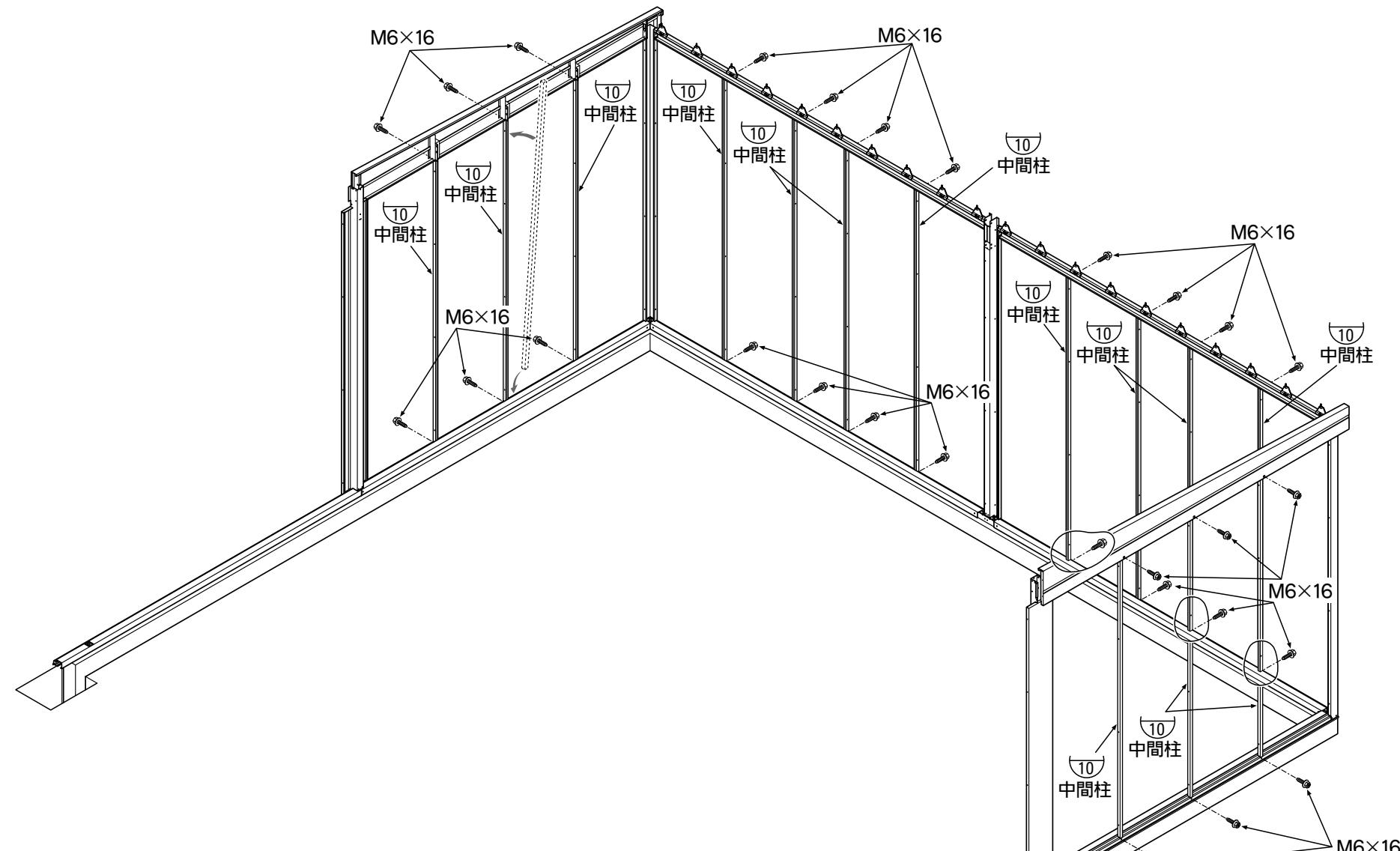
6. 化粧板後の組立

使用部品

- ②4 左化粧板後 1
- ②6 右化粧板後 1
- M6×16 六角ボルト 8
(アセットセムスM6×16棒先)

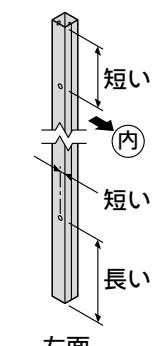


7. 中間柱の組立

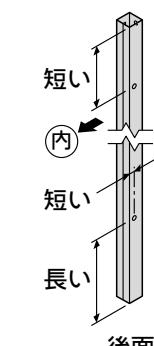


※中間柱の上下、及び向きに注意して取付けます。

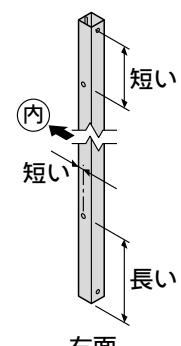
上部



下部



左面



後面

右面

使用部品

⑩ 中間柱

2753L	10
2760L/3153L/3453L	12
2765L/3160L/3460L	14
3165L/3465L	16

M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)

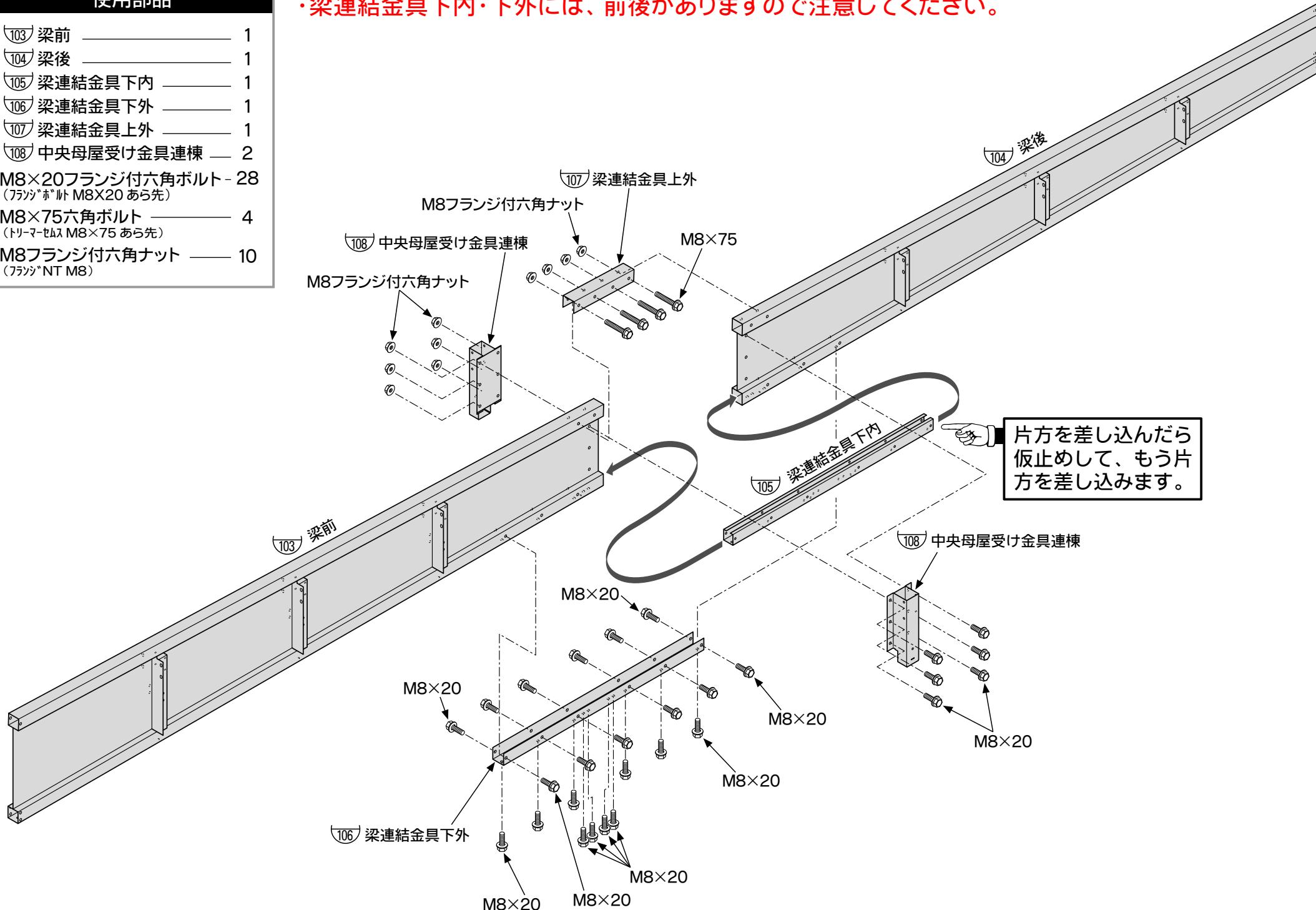
2753L	20
2760L/3153L/3453L	24
2765L/3160L/3460L	28
3165L/3465L	32

8. 梁の組立

使用部品

103 梁前	1
104 梁後	1
105 梁連結金具下内	1
106 梁連結金具下外	1
107 梁連結金具上外	1
108 中央母屋受け金具連棟	2
M8×20フランジ付六角ボルト	28
(フランジボルト M8×20 あら先)	
M8×75六角ボルト	4
(トリマーセンス M8×75 あら先)	
M8フランジ付六角ナット	10
(フランジNT M8)	

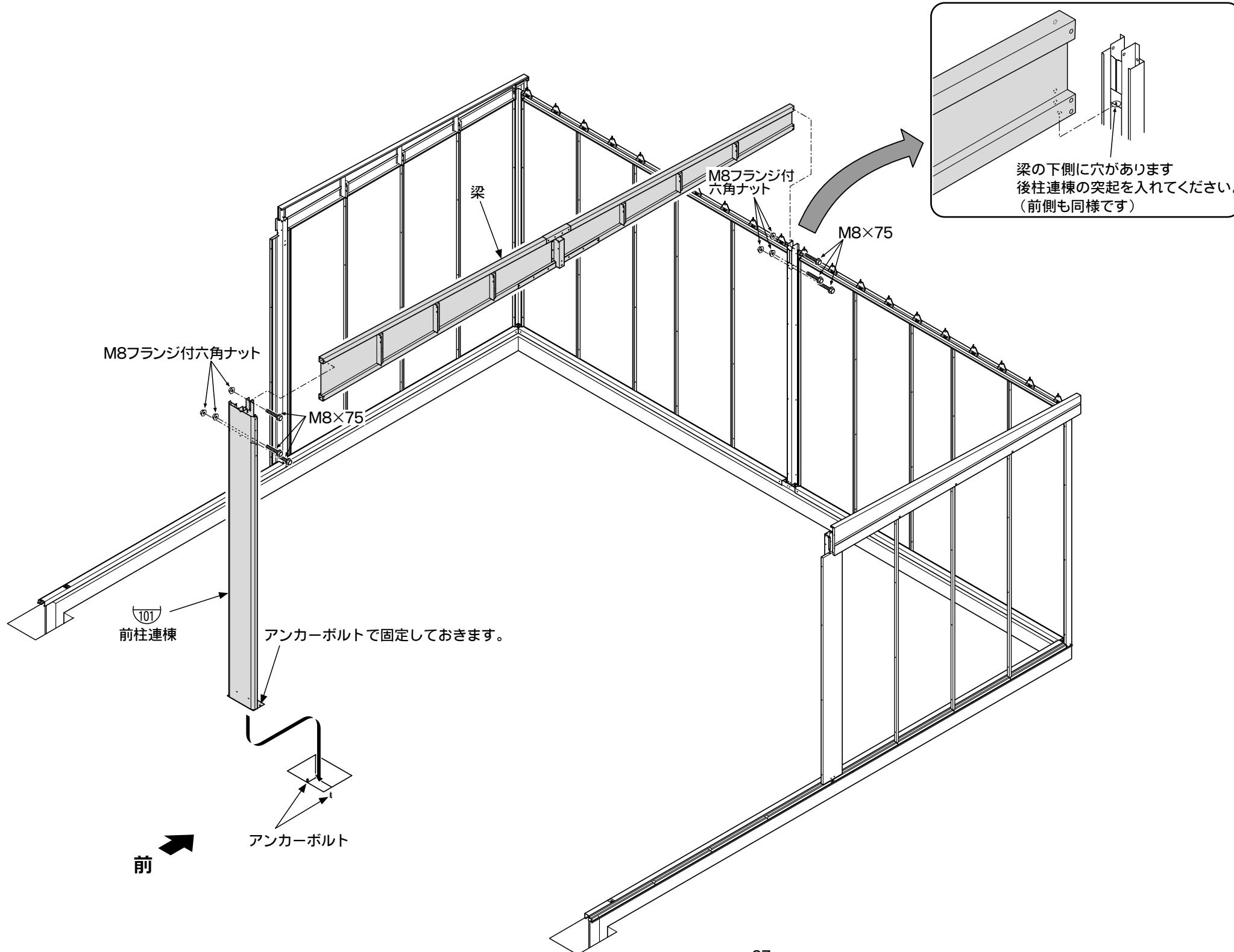
・梁連結金具下内・下外には、前後がありますので注意してください。



前

9. 前柱連棟と梁の組立

- ・取り付けの際、バランスをくずさないよう気をつけてください。
(ケガをするおそれがあります)



使用部品

101	前柱連棟	1
M8×75六角ボルト	6	
(トリマーセム M8×75 あら先)		
M8フランジ付六角ナット	6	
(フランジ NT M8)		

10. 中央母屋と後コーナー部パネルの組立

使用部品

(20) 壁パネル大	
2753L/3153L/3453L	8
2760L/2765L/3160L/3165L/3460L /3465L	10

(21) 壁パネル小	
2765L/3165L/3465L	2

(14) 中央母屋	2
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	
XS・YS型	34
XM・YM・XL・YL型	40

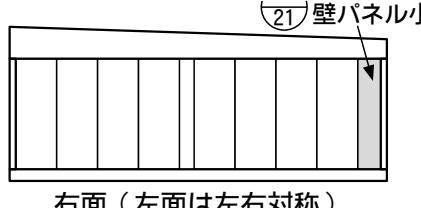
M6フランジ付六角ナット (ラッジNT M6×16大レット無)	
XS・YS-2753/3153/3453	6
XM・YM-2753/3153/3453	8
XL・YL-2753/3153/3453	
XS・YS-2760/3160/3460	12
XM・YM-2760/3160/3460	
XL・YL-2760/3160/3460	16
XS・YS-2765/3165/3465	18
XM・YM-2765/3165/3465	
XL・YL-2765/3165/3465	24

M6×40六角ボルト (アブセットセムスM6×40棒先)	
XS・YS-2753/3153/3453	6
XM・YM-2753/3153/3453	8
XL・YL-2753/3153/3453	
XS・YS-2760/3160/3460	12
XM・YM-2760/3160/3460	
XL・YL-2760/3160/3460	16
XS・YS-2765/3165/3465	18
XM・YM-2765/3165/3465	
XL・YL-2765/3165/3465	24

使用部品(多雪型)

(314) 中央母屋S型	2
--------------	---

2765L・3165L・3465L型は、側面の後に
壁パネル小(21)を使用します。



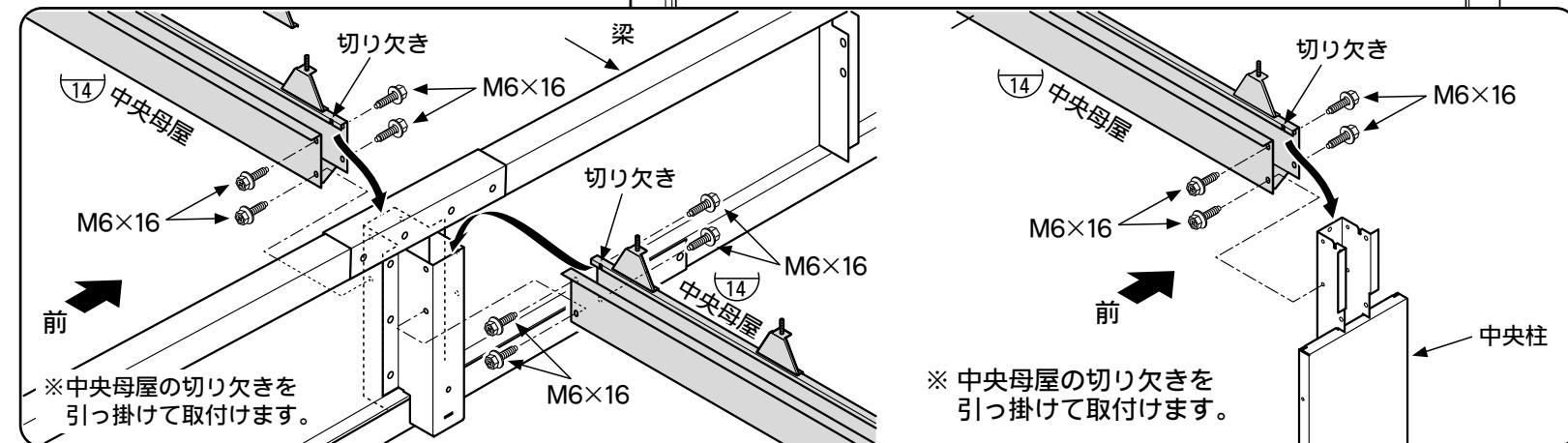
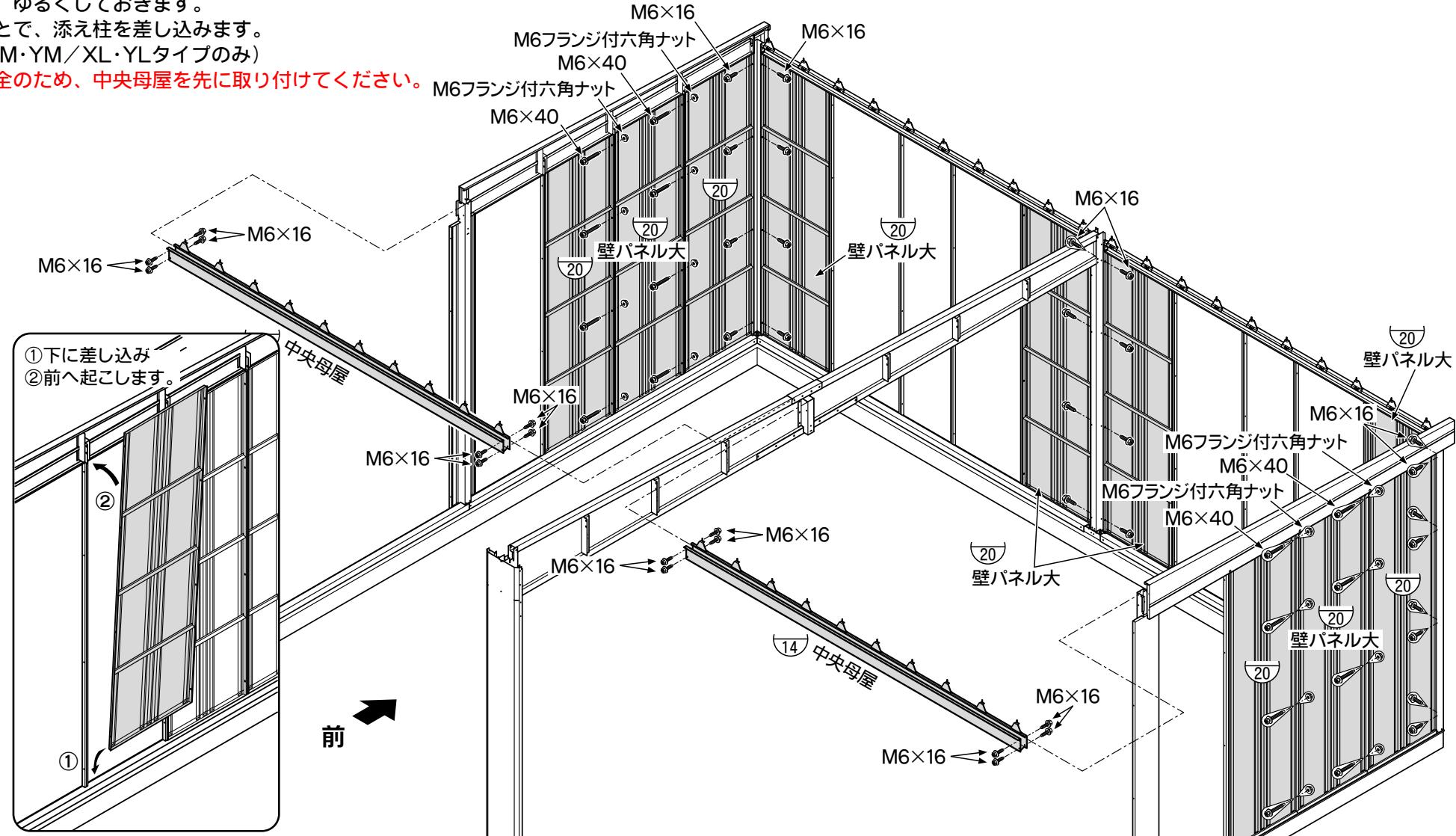
※多雪型を組み立てる際は、中央母屋(14)の代わりに中央母屋S型(314)を取り付けてください。
※中間柱と壁パネルの止め付け(M6×40六角ボルト・M6フランジ付六角ナット)

は、ゆるくしておきます。

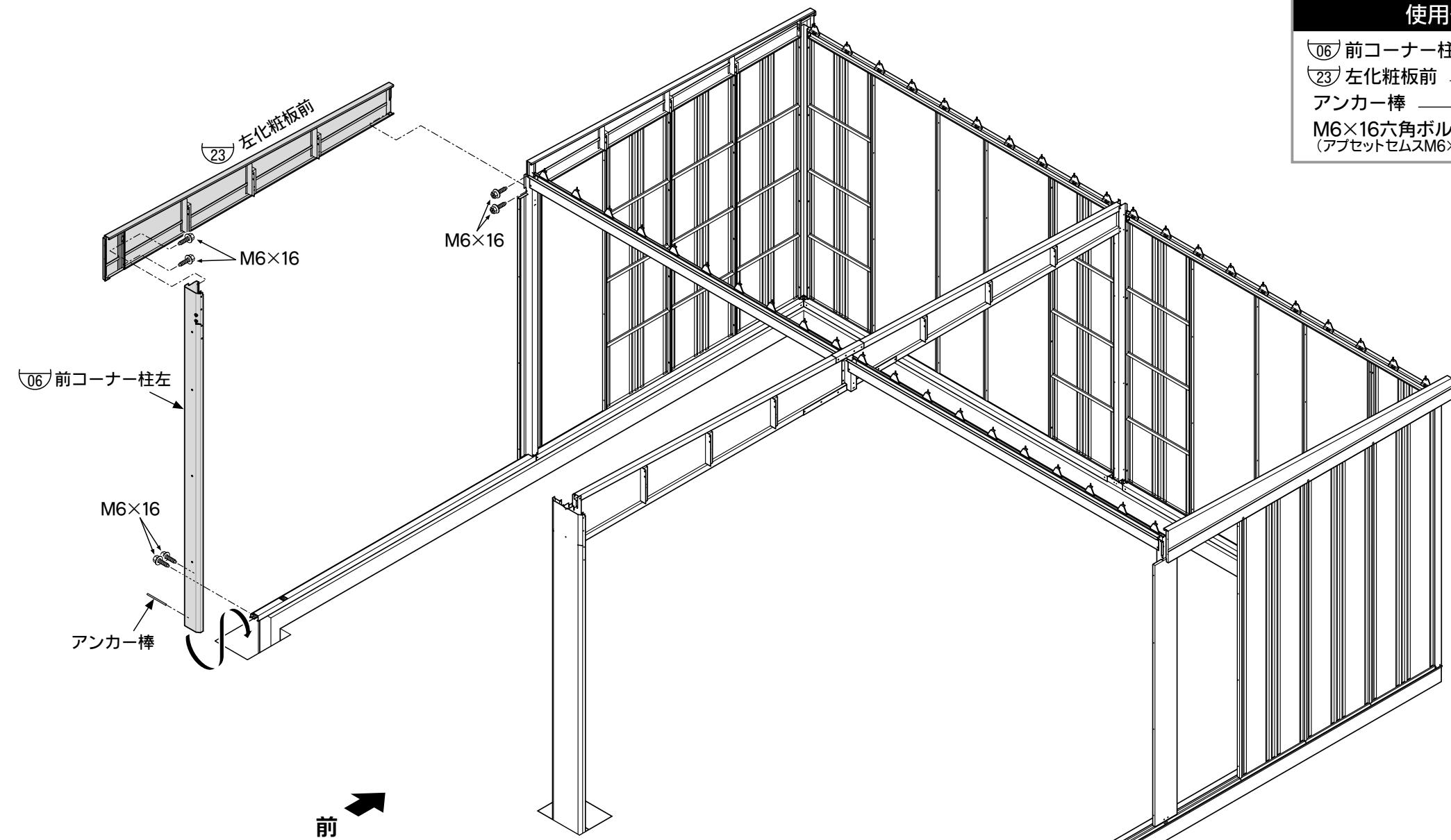
※あとで、添え柱を差し込みます。
(XM・YM・XL・YLタイプのみ)

※安全のため、中央母屋を先に取り付けてください。

うしろ、両サイドに壁パネルを必ず取り付けて下さい。
一般母屋を取り付けたあとでは、壁パネルを取り付け出来ません。

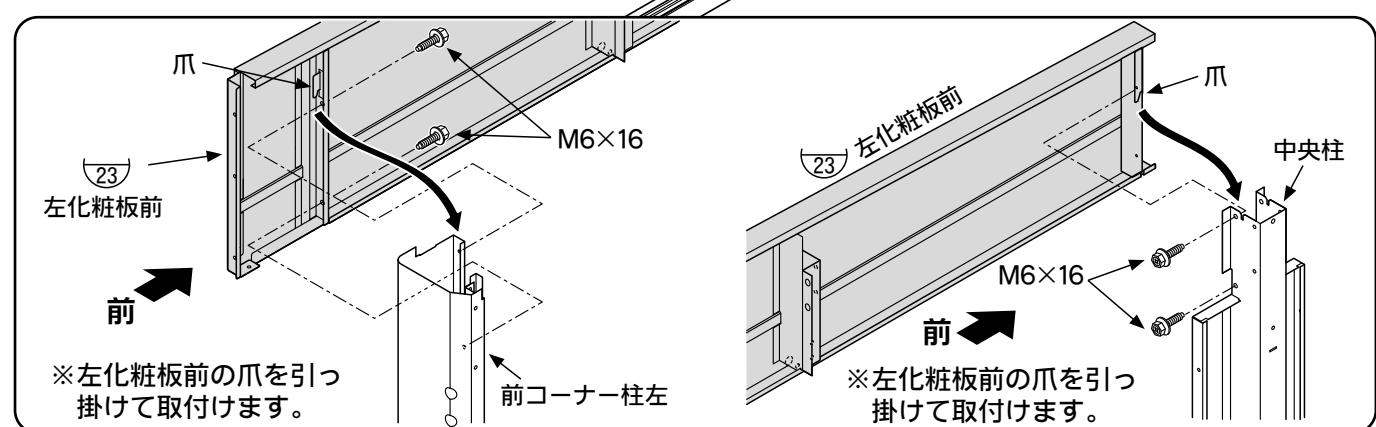


11-1. 前コーナー柱左と左化粧板前の組立



使用部品

06	前コーナー柱左	1
23	左化粧板前	1
	アンカーボルト	1
	M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	6



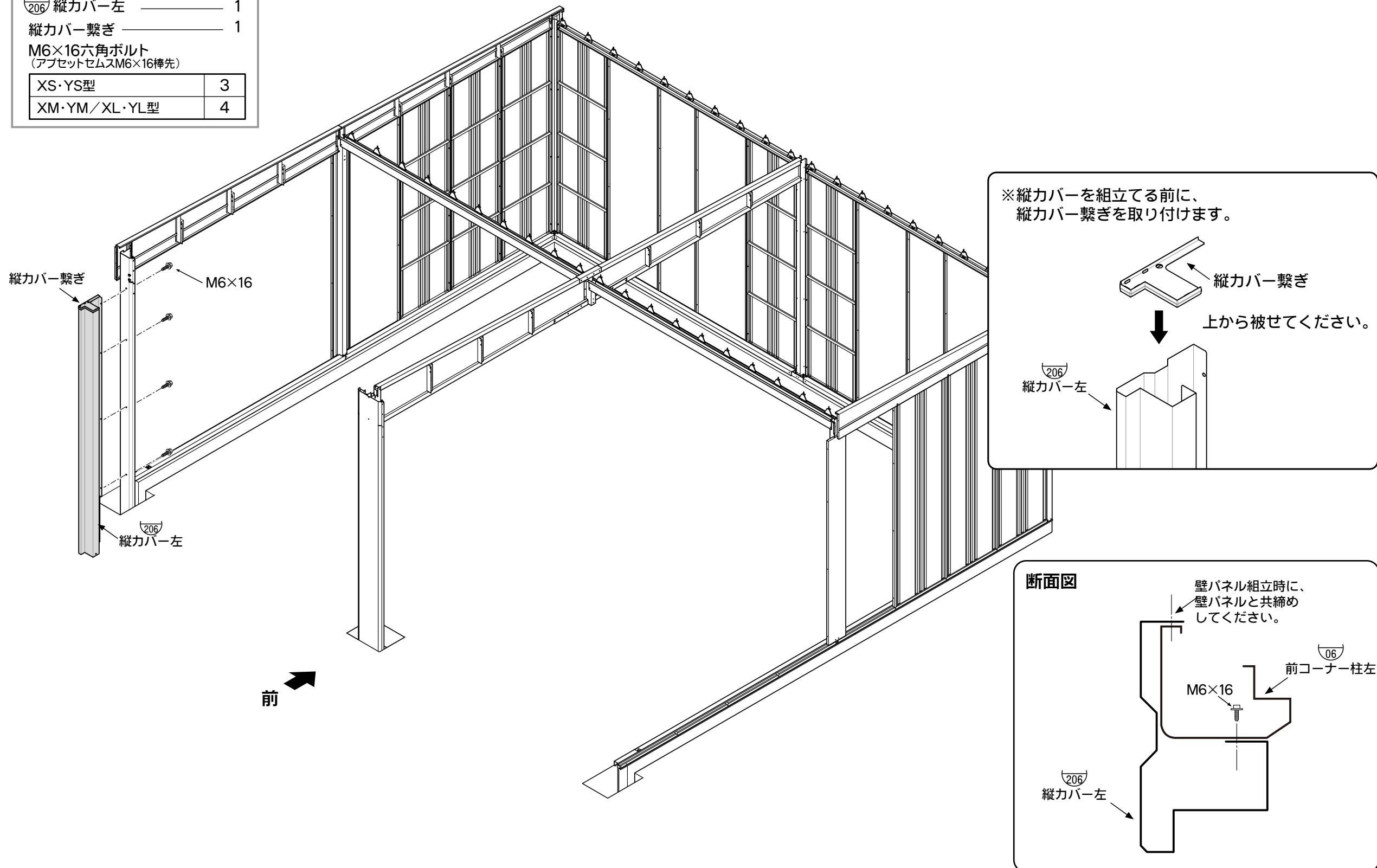
11-2. 縦力バー 左の組立

使用部品

②06 縦力バー左 1
縦力バー繋ぎ 1

M6×16六角ボルト
(アブセットセムスM6×16棒先)

XS・YS型	3
XM・YM/XL・YL型	4

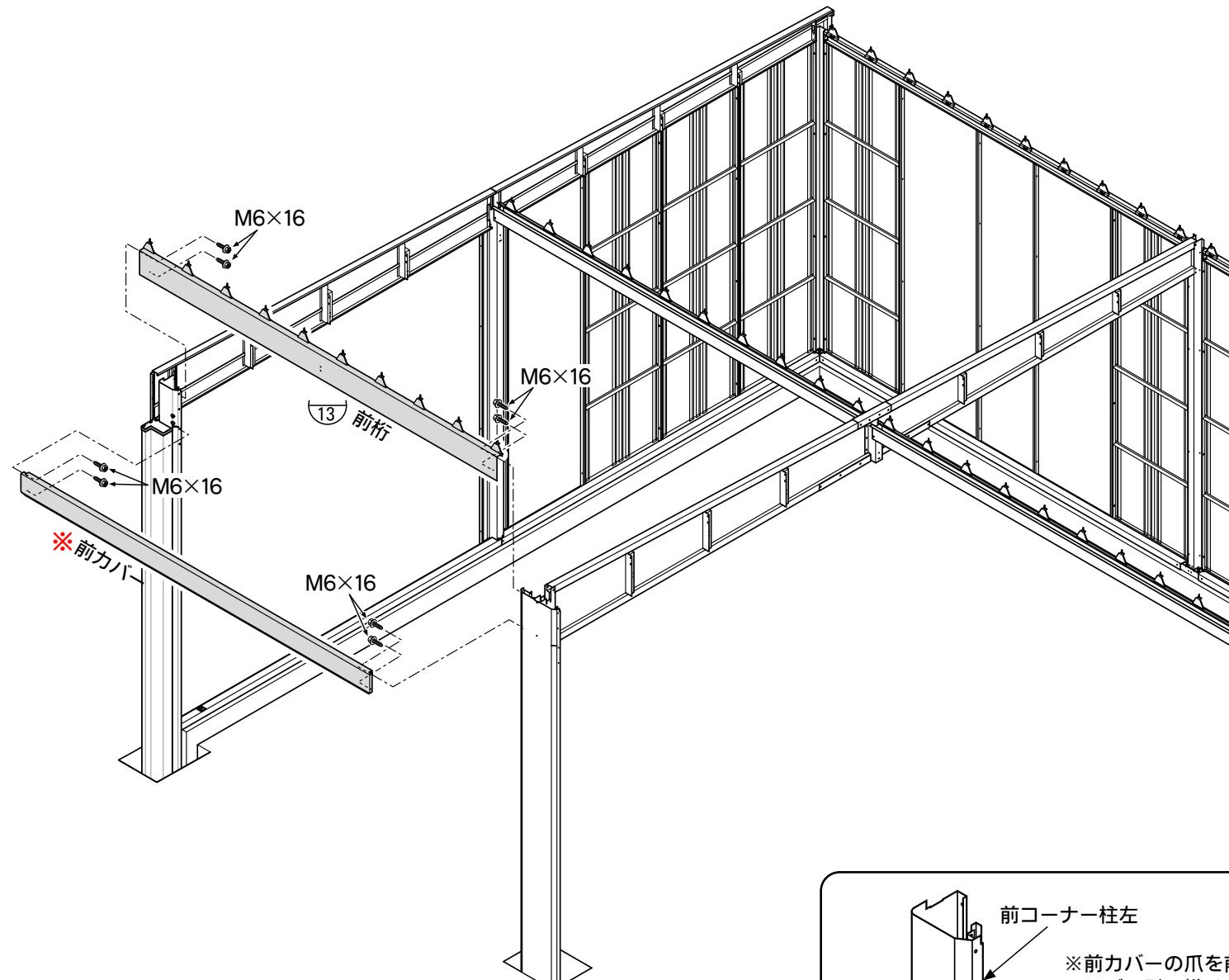


11-3. 前桁(左側)と前力バー(左側)の組立

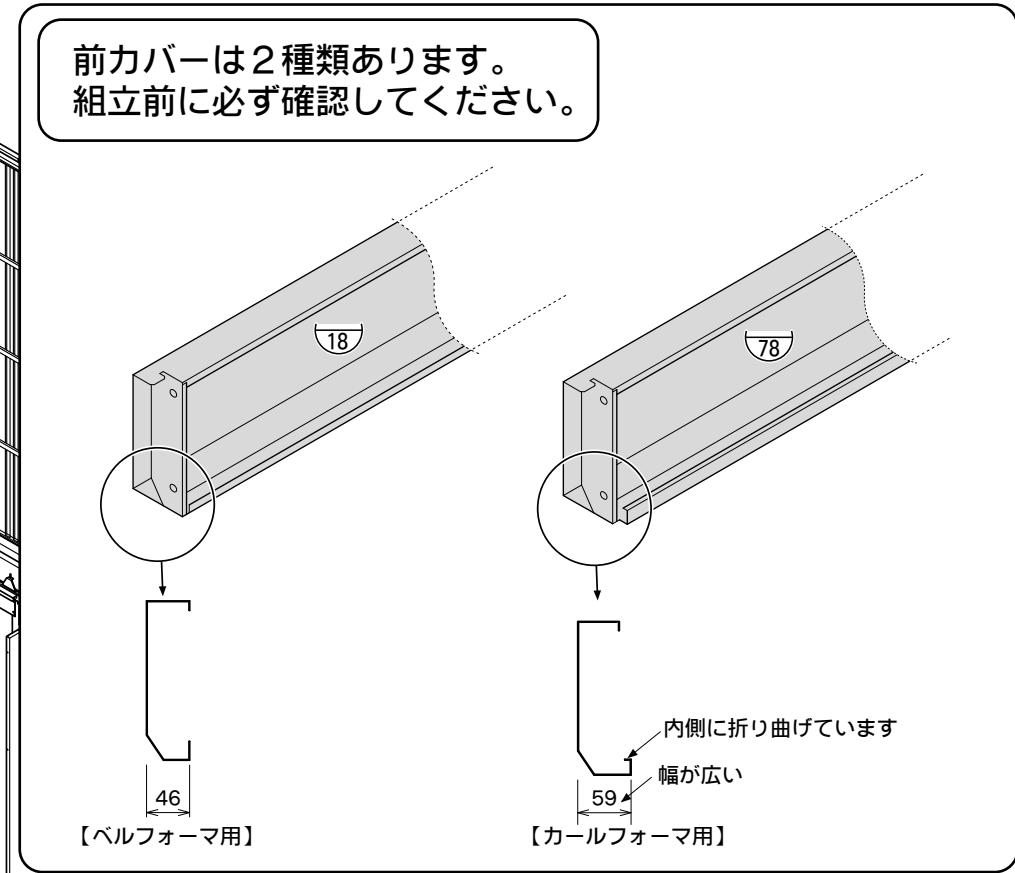
※ベルフォーマとカールフォーマでは、前力バーの種類が異なります。部品のナンバーをご確認ください。

使用部品

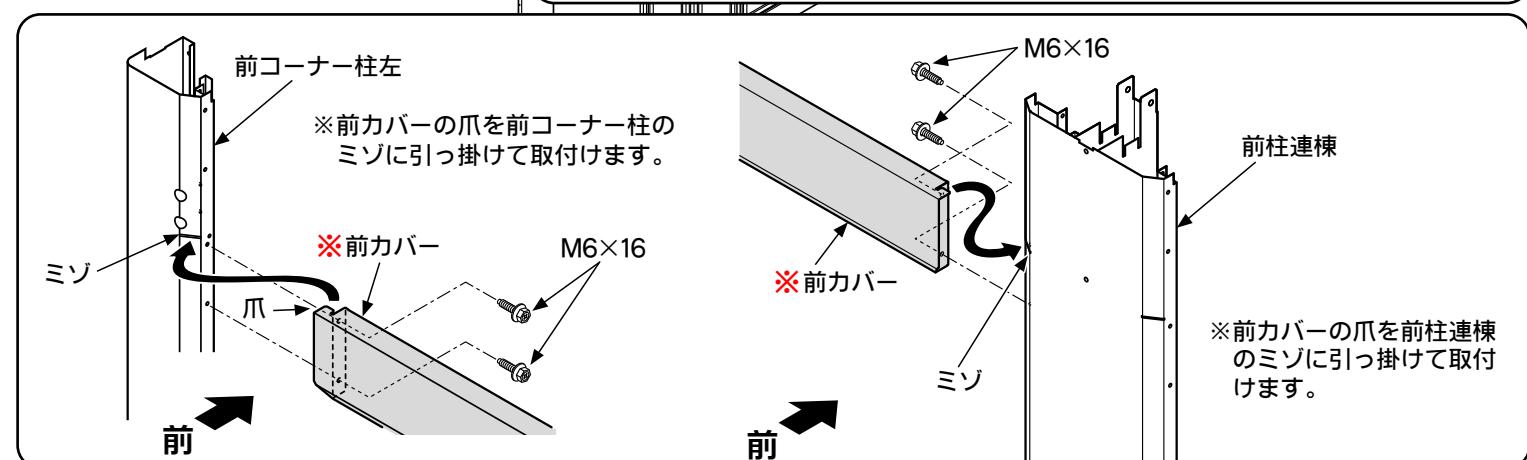
13	前桁	1
M6×16六角ボルト	8	
（アブセットセムスM6×16棒先）		
【ベルフォーマの場合】		
18	前力バー	1
【カールフォーマの場合】		
78	前力バー	1



前力バーは2種類あります。
組立前に必ず確認してください。



前

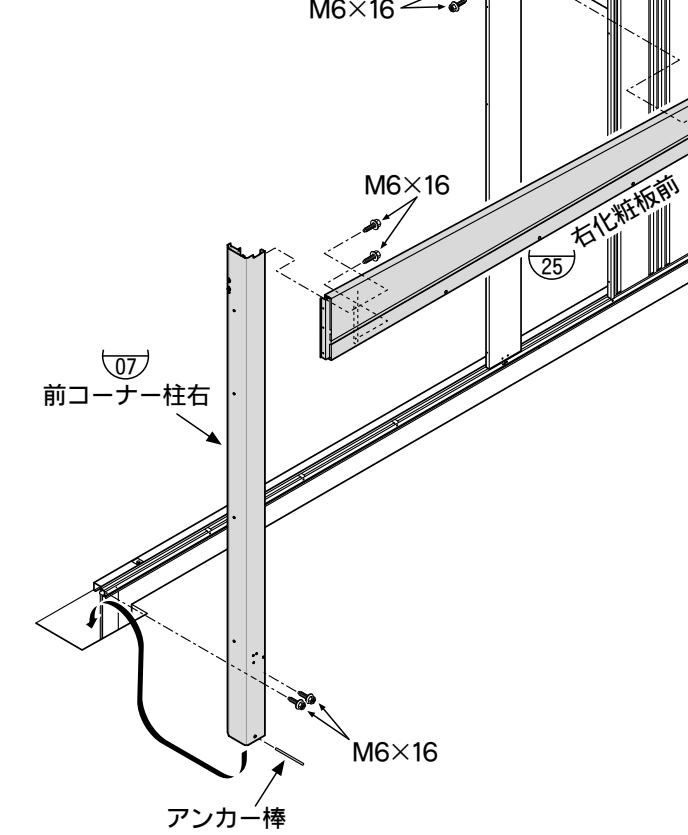
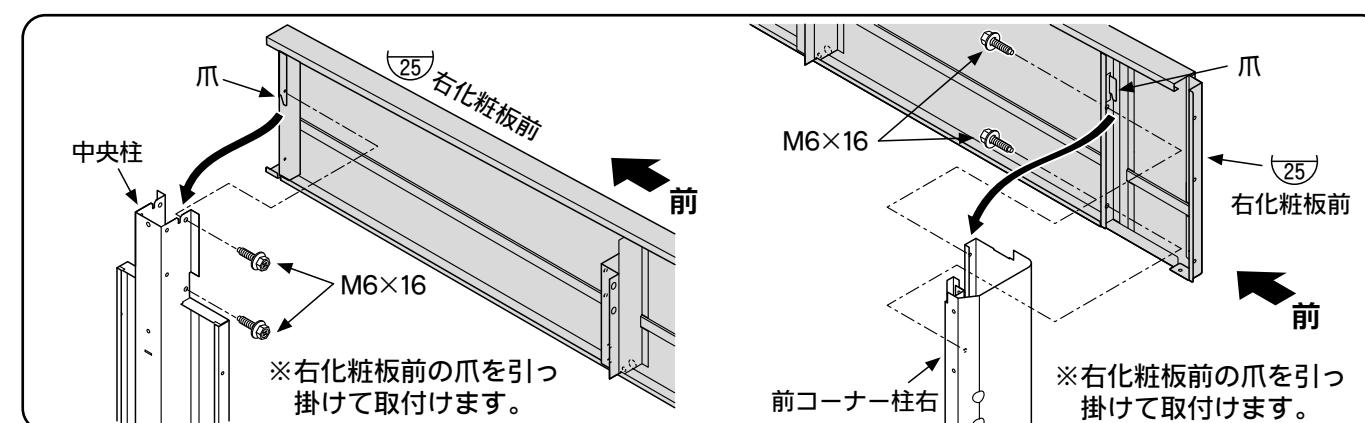
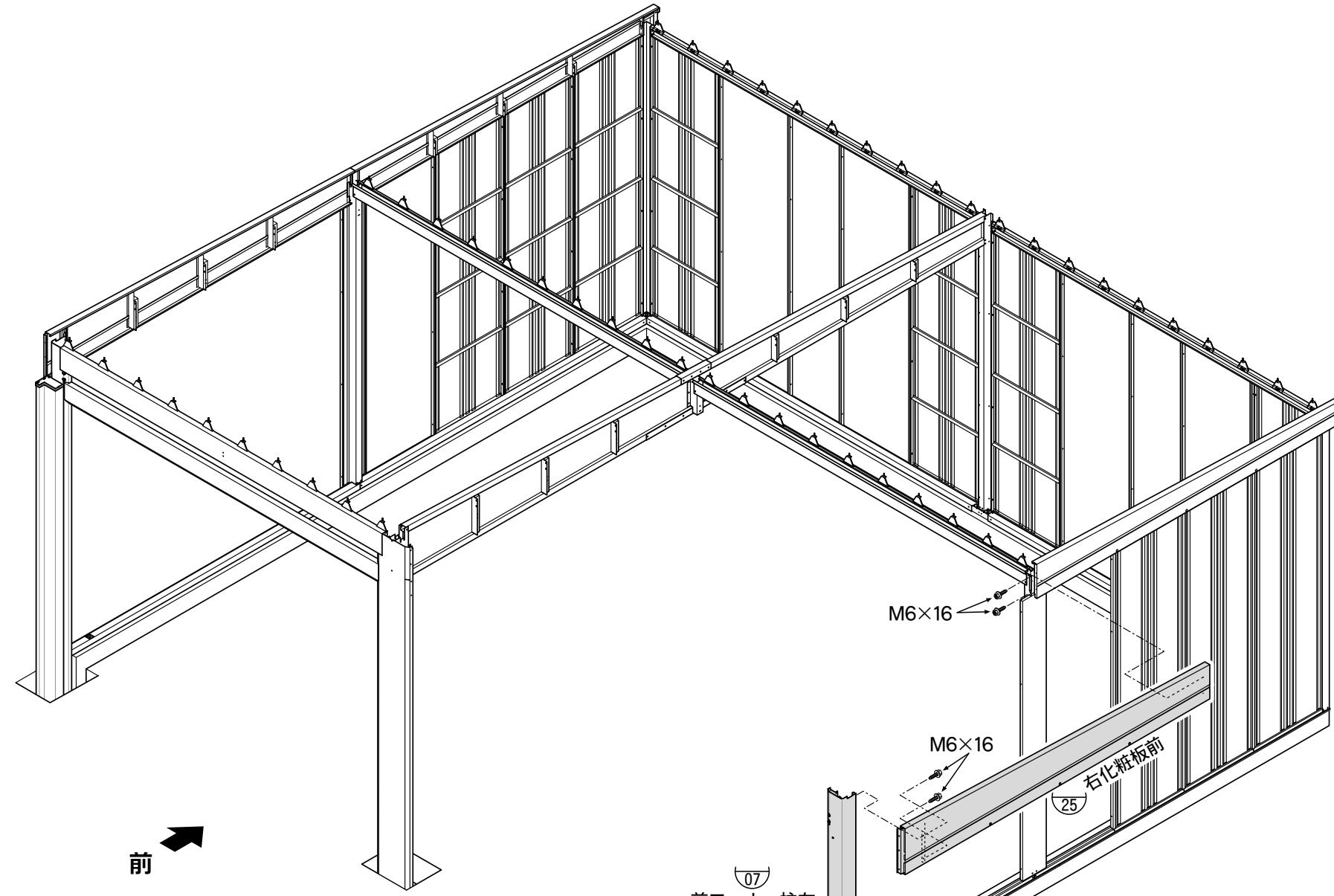


12-1. 前コーナー柱右と右化粧板前の組立

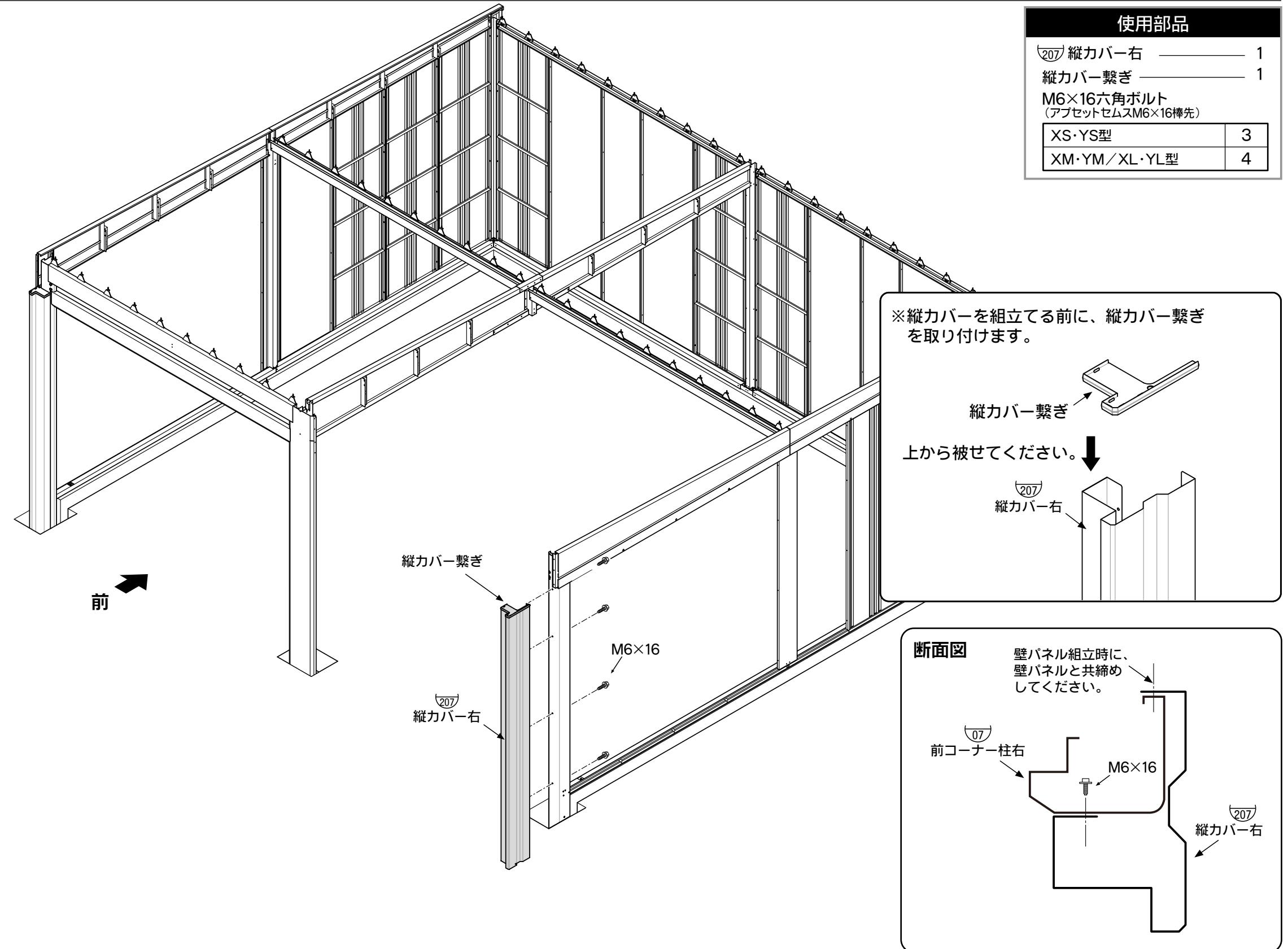
使用部品

⑦ 前コーナー柱右	1
②5 右化粧板前	1
アンカーボルト	1
M6×16六角ボルト	6

(アブセットセムスM6×16棒先)



12-2. 縦力バー 右の組立

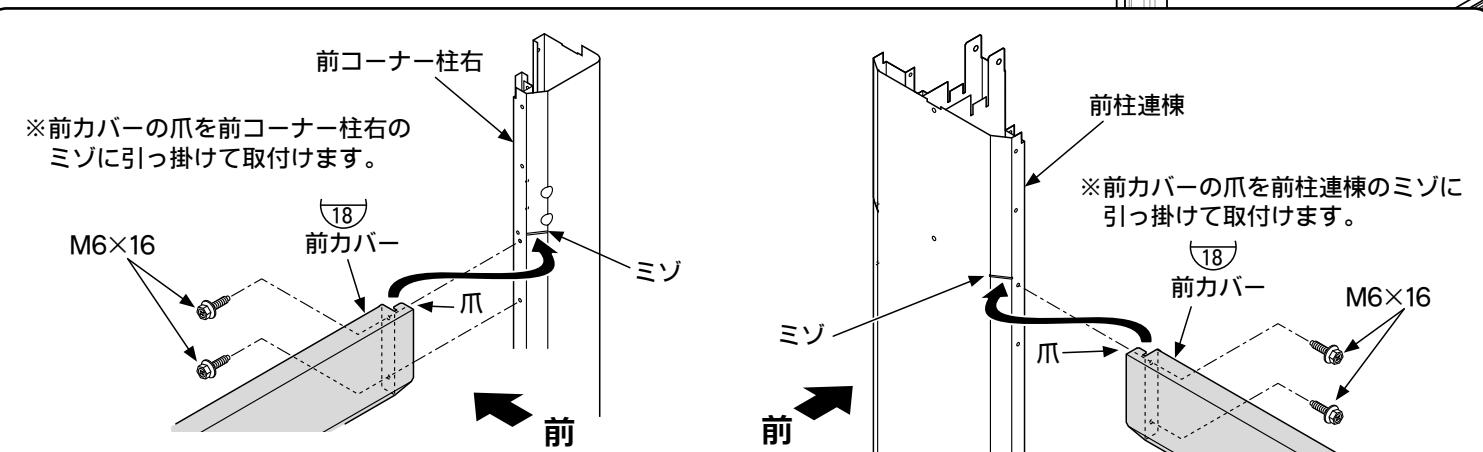
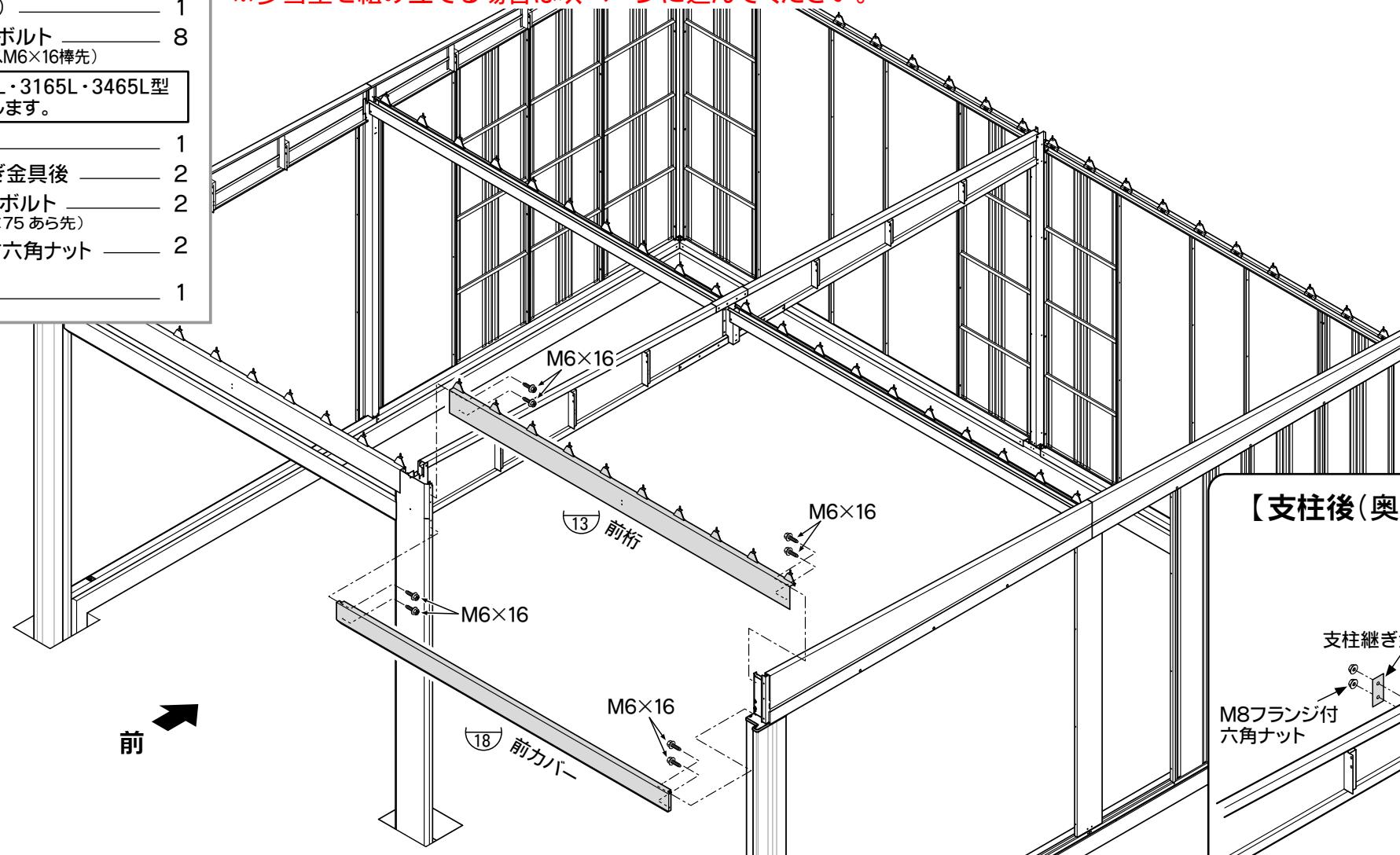


12-3. 前桁(右側)と前力バー(右側)、支柱後(奥行6516mmタイプのみ)の組立

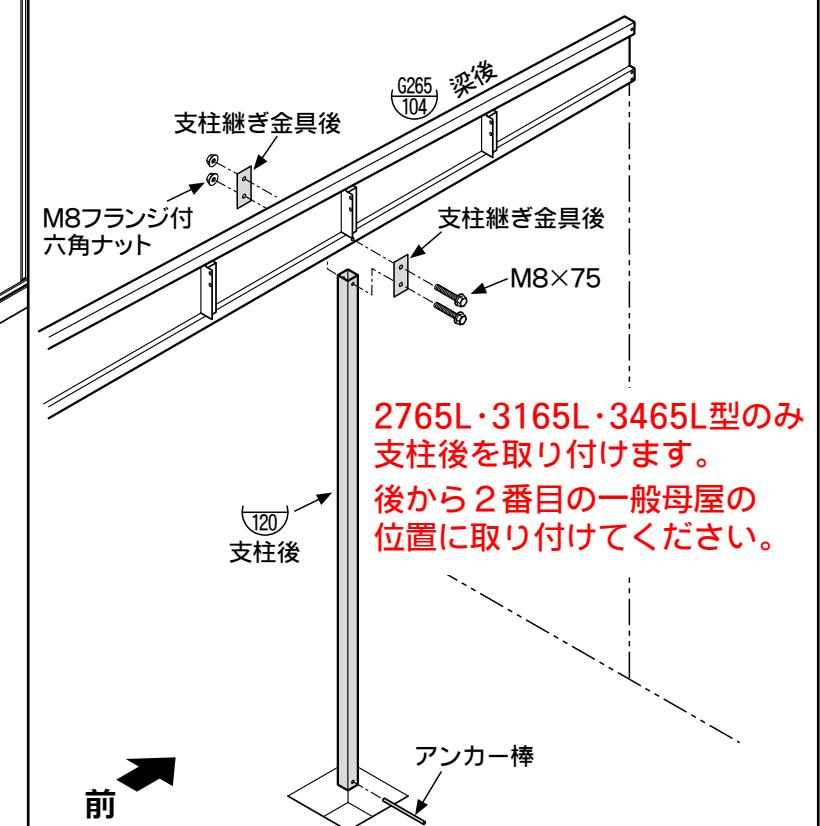
使用部品	
⑬ 前桁	1
前力バー(※)	1
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	8
以下、2765L・3165L・3465L型 のみに使用します。	
⑫ 支柱後	1
⑬ 支柱継ぎ金具後	2
M8×75六角ボルト (トリマーセムス M8×75 あら先)	2
M8フランジ付六角ナット	2
(フランジNT M8)	
アンカーバー	1

※ベルフォーマとカールフォーマでは、前力バーの種類が異なります。P31またはP51の図で、ご確認ください。
(ベルフォーマ用 前力バー⑬・カールフォーマ用 前力バー⑯)

※多雪型を組み立てる場合は次ページに進んでください。



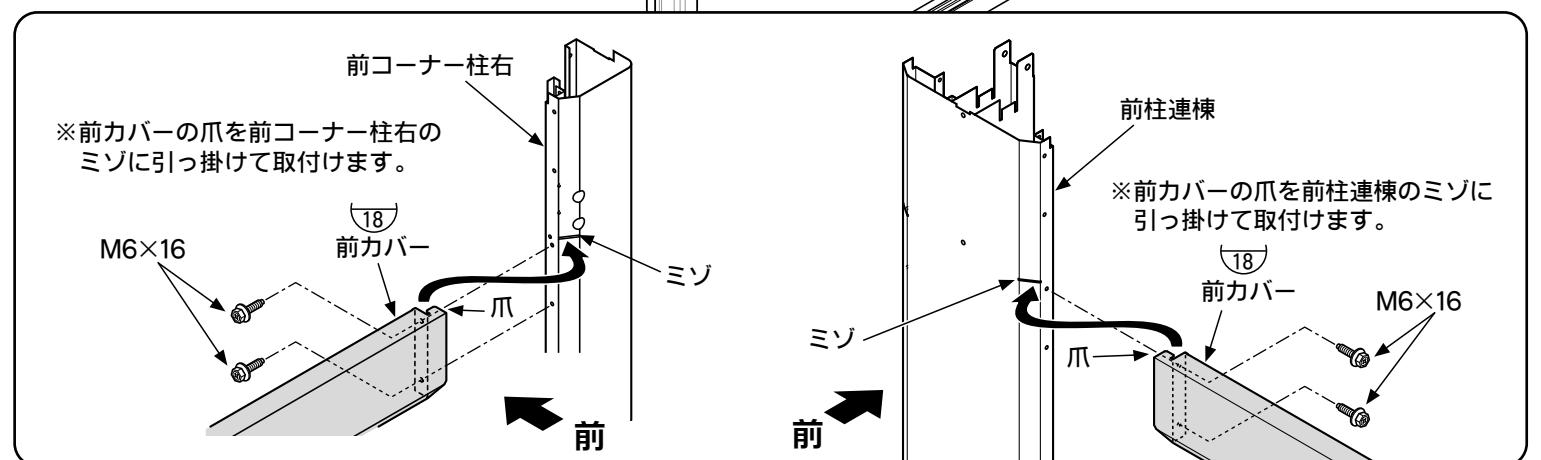
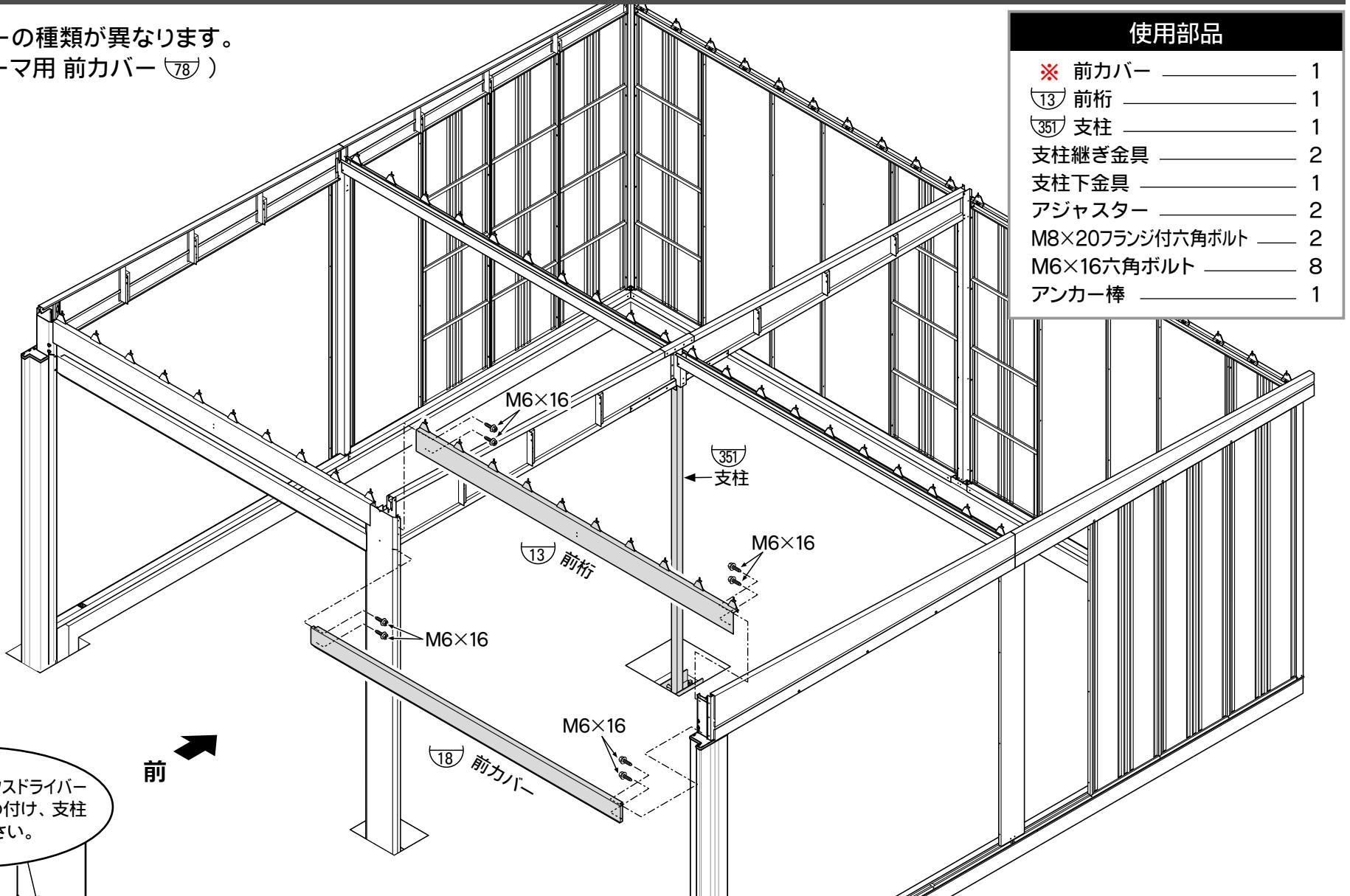
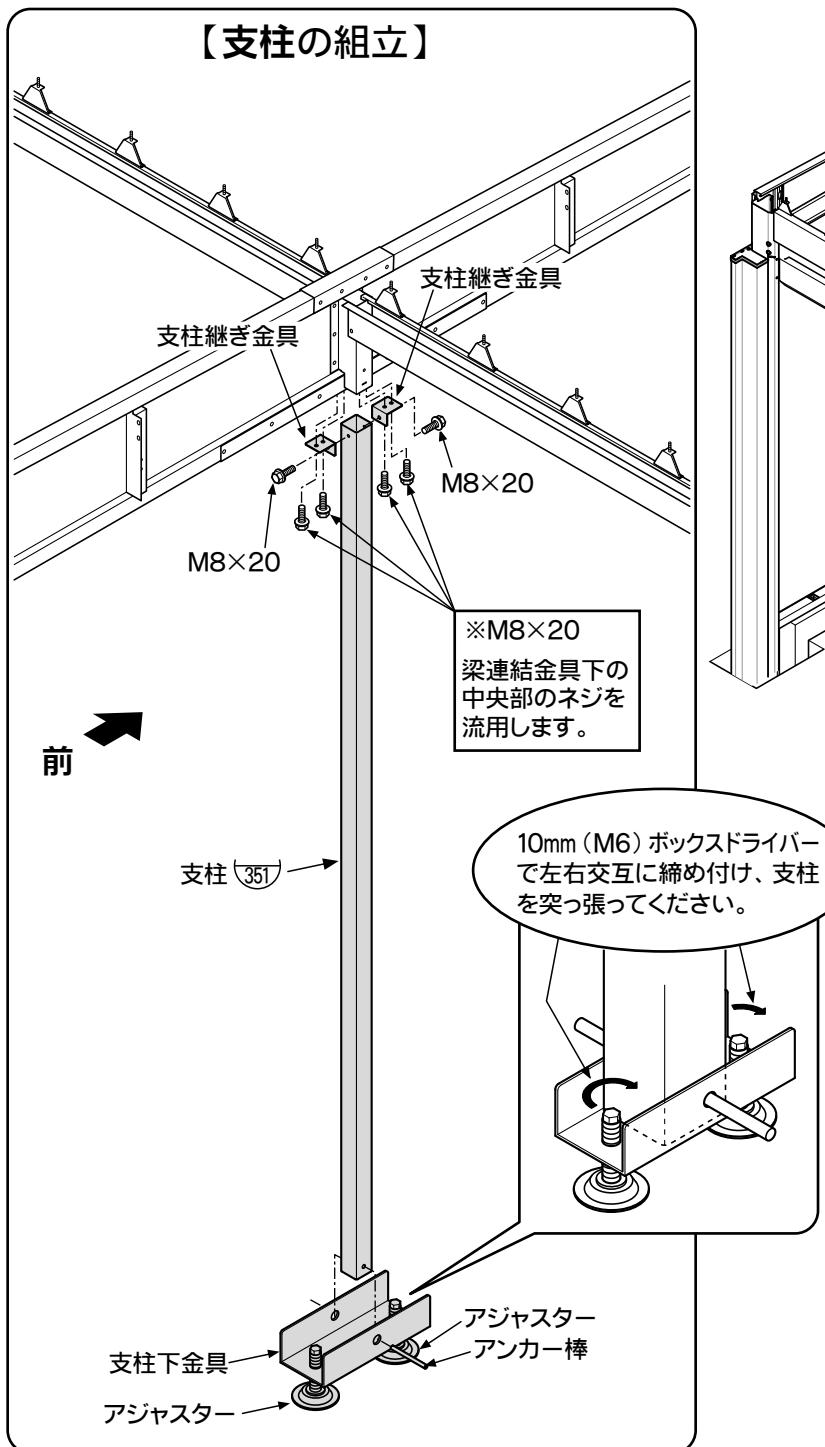
【支柱後(奥行6516mmタイプのみ)の組立】



12-4. 【多雪型】前桁(右側)と前力バー(右側)、支柱の組立

※ベルフォーマとカールフォーマでは、前力バーの種類が異なります。
(ベルフォーマ用 前力バー 188・カールフォーマ用 前力バー 178)

【支柱の組立】

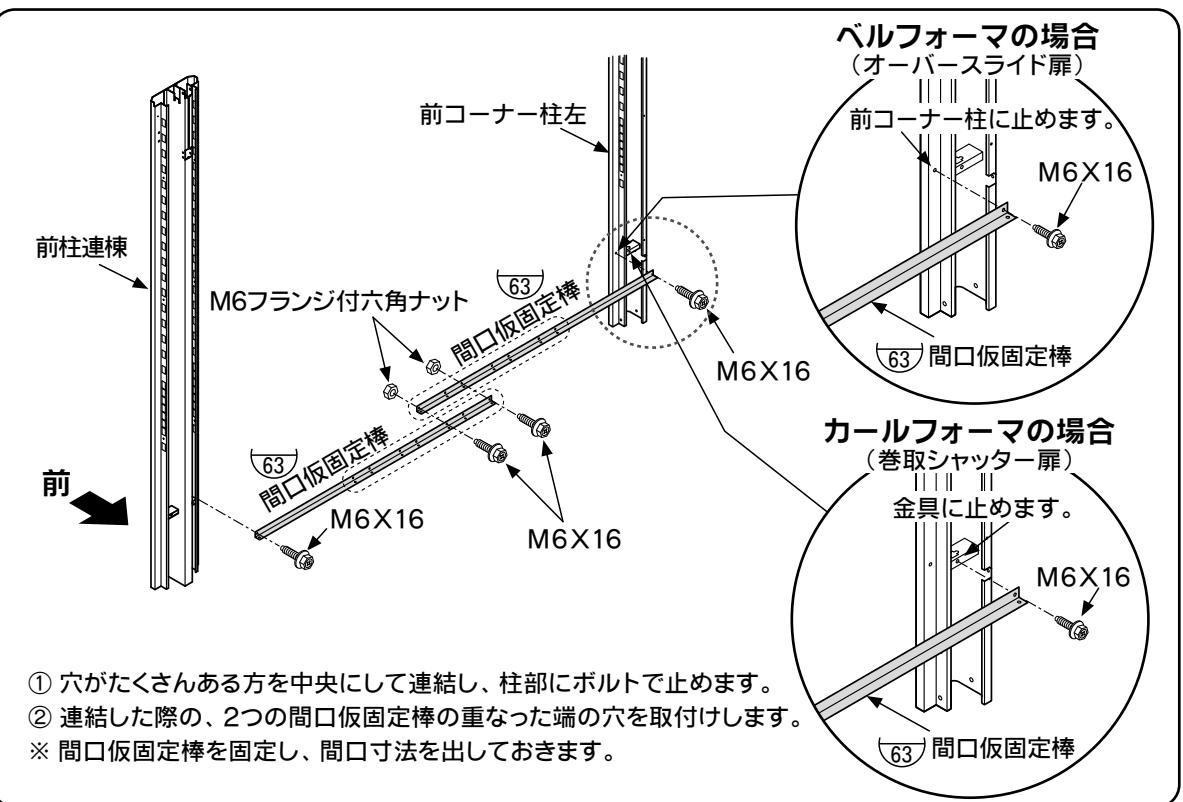
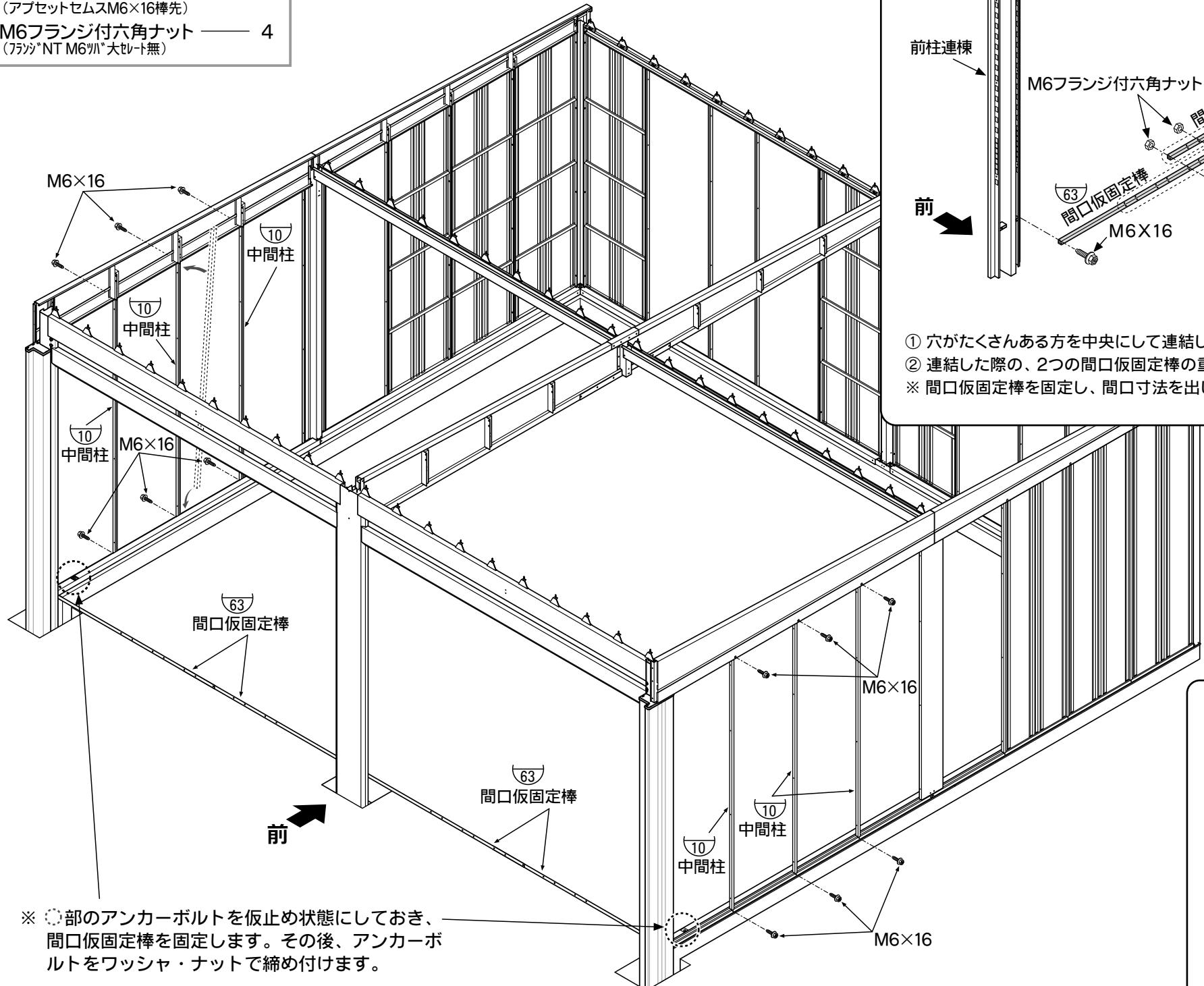


使用部品	
※ 前カバー	1
(13) 前桁	1
(35) 支柱	1
支柱継ぎ金具	2
支柱下金具	1
アジャスター	2
M8×20フランジ付六角ボルト	2
M6×16六角ボルト	8
アンカー棒	1

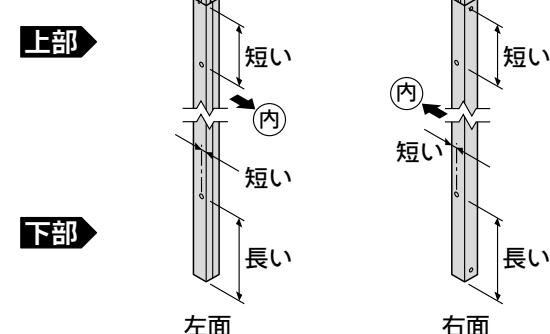
13. 前側中間柱、間口仮固定棒の組立

使用部品

10) 中間柱	6
63) 間口仮固定棒	4
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	20
M6フランジ付六角ナット (ラジ"NT M6"ハ"大セレト無)	4

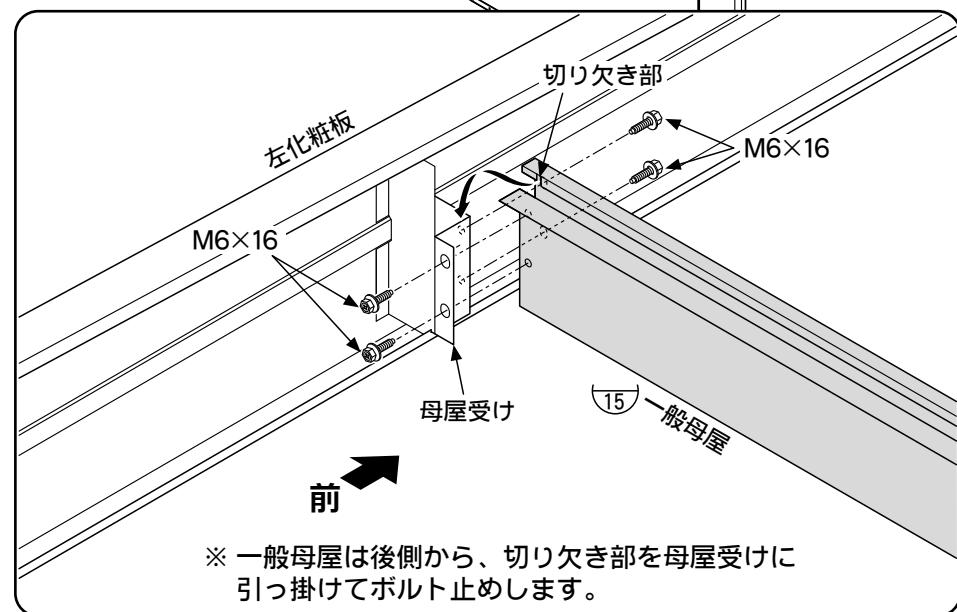
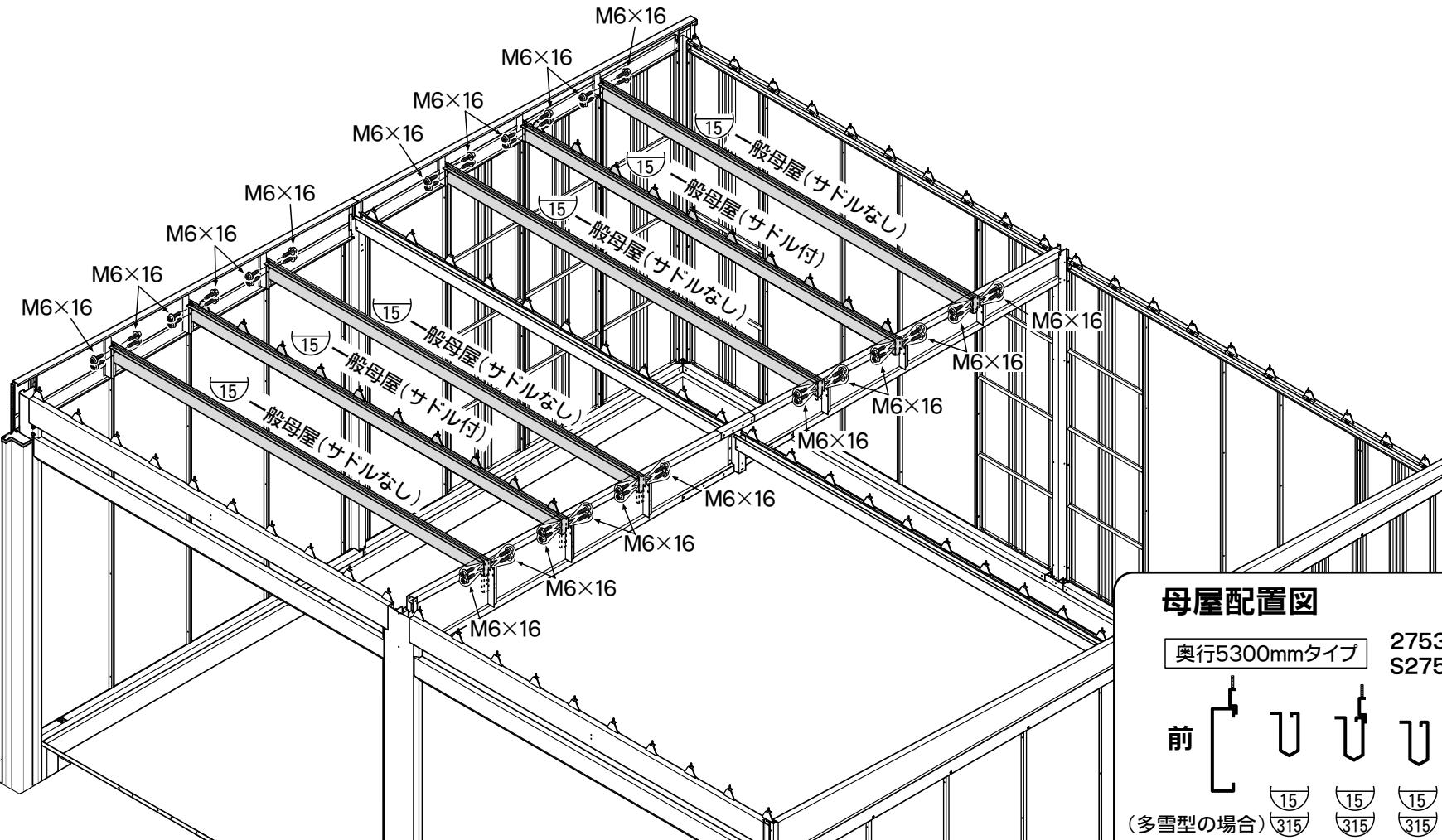


※中間柱の上下、及び向きに注意して取付けます。



14-1. 左側母屋の組立

※多雪型を組み立てる際は、一般母屋 15 の代わりに一般母屋S型 315 を取り付けてください。



!
各母屋の取り付け位置は間違えないようにしてください。間違えると屋根板が取り付かなくなります。

使用部品

15 一般母屋

2753L/3153L/3453L	5
2760L/3160L/3460L	6
2765L/3165L/3465L	7

M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)

2753L/3153L/3453L	40
2760L/3160L/3460L	48
2765L/3165L/3465L	56

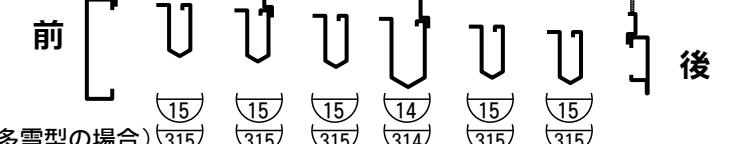
使用部品(多雪型)

315 一般母屋S型

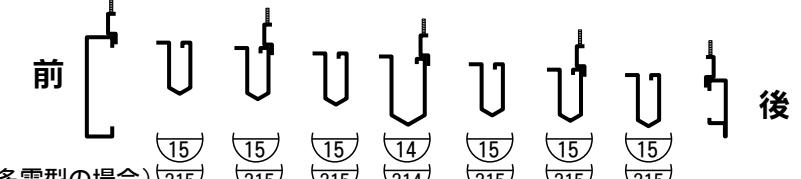
S2753L/S3153L/S3453L	5
S2760L/S3160L/S3460L	6
S2765L/S3165L/S3465L	7

母屋配置図

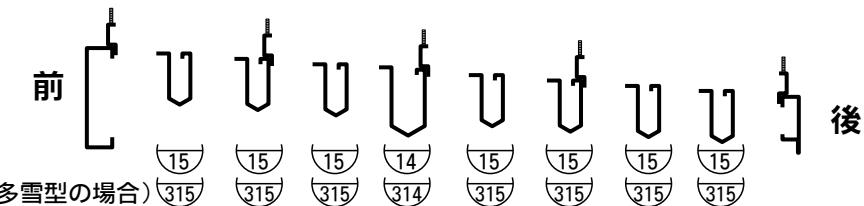
2753L/3153L/3453L型
S2753L/S3153L/S3453L型



2760L/3160L/3460L型
S2760L/S3160L/S3460L型



2765L/3165L/3465L型
S2765L/S3165L/S3465L型



14-2. 右側母屋の組立

使用部品	
(15) 一般母屋	
2753L/3153L/3453L	5
2760L/3160L/3460L	6
2753L/3165L/3465L	7

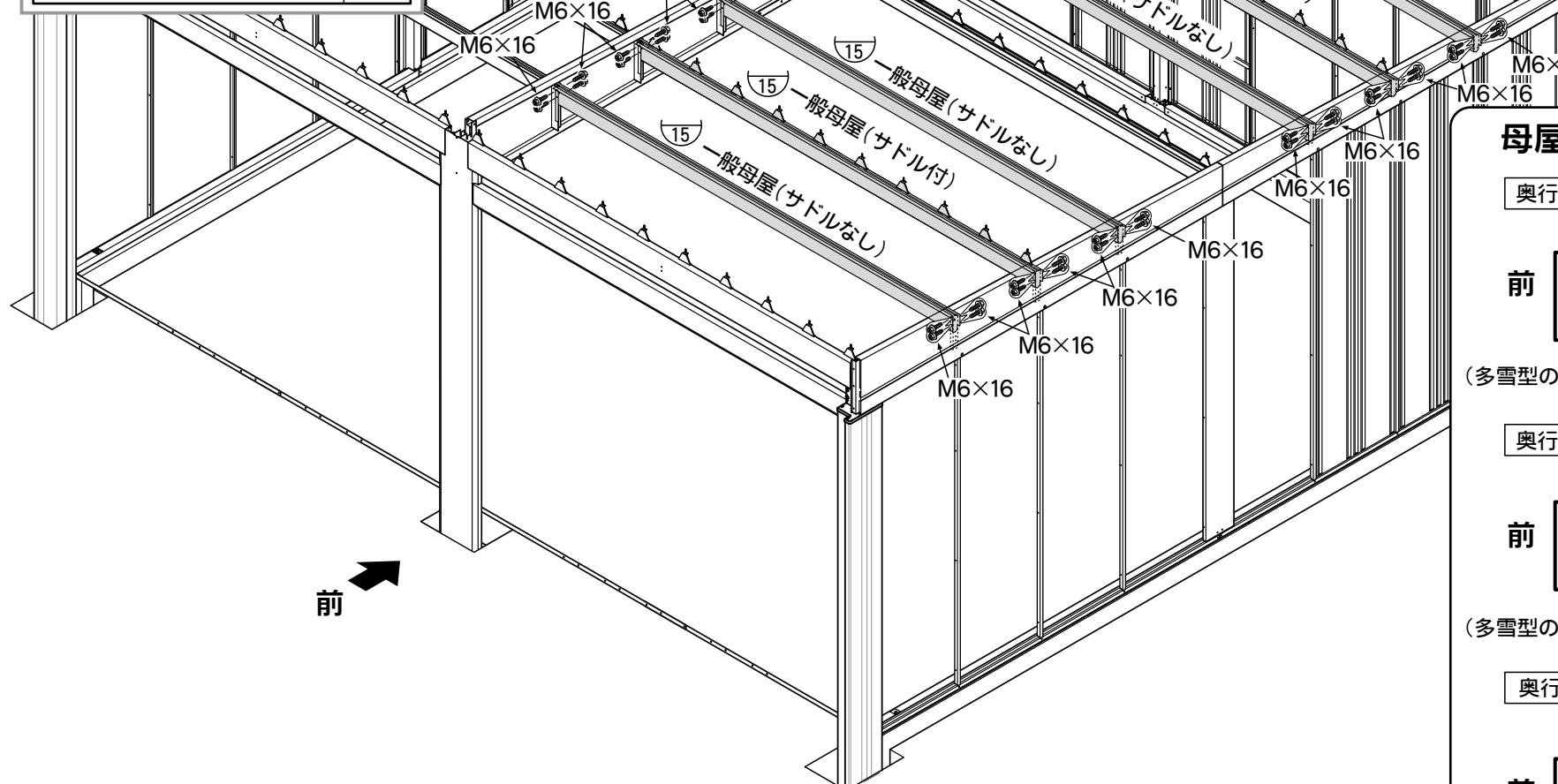
M6×16六角ボルト
(アブセットセムスM6×16棒先)

2753L/3153L/3453L	40
2760L/3160L/3460L	48
2753L/3165L/3465L	56

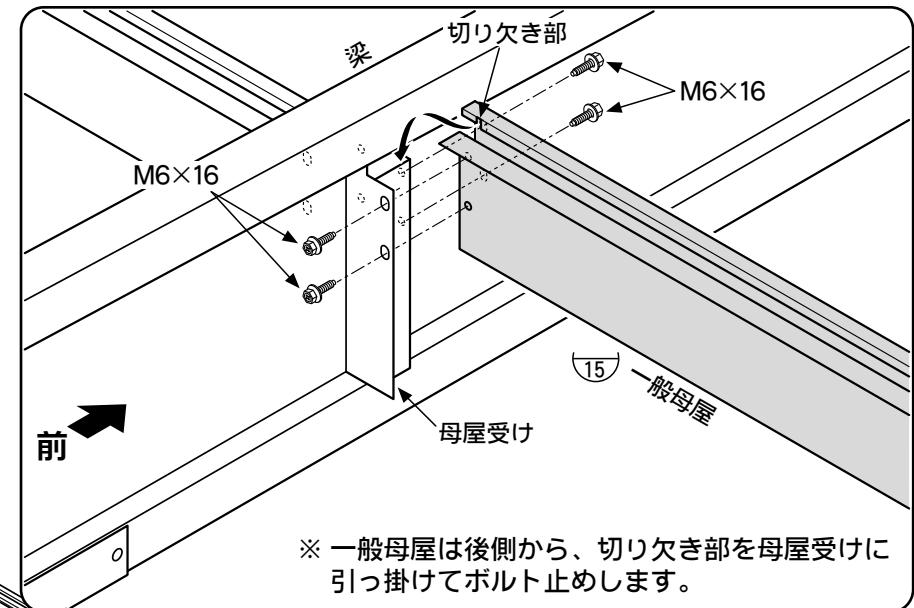
使用部品(多雪型)

(315) 一般母屋S型

S2753L/S3153L/S3453L	5
S2760L/S3160L/S3460L	6
S2765L/S3165L/S3465L	7



※多雪型を組み立てる際は、一般母屋(15)の代わりに一般母屋S型(315)を取り付けてください。



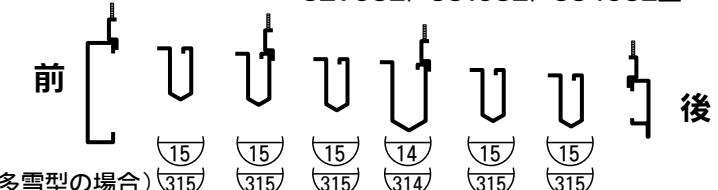
※一般母屋は後側から、切り欠き部を母屋受けに引っ掛けてボルト止めします。

母屋配置図

奥行5300mmタイプ

2753L/3153L/3453L型
S2753L/S3153L/S3453L型

前

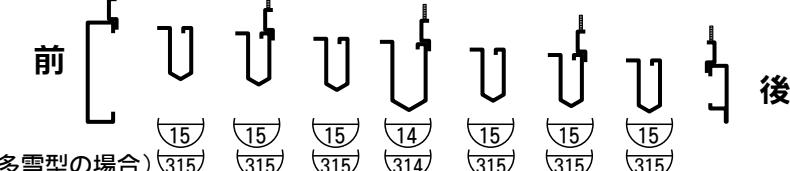


後

奥行6000mmタイプ

2760L/3160L/3460L型
S2760L/S3160L/S3460L型

前

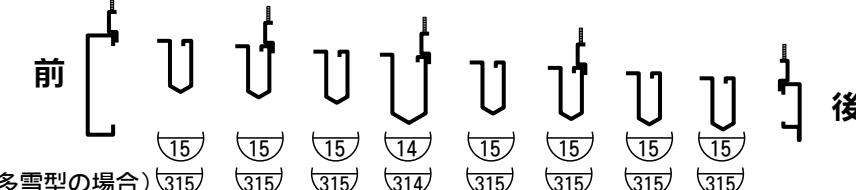


後

奥行6516mmタイプ

2765L/3165L/3465L型
S2765L/S3165L/S3465L型

前



後

15-1. 後側・左側壁パネルと添え柱の組立

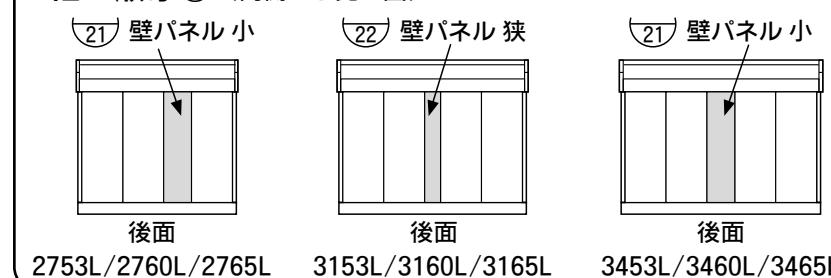
・壁パネルは後側⇒左側の順で取り付けると安全です。

・壁パネル小 (21) は、3153L/3160L/3165L型には使用しません。

・壁パネル狭 (22) は、2753L/2760L/2765L/3453L/3460L/3465L型には使用しません。

・添え柱 (17) は、XS・YSタイプには使用しません。

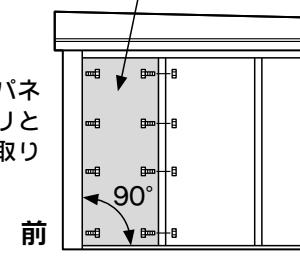
組立順序① (内側から見た図)



注意.1

台枠と後側の壁パネル下面がピッタリと接觸するように取り付けます。

壁パネル大



組立順序②

中央2ヶ所のネジを仮止めし、
(17)添え柱を差し込んだ後上下2ヶ所を
ネジ止めしてください。

M6フランジ付六角ナット

M6×40

貫通穴にて固定
上下2ヶ所

(17)添え柱

仮止め後固定
2ヶ所

使用部品

壁パネル大

2753L/2760L/2765L	7
3153L/3453L/3160L/3460L /3165L/3465L	9

壁パネル小

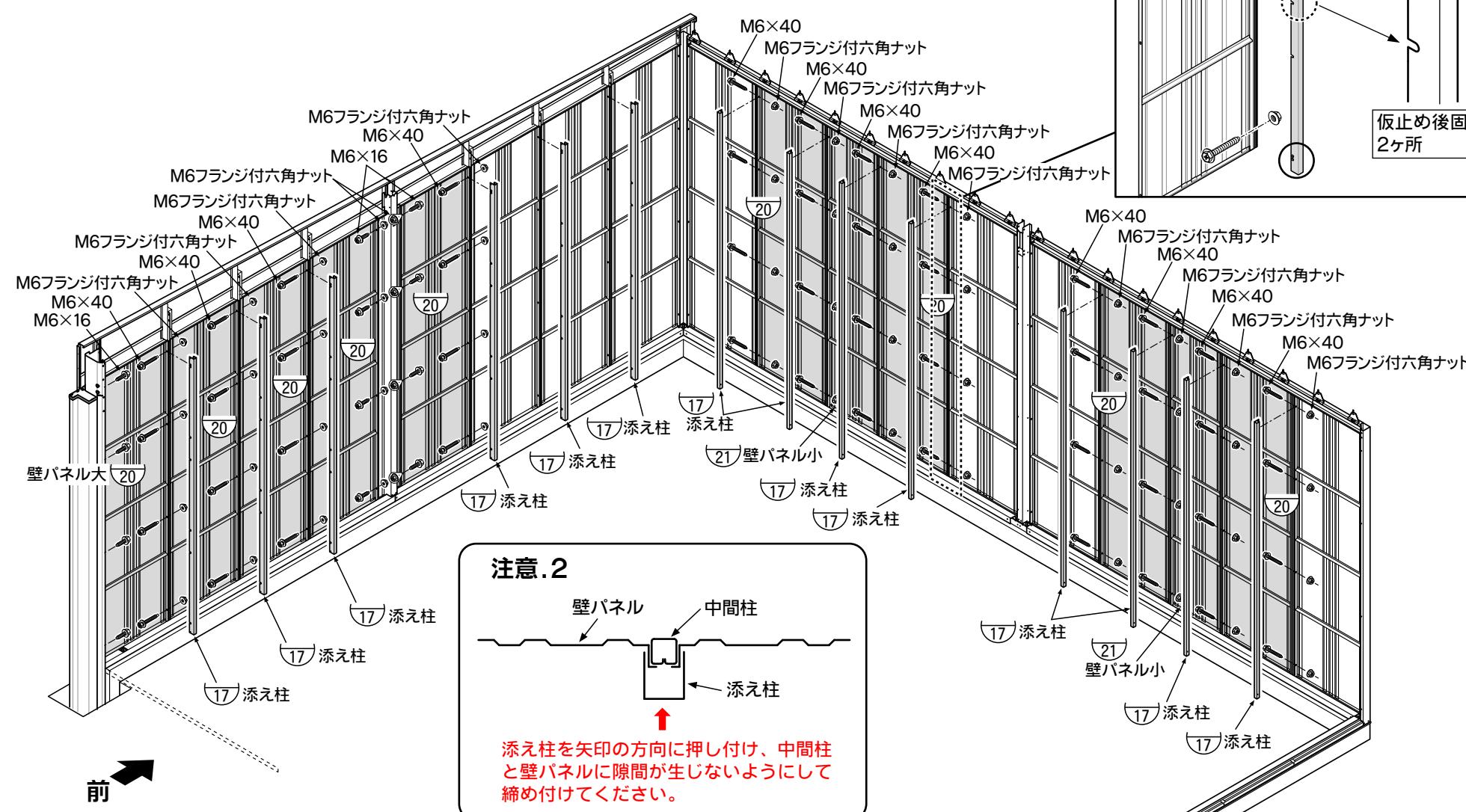
2753L/2760L/2765L /3453L/3460L/3465L	2
---	---

壁パネル狭

3153L/3160L/3165L	2
-------------------	---

添え柱

XM・YM-2753L XL・YL-2753L	11
XM・YM-2760L XL・YL-2760L	12
XM・YM-2765L/3153L/3453L XL・YL-2765L/3153L/3453L	13
XM・YM-3160L/3460L XL・YL-3160L/3460L	14
XM・YM-3165L/3465L XL・YL-3165L/3465L	15



M6×40六角ボルト (アセットセムスM6×40棒先)

XS・YS-2753L/2760L/2765L	30
XS・YS-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L	36
XM・YM-2753L/2760L/2765L XL・YL-2753L/2760L/2765L	40
XM・YM-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L XL・YL-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L	48

M6フランジ付六角ナット (ラッソNT M6用 大セレト無)

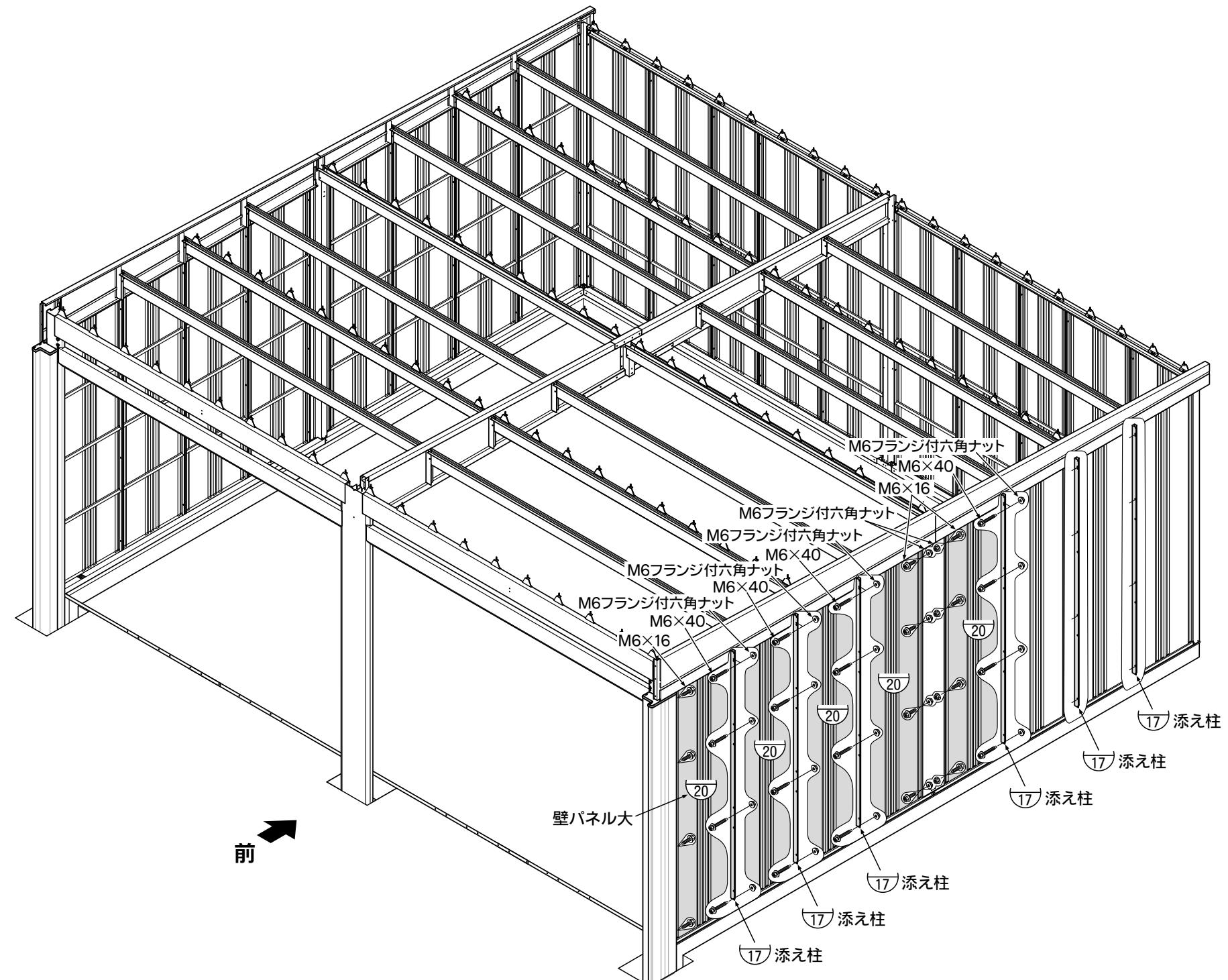
XS・YS-2753L/2760L/2765L	36
XS・YS-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L	42
XM・YM-2753L/2760L/2765L XL・YL-2753L/2760L/2765L	48
XM・YM-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L XL・YL-3153L/3160L/3165L /3453L/3460L/3465L	56

M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)

XS・YS型	9
XM・YM/XL・YL型	12

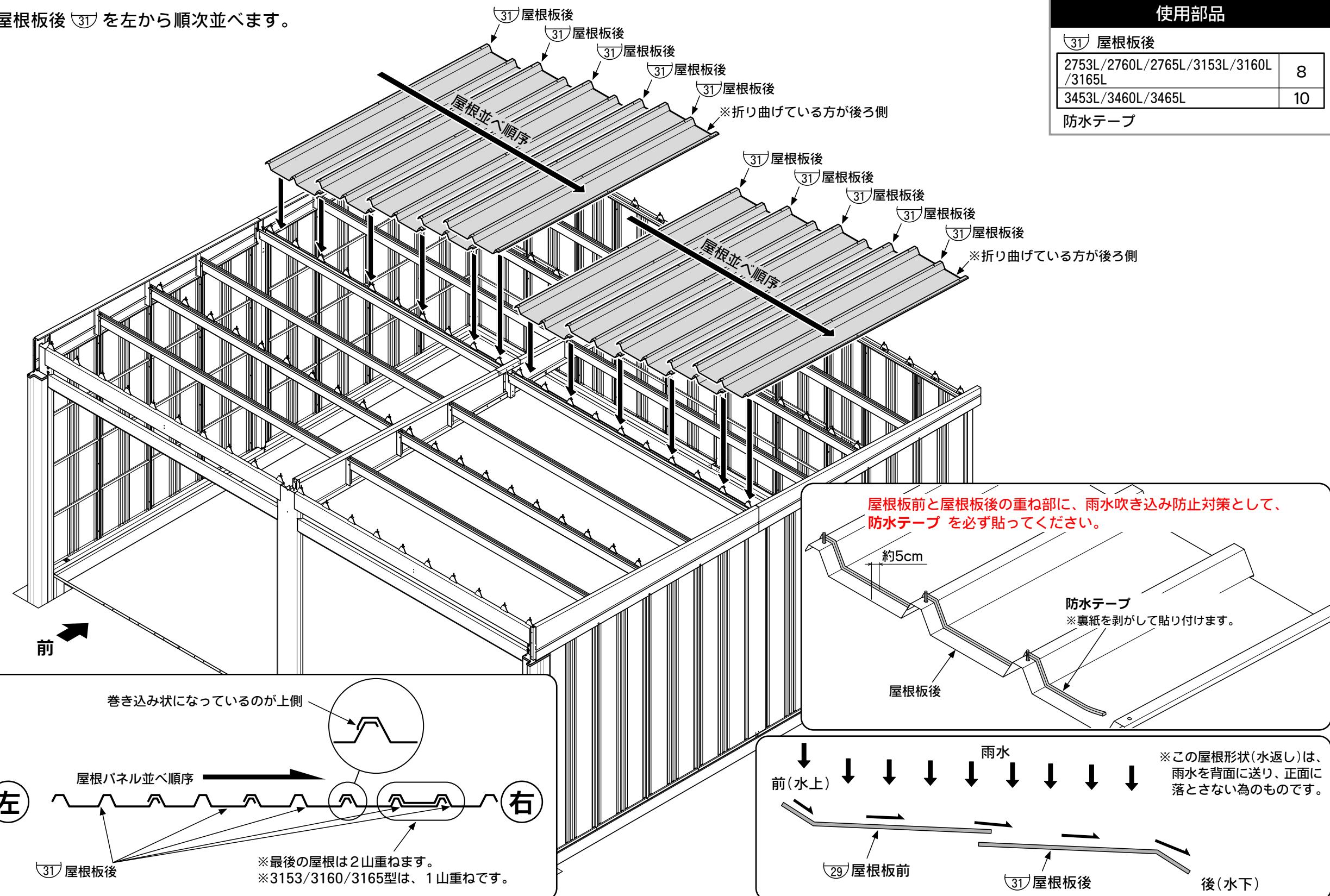
15-2. 右側壁パネル・添え柱の組立

使用部品	
⑩ 壁パネル大	5
⑪ 添え柱	
XM・YM-2753L/3153L/3453L XL・YL-2753L/3153L/3453L	5
XM・YM-2760L/3160L/3460L XL・YL-2760L/3160L/3460L	6
XM・YM-2765L/3165L/3465L XL・YL-2765L/3165L/3465L	7
M6×40六角ボルト (アブセットセムスM6×40棒先)	
XS・YS型	12
XM・YM/XL・YL型	16
M6フランジ付六角ナット (フランジNT M6ツバ大セレット無)	
XS・YS型	18
XM・YM/XL・YL型	24
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	
XS・YS型	9
XM・YM/XL・YL型	12



16-1. 屋根板後の組立

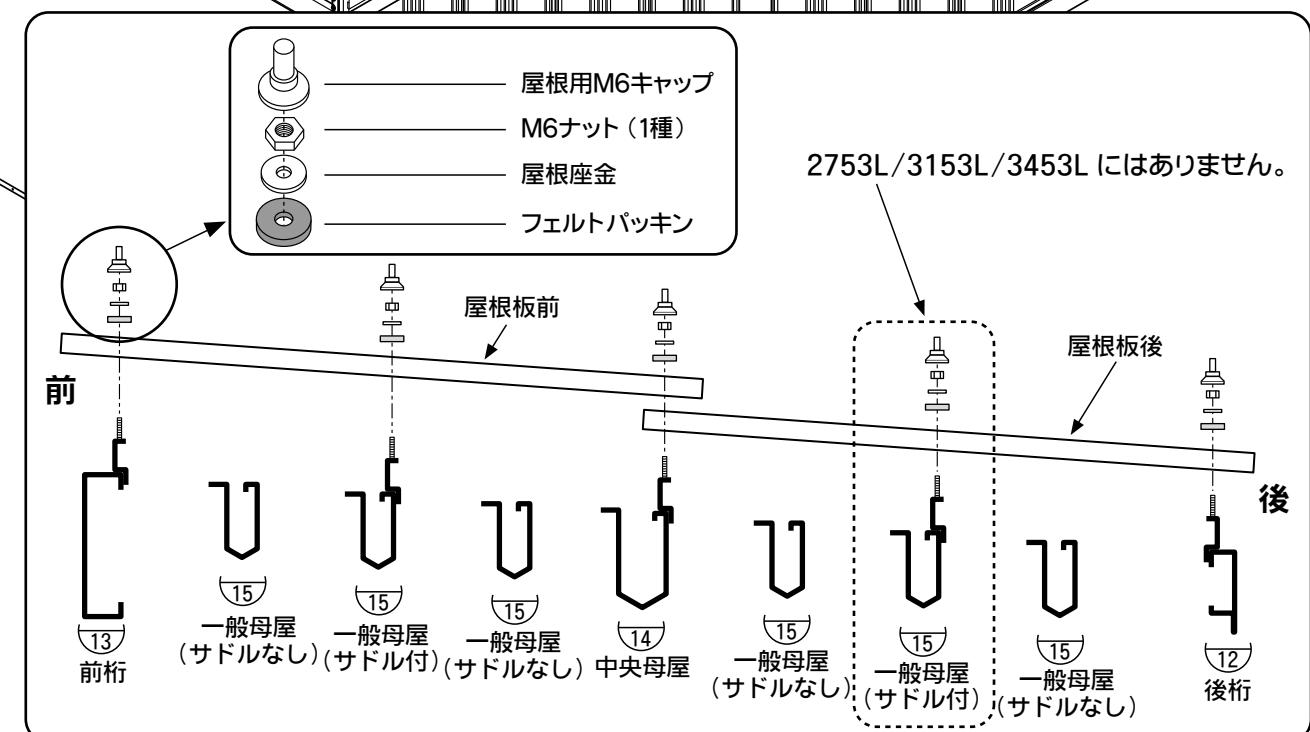
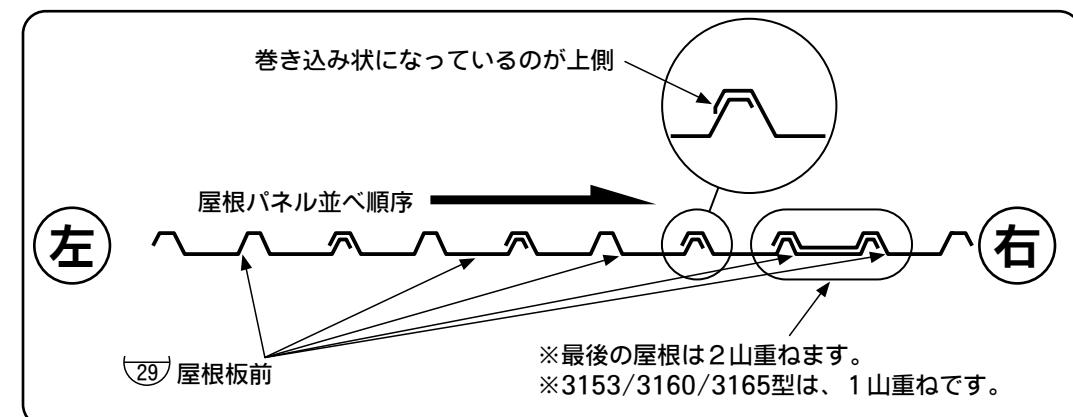
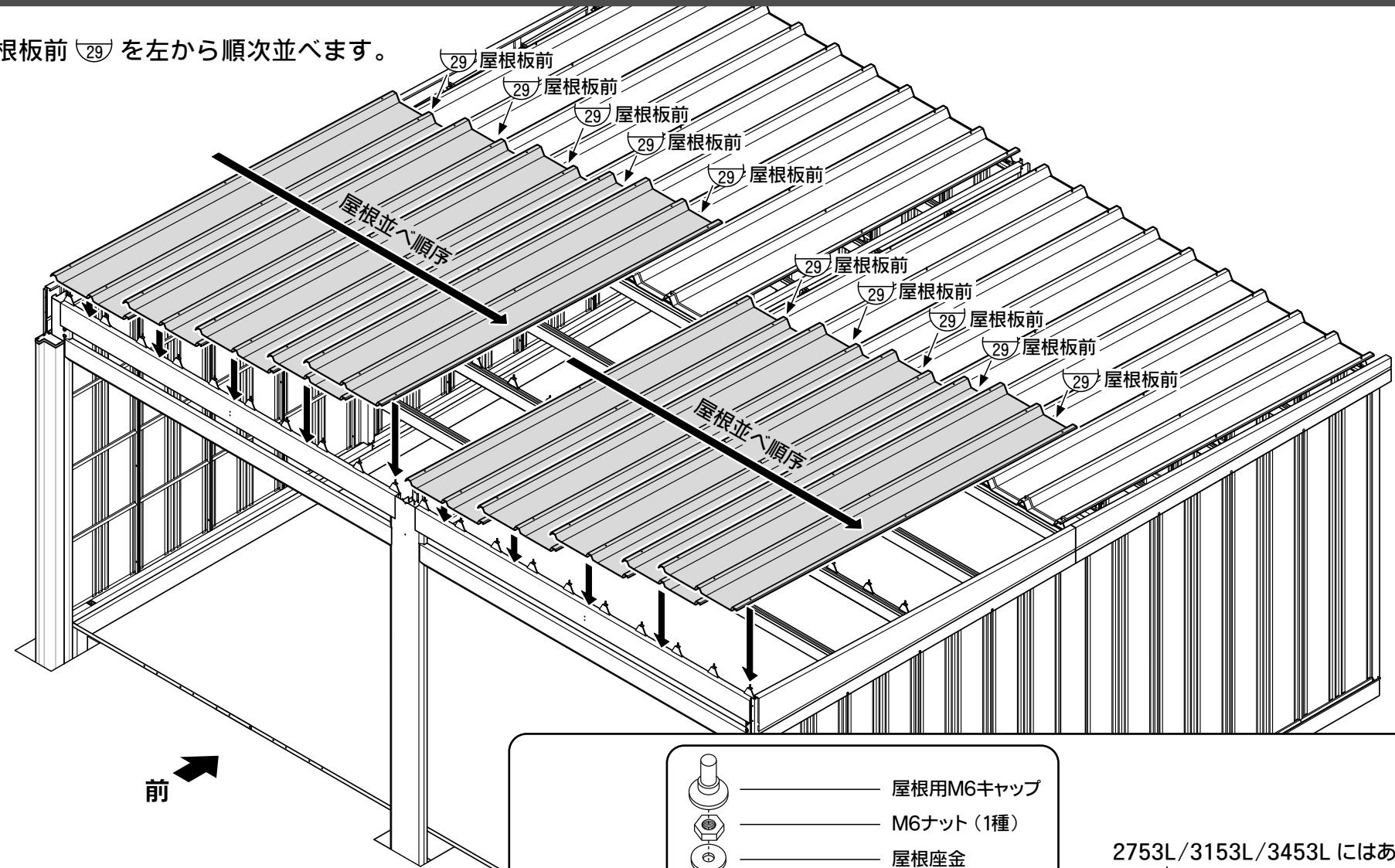
- 屋根板後 (31) を左から順次並べます。



16-2. 屋根板前の組立

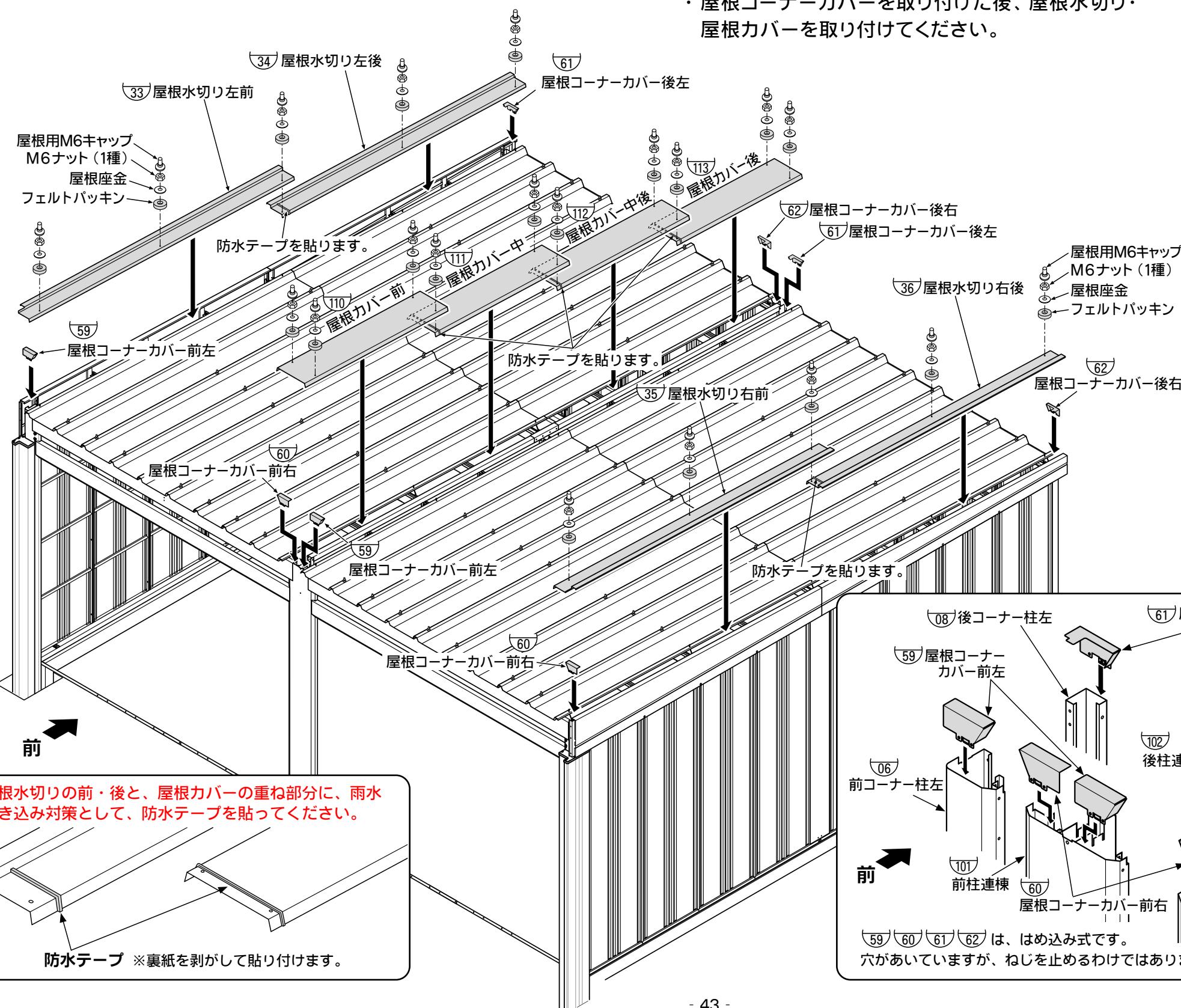
使用部品	
(29) 屋根板前	
2753L/3153L/2760L 3153L/3160L/3165L	8
3453L/3460L/3465L	10
フェルトパッキン (5×20×6) 屋根座金 (山W 6×21.5) M6ナット(1種) (NT M6) 屋根用M6キャップ (サンドホワイト)	
2753L	各48
3153L	各56
2760L/2765L	各60
3453L	各64
3160L/3165L	各70
3460L/3465L	各80

・屋根板前 (29) を左から順次並べます。



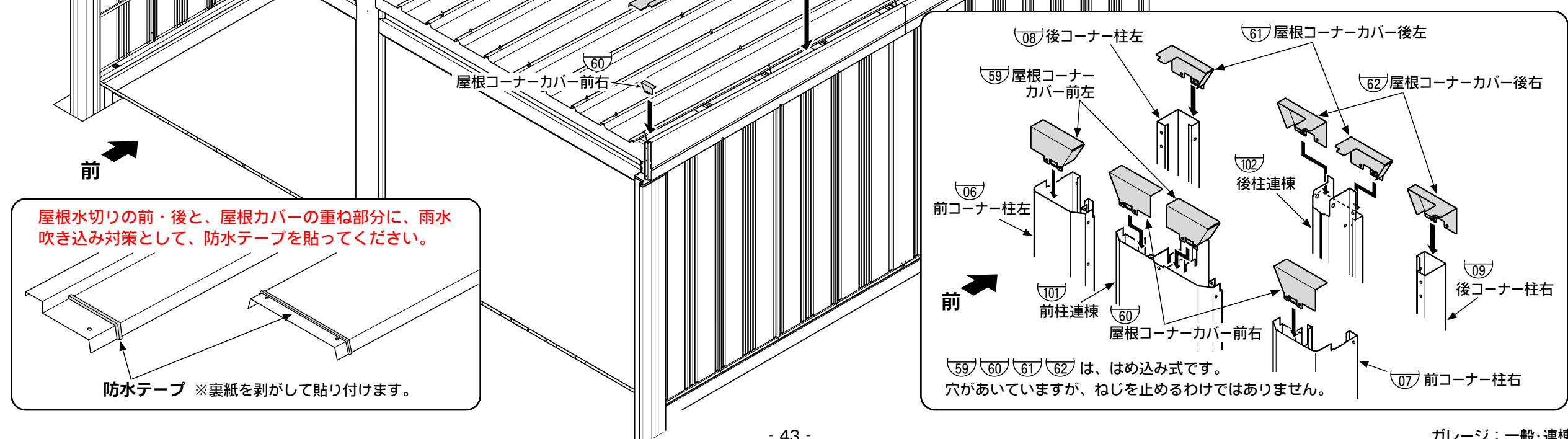
17. 屋根水切り・屋根カバー・屋根コーナーカバーの組立

- 屋根コーナーカバーを取り付けた後、屋根水切り・屋根カバーを取り付けてください。



使用部品

〔33〕	屋根水切り左前	_____	1
〔34〕	屋根水切り左後	_____	1
〔35〕	屋根水切り右前	_____	1
〔36〕	屋根水切り右後	_____	1
〔59〕	屋根コーナーカバー前左	—	2
〔60〕	屋根コーナーカバー前右	—	2
〔61〕	屋根コーナーカバー後左	—	2
〔62〕	屋根コーナーカバー後右	—	2
〔110〕	屋根カバー前	_____	1
〔111〕	屋根カバー中	_____	1
〔112〕	屋根カバー中後	_____	
2760L/3160L/3460L/2765L /3165L/3465L			1
〔113〕	屋根カバー後	_____	1
フェルトパッキン (5×20×6)			
屋根座金 (山W 6×21.5)			
M6ナット(1種) (NT M6)			
屋根用M6キャップ (サンドホワイト)			
2753L/3153L/3453L			各16
2760L/2765L/3160L/3165L /3460L/3465L			各20



【ベルフォーマ用 オーバースライド扉 の取付方法 : P44~50】

18. スプリングの組立

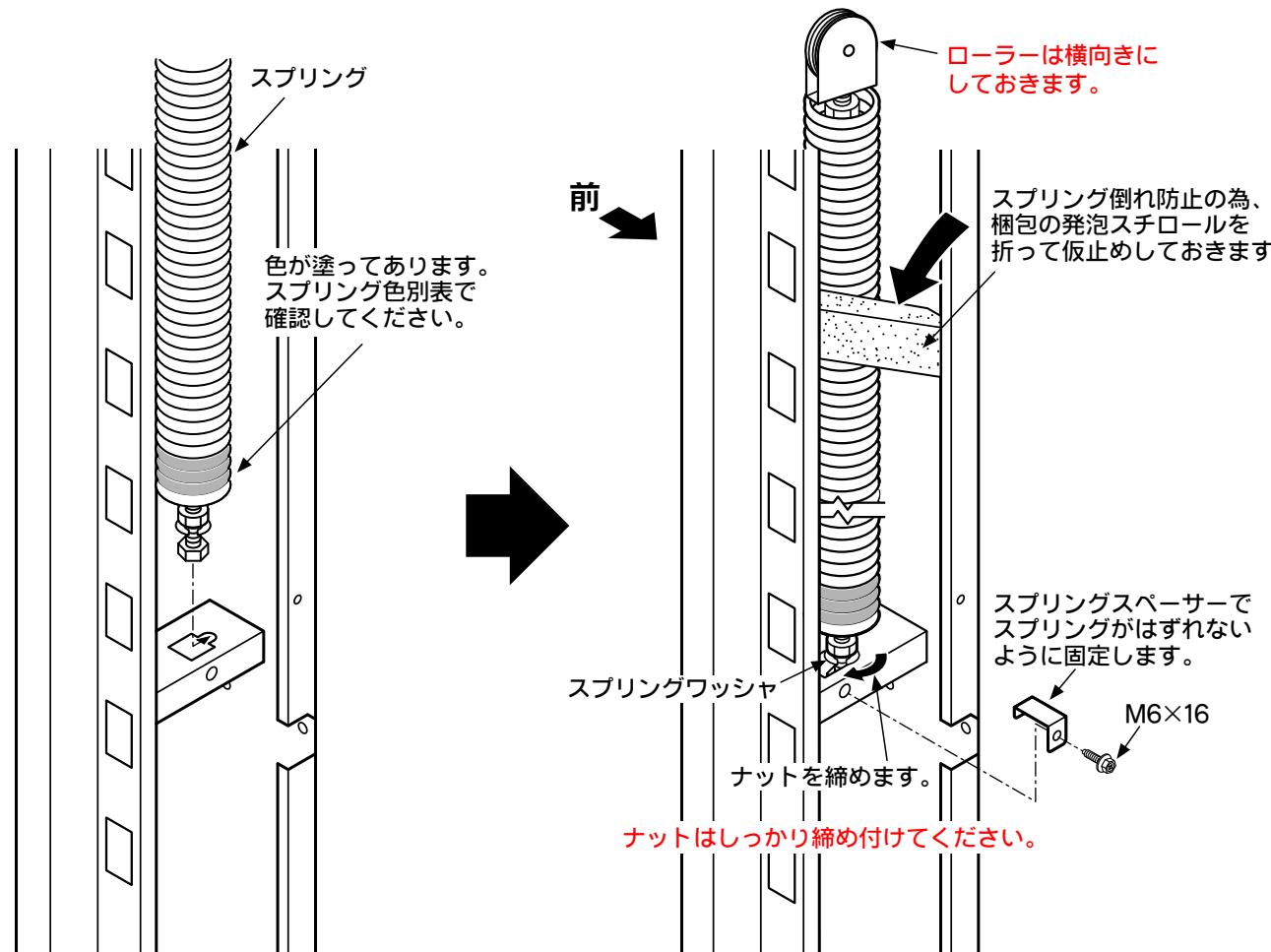
使用部品

スプリング 4
スプリングスペーサー 4
M6×16六角ボルト 4
(アセットセムスM6×16棒先)

スプリング色別表 (スプリング下部に色を塗っています)

該当機種	スプリング長さ	色
XL-2753L/2760L/2765L	950mm	青
XM-2753L/2760L/2765L	900mm	緑
XS-2753L/2760L/2765L/3153L/3160L/3165L	850mm	赤
XS-3453L/3460L/3465L	800mm	黄
XL-3153L/3160L/3165L	1100mm	黒
XM-3453L/3460L/3465L・XL-3453L/3460L/3465L	1050mm	白
XM-3153L/3160L/3165L	1075mm	茶

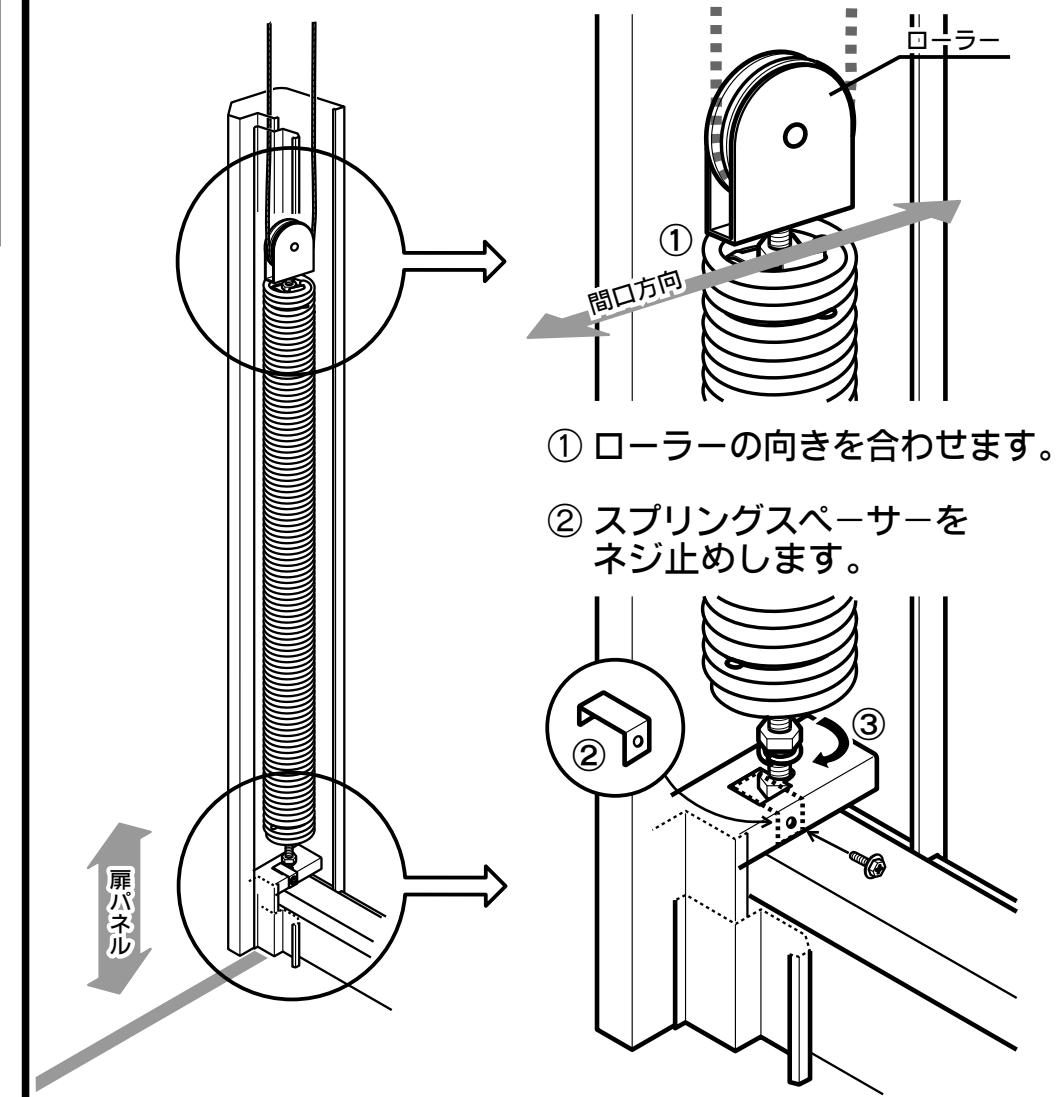
・スプリングを取り付けます。



※カールフォーマ用巻取シャッター扉を取り付ける場合はP51~54をご覧ください。

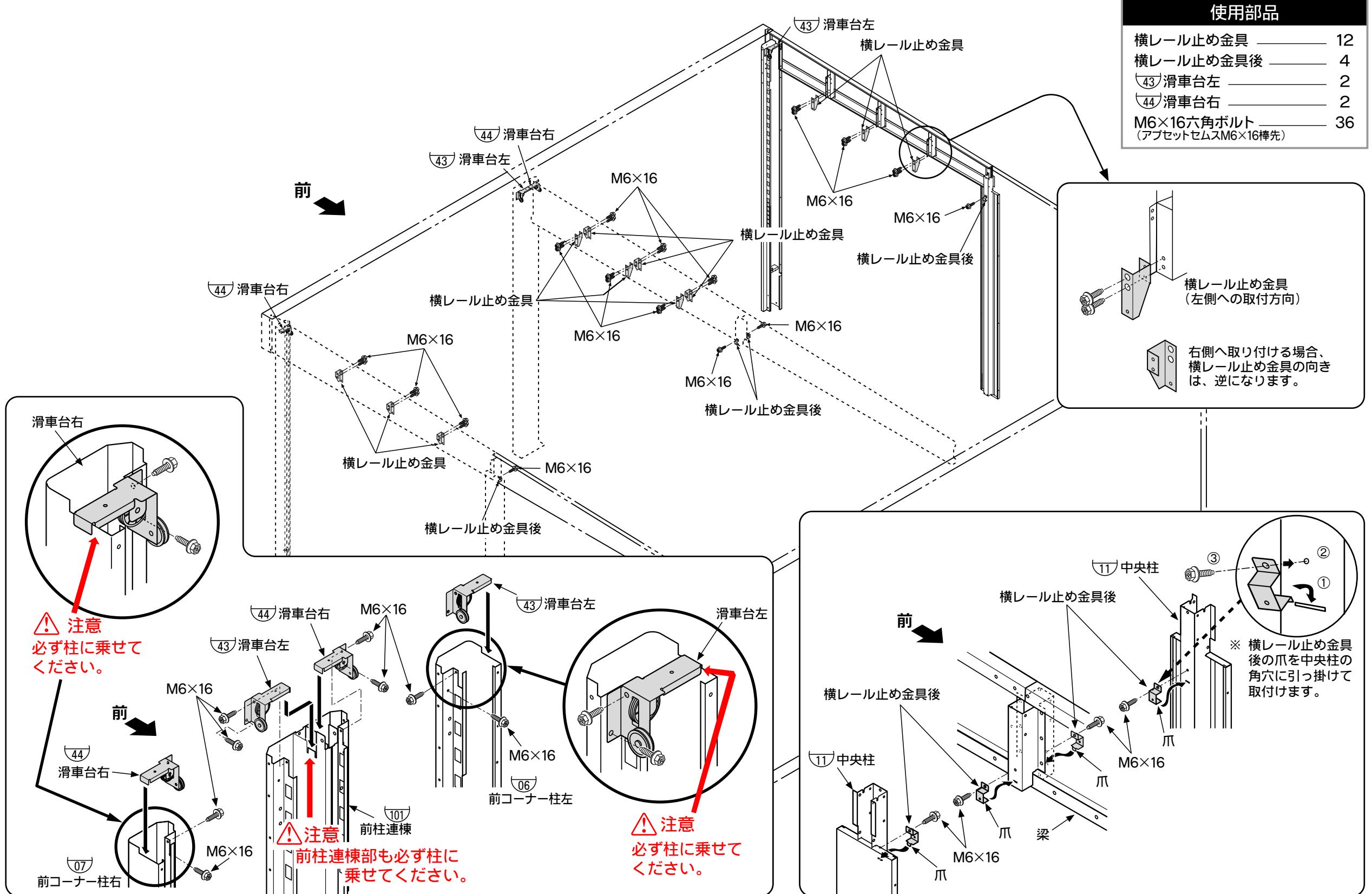
スプリング取り付け時のご注意

スプリングを取り付ける際は、ローラーの向きが間口方向と平行になるように、下記の手順で取り付けてください。



この後ワイヤを通しますが、間違ってワイヤがねじれてしまった場合に、ローラー部を無理に回して修正しようとすると、スプリング本体の金具がゆるむ恐れがあります。危険ですので、そのような時はワイヤを通し直すか、③の固定ナットをゆるめて調整してください。

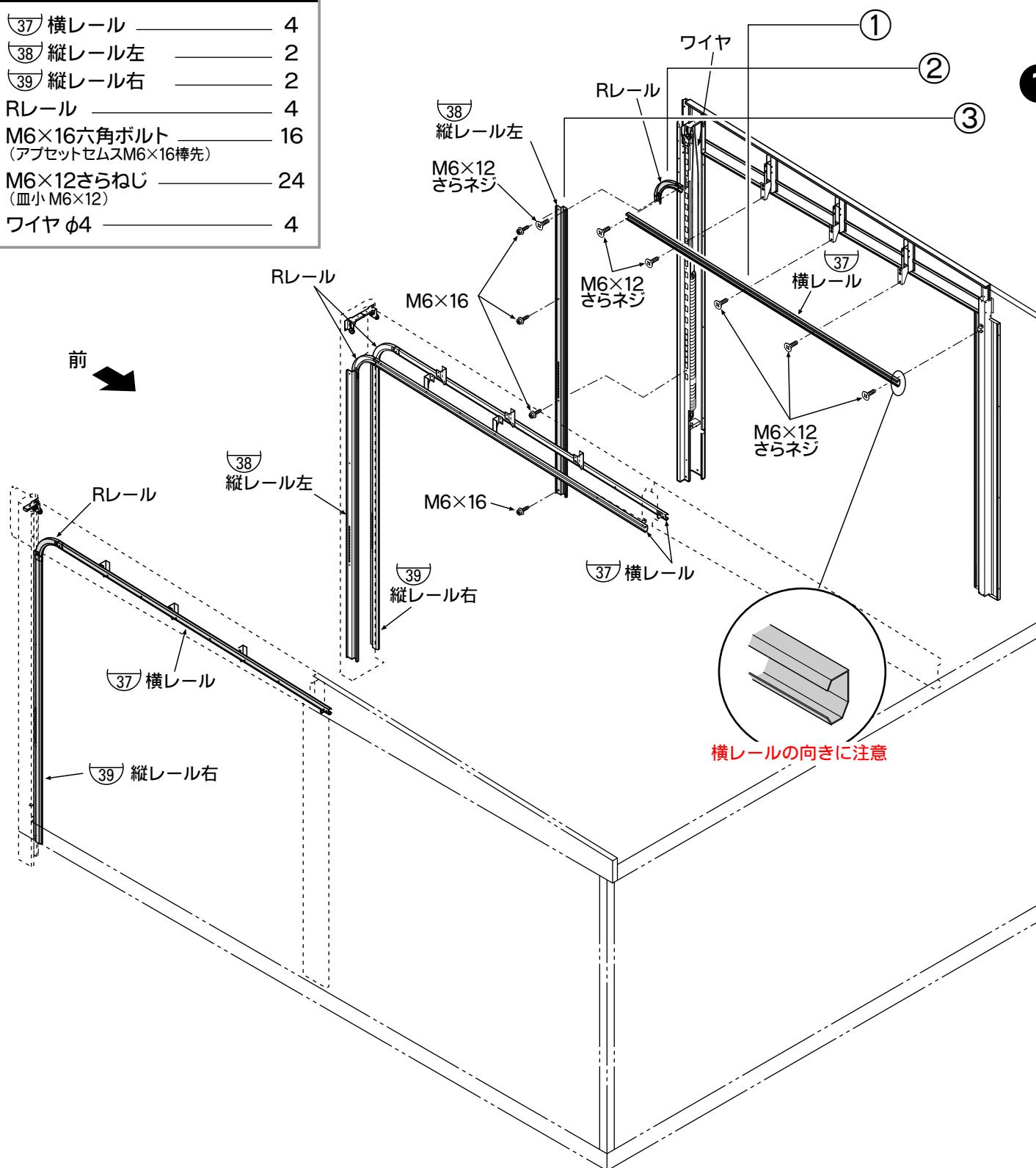
19. 横レール止め金具・滑車台の組立



20. レール・ワイヤの組立

使用部品

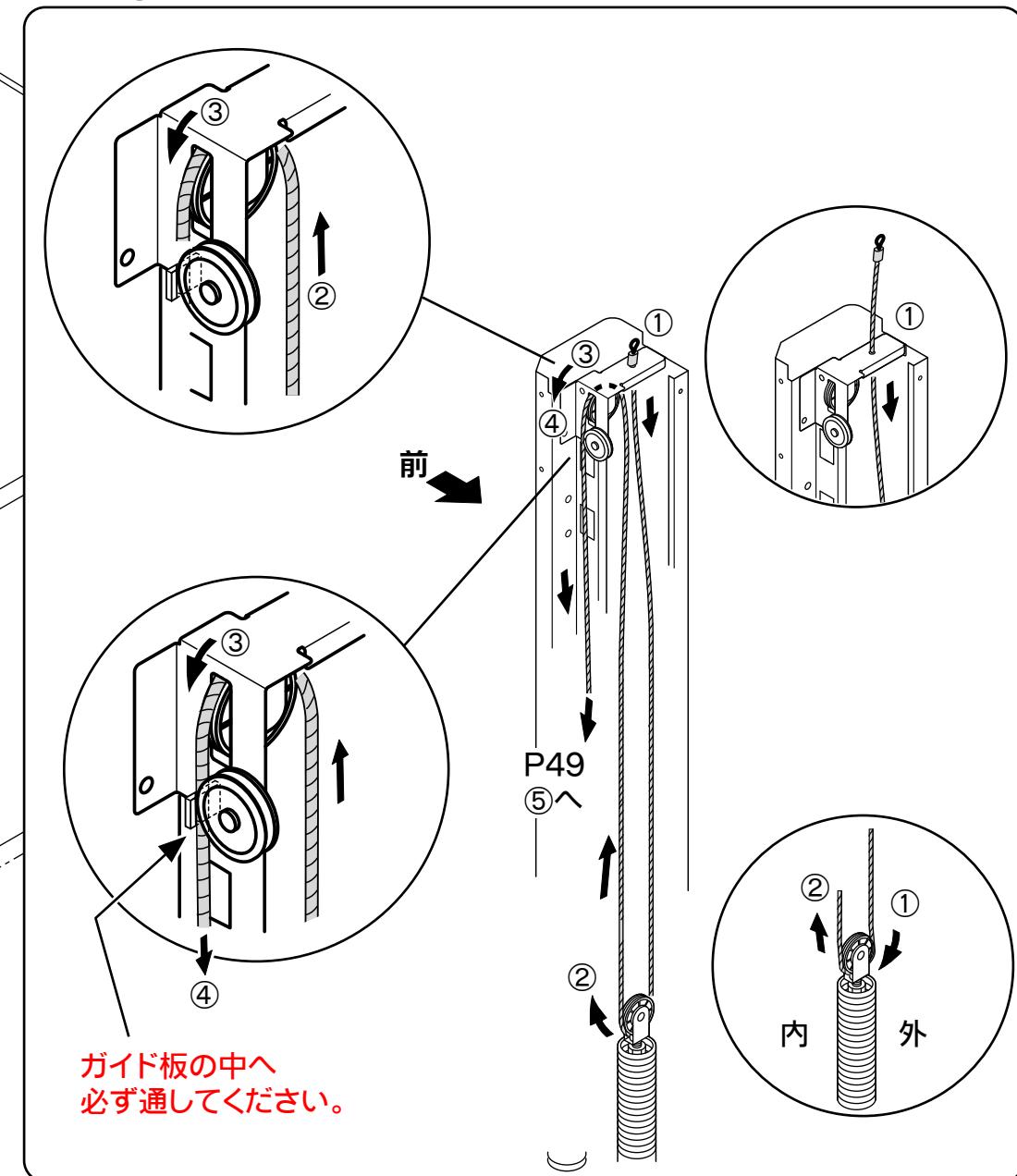
(37) 横レール	4
(38) 縦レール左	2
(39) 縦レール右	2
Rレール	4
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	16
M6×12さらねじ (皿小M6×12)	24
ワイヤΦ4	4



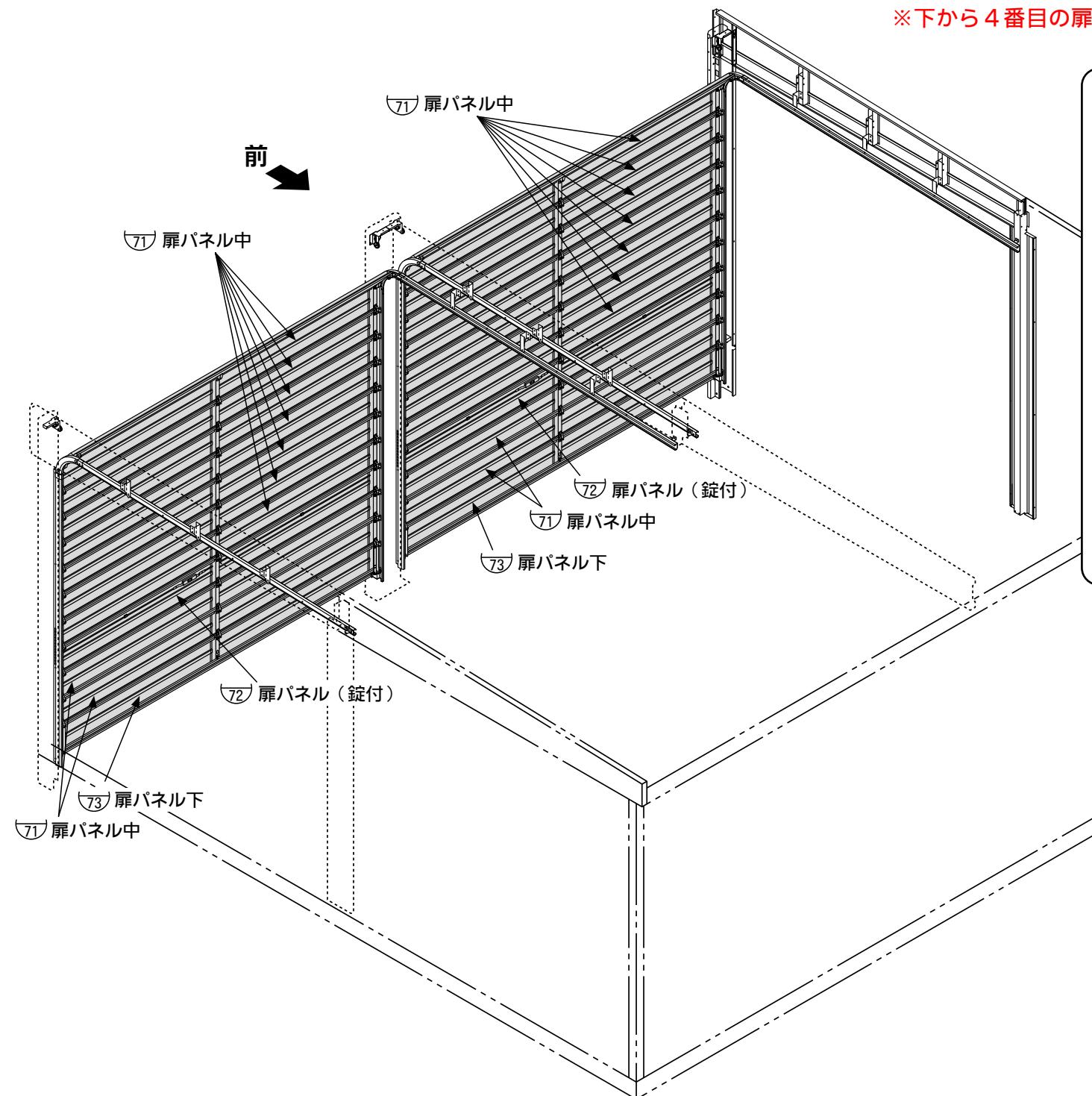
⚠ 間口仮固定棒はここで一旦、はずしてください。

① レールの組立：ここでは、横レール、Rレール、縦レールの順に組み立ててください。

② ワイヤの取り付け

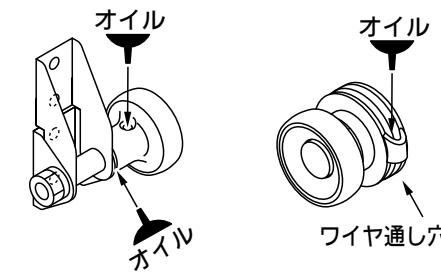


21. 扉の組立



※扉は下から上に向かって順番に組み上げてください。
※組立時、一番下の扉の水平を出しておいてください。
※下から4番目の扉は錠付きの扉を取り付けてください。

⚠ 戸車に注油してください。



戸車は組み立てる前にオイルを塗ります。
オイル切れすると異音がでますので早めに
オイルを差してください。
(戸車が回転する軸へ注油)
戸車下左・右下側の戸車のワイヤ通し穴
にオイルを塗ります。オイルを塗らないと
ワイヤが通り難くなります。また、ワイヤ
の皮膜に傷がつき、ワイヤが切れる恐れが
あります。

【蝶番と扉クッション受けの取り付け】

扉クッション受けを戸車(上)と一緒に取り付けてください。

扉パネル中 (71) 上端の中央は
M5×12ねじで、止め付け
てください。

(1番上に取り付け)
扉クッション受け 戸車(上)

(71)
扉パネル中

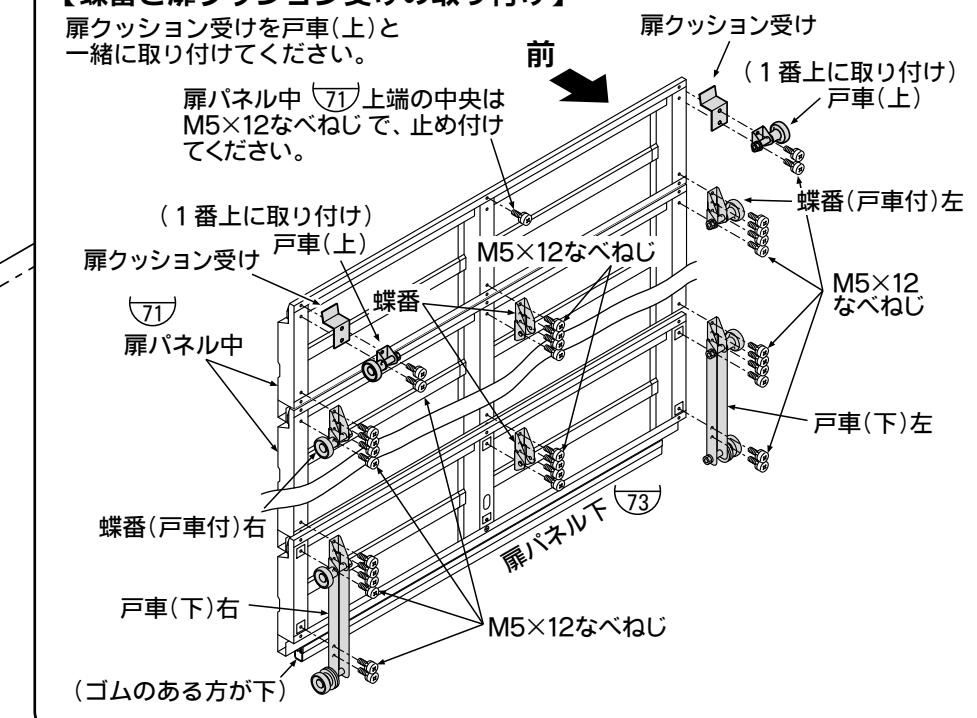
蝶番 戸車付

戸車(下)右

戸車(下)左

(ゴムのある方が下)

M5×12 ねじ
M5×12 ねじ
M5×12 ねじ



使用部品

(71) 扉パネル中	XSタイプ 18 XMタイプ 20 XLタイプ 24
------------	----------------------------------

(72) 扉パネル(錠付)	2
(73) 扉パネル下	2
扉クッション受け	4
戸車(上)	4
戸車(下)左	2
戸車(下)右	2

蝶番	XSタイプ 20 XMタイプ 22 XLタイプ 26
----	----------------------------------

蝶番(戸車付)左・右	各18 各20 各24
------------	-------------------

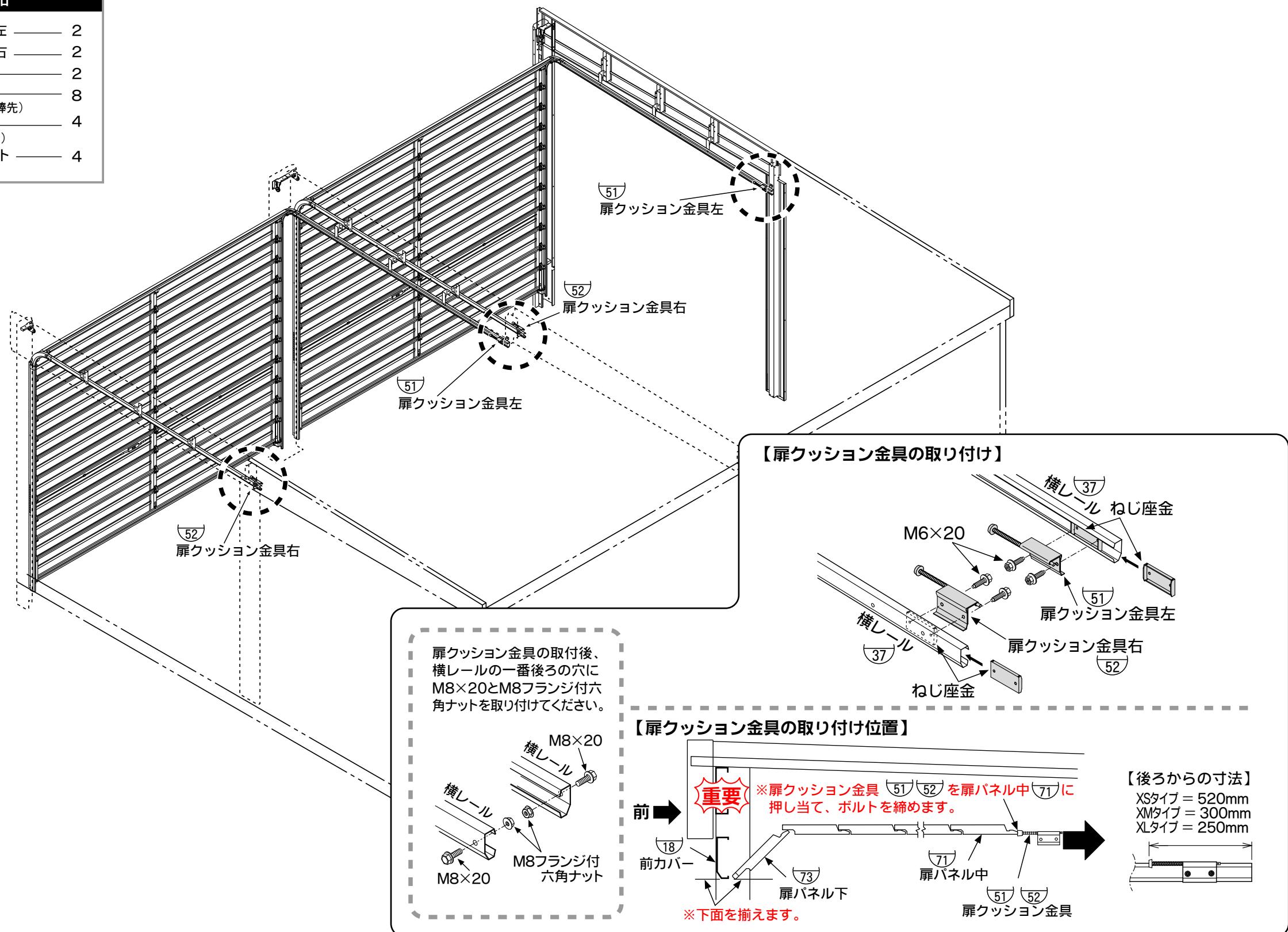
M5×12ねじ (銅 P=2 (SW) M5×12)	XSタイプ 258 XMタイプ 282 XLタイプ 330
-------------------------------	-------------------------------------

オイル

22. 扉クッション金具の組立

使用部品

⑤1 扉クッション金具左	2
⑤2 扉クッション金具右	2
ねじ座金	2
M6×20六角ボルト (アブセットセムスM6×20棒先)	8
M8×20六角ボルト (フランジ付 M8×20 あら先)	4
M8フランジ付六角ナット (フランジNT M8)	4



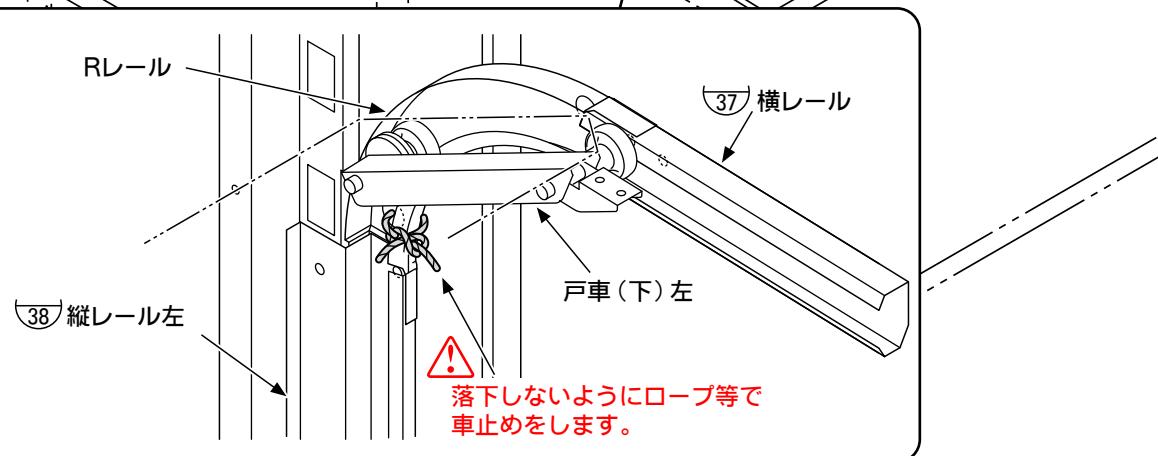
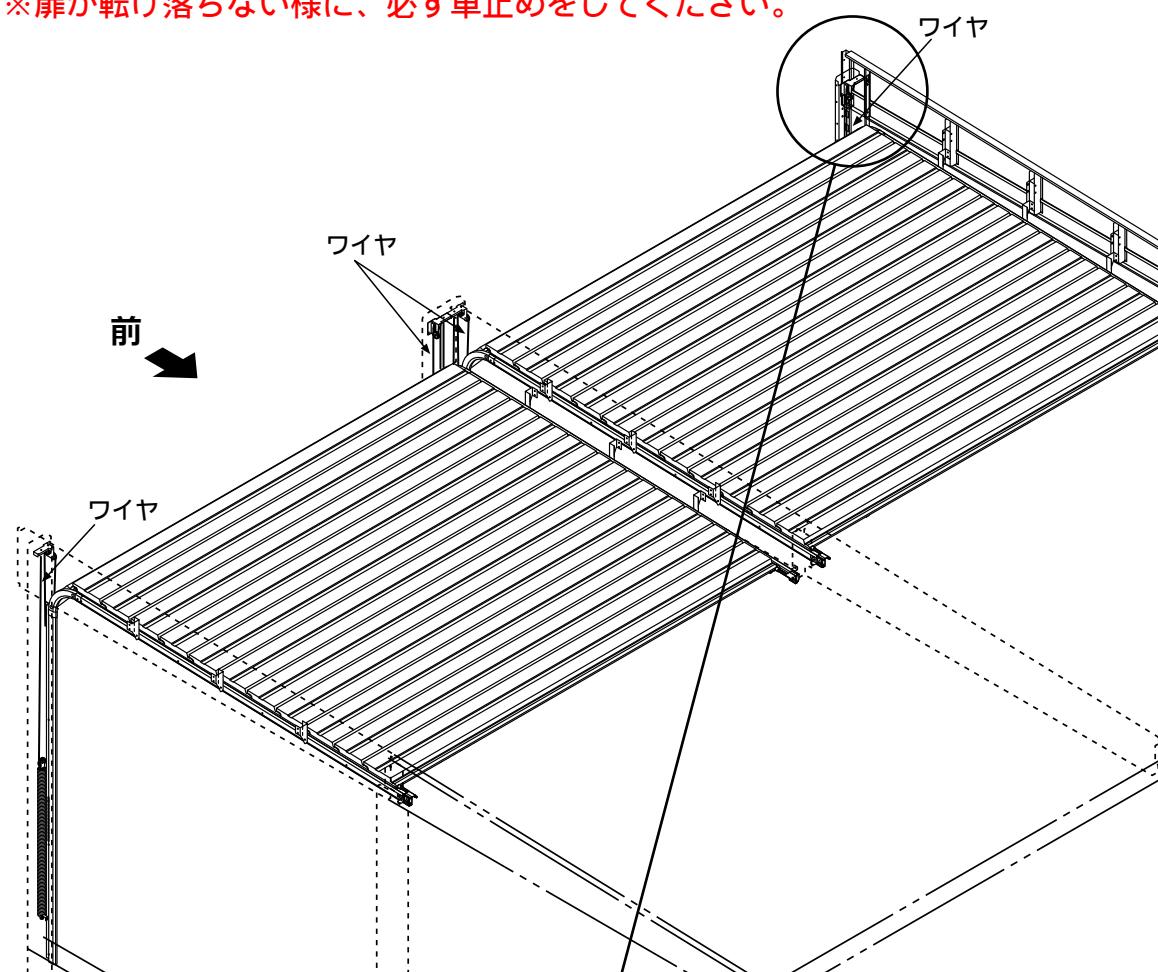
23. ワイヤの組立

使用部品

ワイヤクリップφ4用 4
裸圧着スリーブ 4

・扉を持ち上げ、ワイヤを取り付けます。

※扉が転げ落ちないように、必ず車止めをしてください。

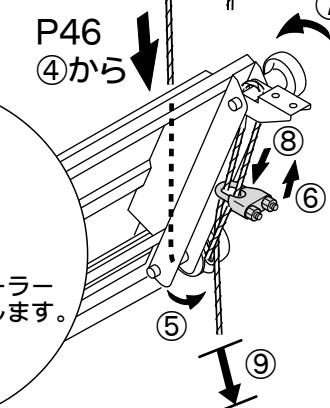


1. ワイヤを扉パネル下に取り付けます。

※扉パネル下と前カバーの下面を揃えた状態で作業を行ないます。

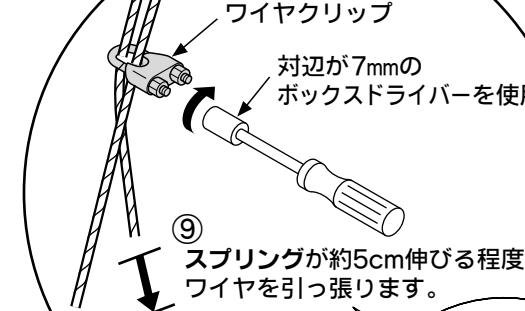
ワイヤがローラーの
ミゾに合っているか
再度確認してください。

前



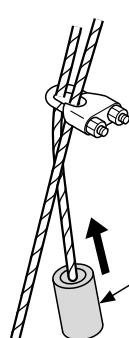
2. ワイヤを固定する。

※扉パネル下と前カバーの下面を揃えた状態で作業を行ないます。



※ワイヤのたるみがなくなるまで引っ張り、
更にスプリングを約5cm引っ張った状態で
ワイヤクリップを締め付けてください。
(左右のワイヤは同じ長さに引っ張ります。)

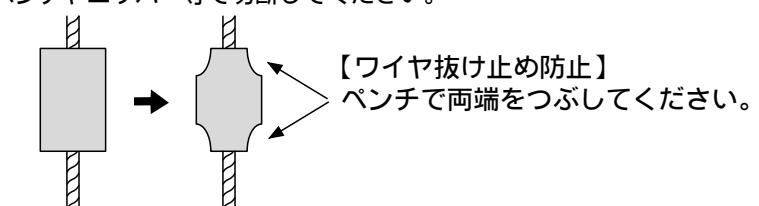
扉バランスの調整を必ず行ってください。



※扉は下ろした状態で手を離しても停止する(バネ張力と扉の重量のバランスをとる)
ように調整します。

※調整は、ワイヤの引っ張りで行ないます。スプリングの約5cmの引っ張りは目安で
すので、現状に応じて調整してください。

※調整後、裸圧着スリーブを下図のように取り付けてください。
※余ったワイヤをペンチやニッパー等で切断してください。

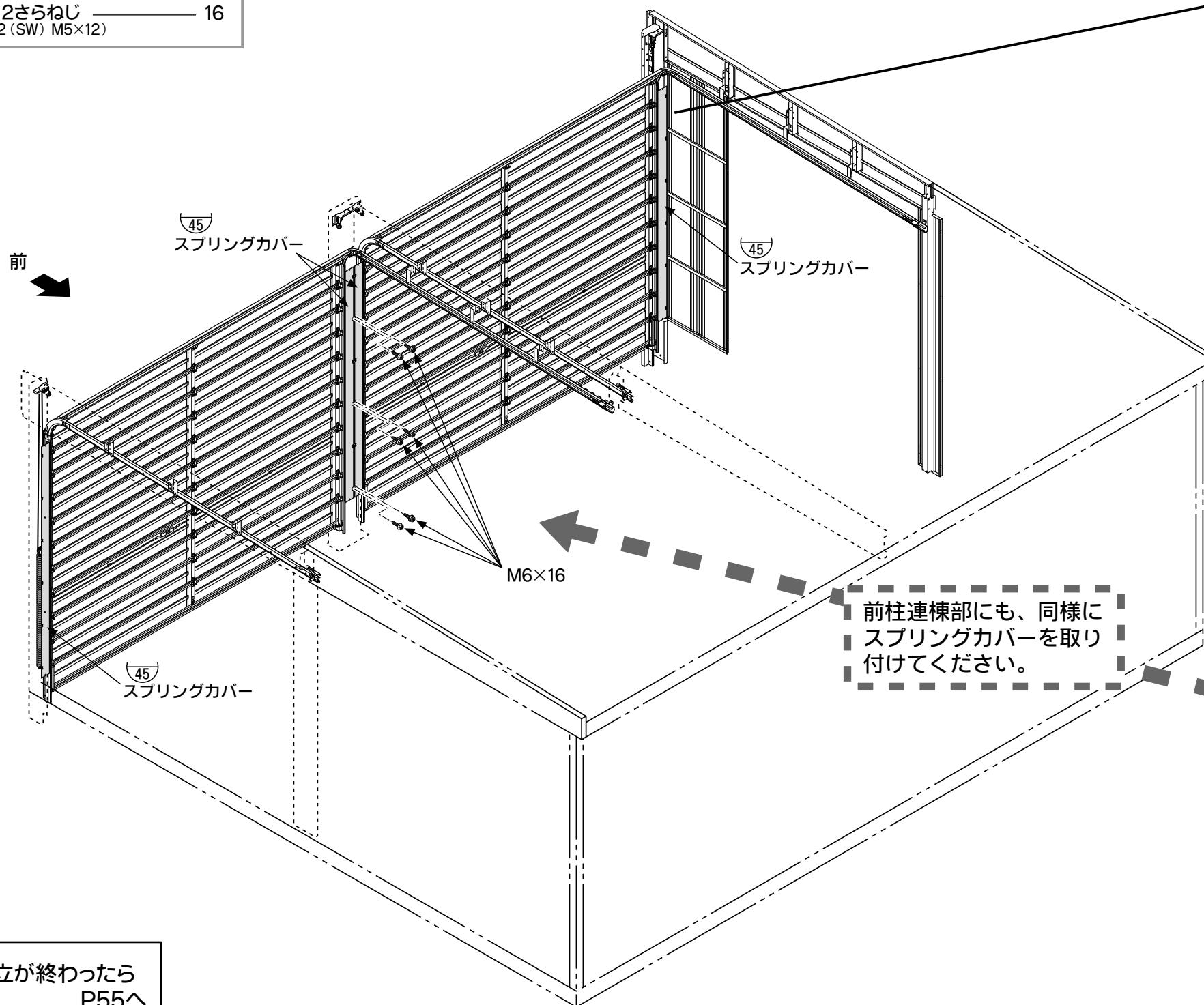


24.スプリングカバーの組立

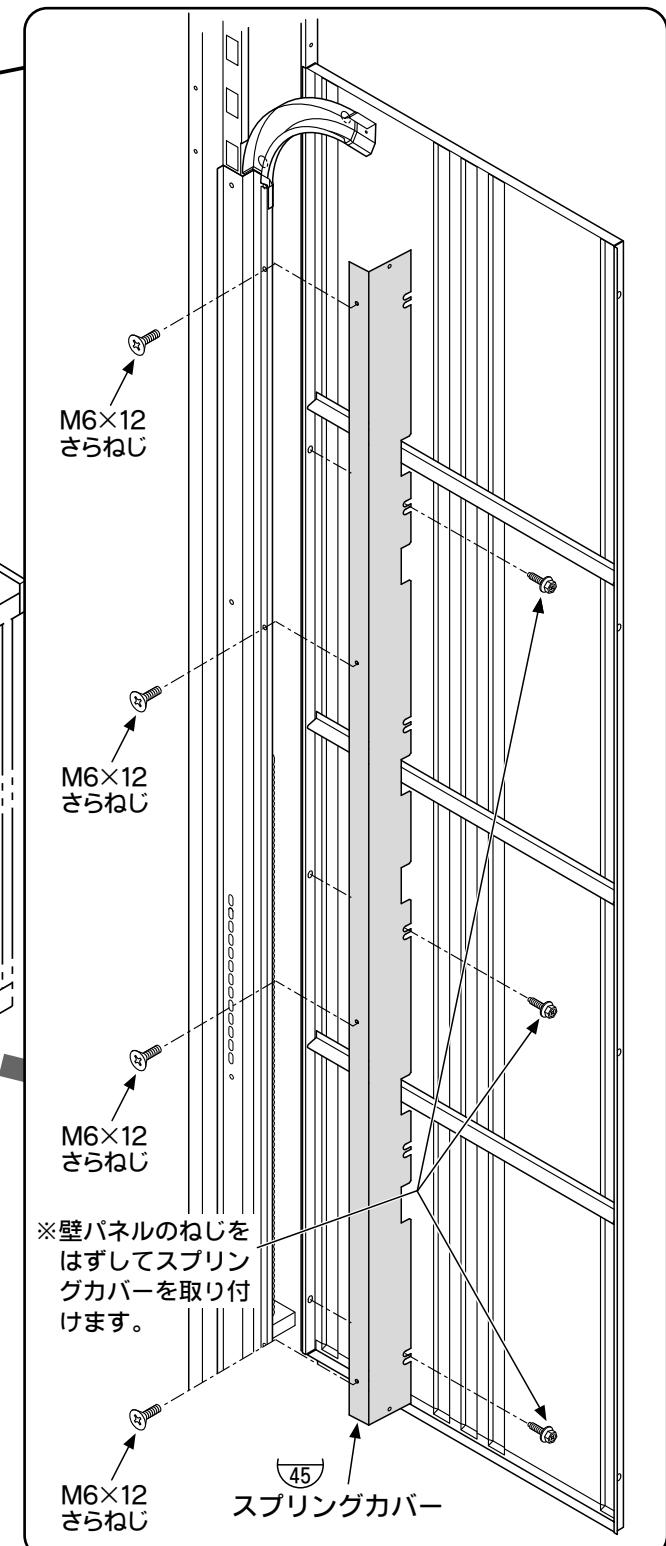
使用部品

④スプリングカバー	4
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	6
M6×12さらねじ (銅P=2(SW) M5×12)	16

※錐穴の調整は、土間作業の後に行います。61ページの【34.錐穴の調整】をご参照ください。



※組立が終わったら
P55へ



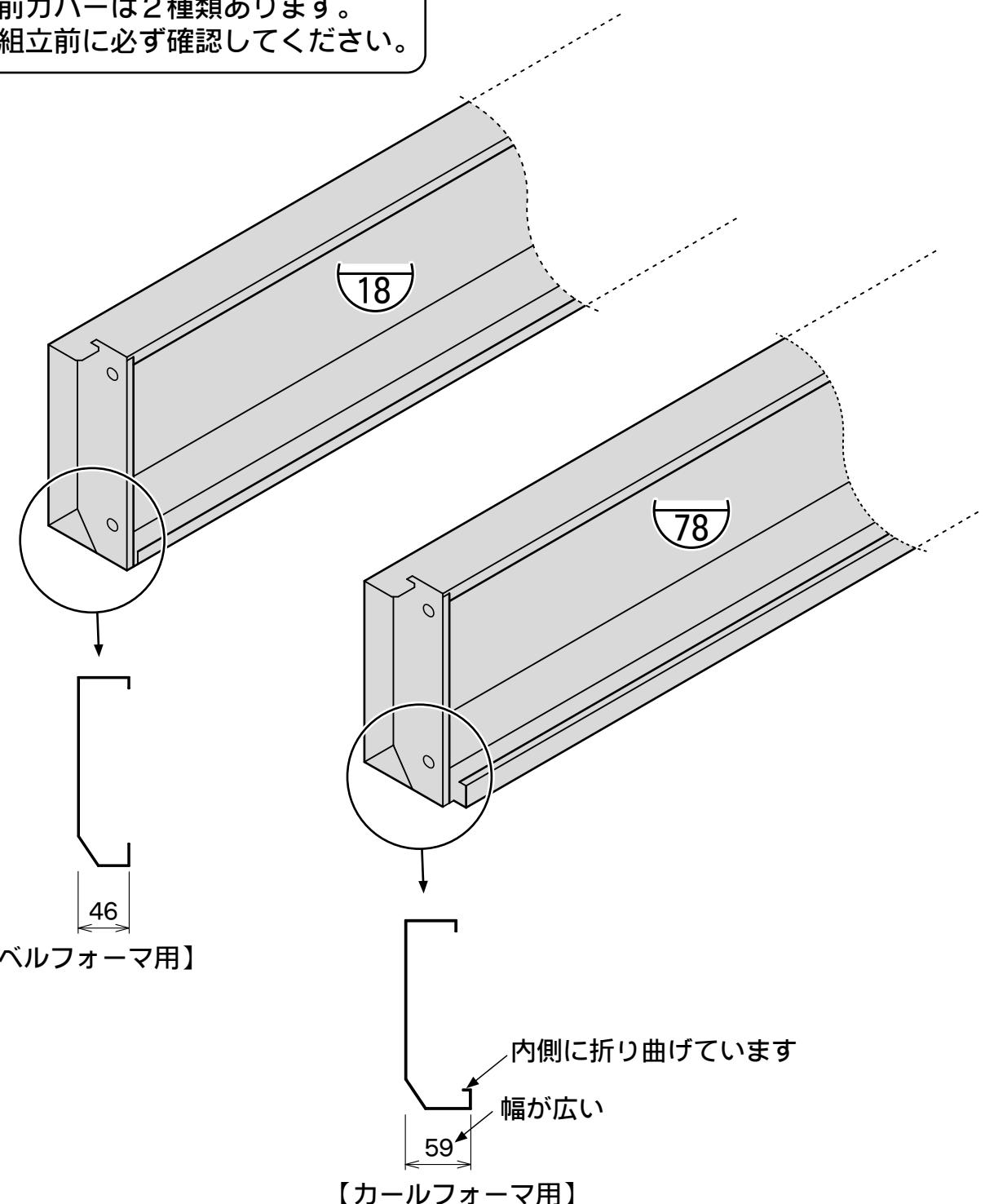
【カールフォーマ用 卷取シャッター扉 の取付方法：P51～54】

※電動卷取シャッター（オプション）は別途組立説明書があります。

25. 卷取シャッター用前カバーの確認・ガイドレールのカット

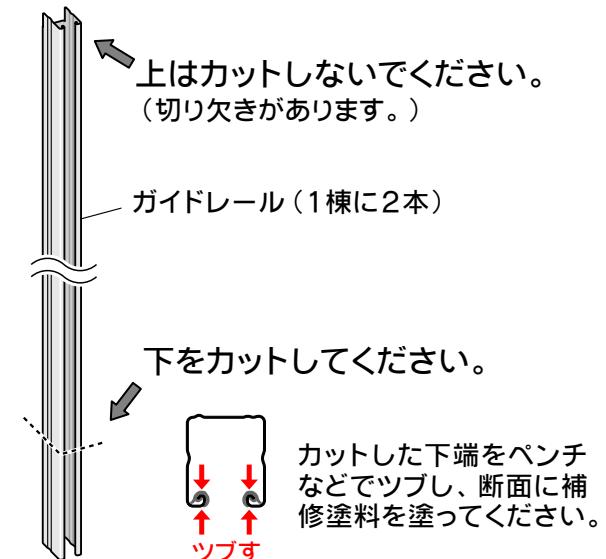
- 前カバーの組み立て方はP31をご確認ください。

前カバーは2種類あります。
組立前に必ず確認してください。



■ ガイドレールのカット

ガイドレールを基礎・土間コンクリートに埋め込むと、後々のメンテナンスや修理に不都合が生じる場合があります。取付前に、ガイドレールをカットしてください。



■ 寸法計算方法

- A (ガイドレール上端から基礎天までの長さ)
B (基礎の高さ: 現場で計測してください)
C (計算値)
D (土間の高さ+10mm)

	ガイドレールの全長	A
YS型	2320	1920
YM型	2620	2233
YL型	3020	2720
YS高基礎型	2620	2233
YM高基礎型	3020	2720

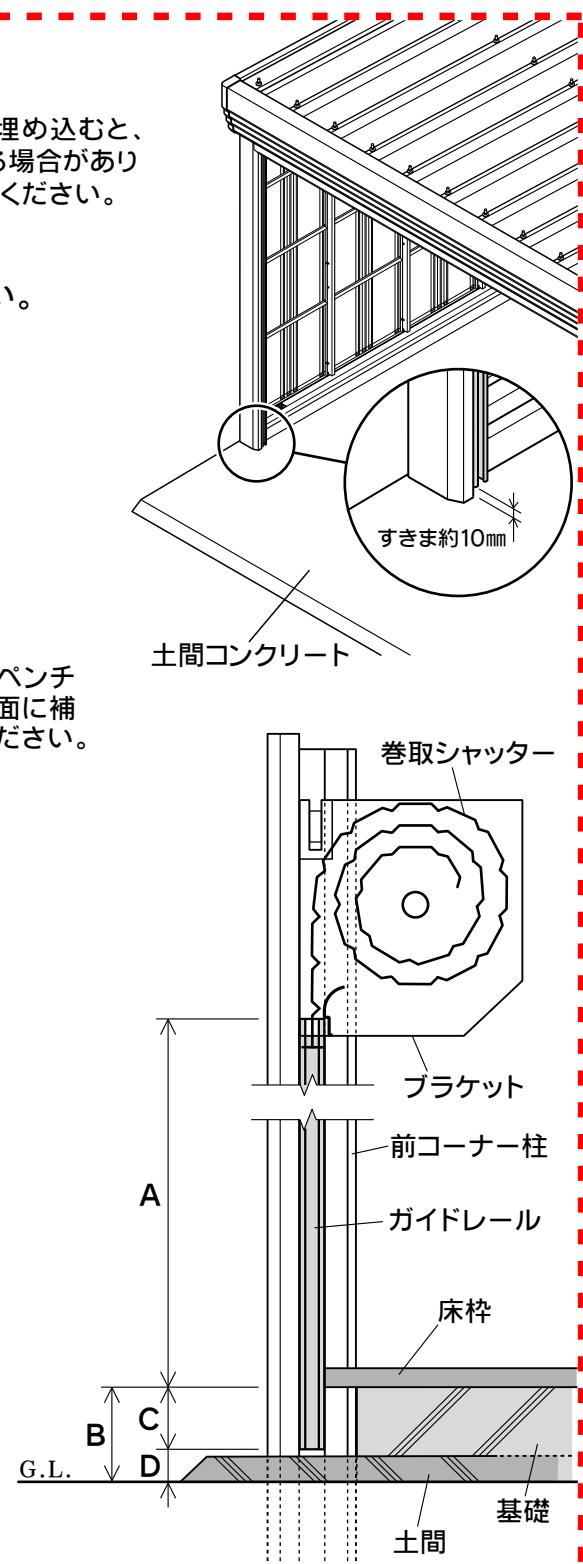
● 計算式

$$B - D = C$$

$$A + C = \text{カット後の寸法}$$

● (例)

CM型で基礎高さ150mm・土間高さ40mmの場合
 $150 - 50 = 100$ (mm)
 $2233 + 100 = 2333$ (mm)
 ガイドレールの長さを2333mmにカットしてください。

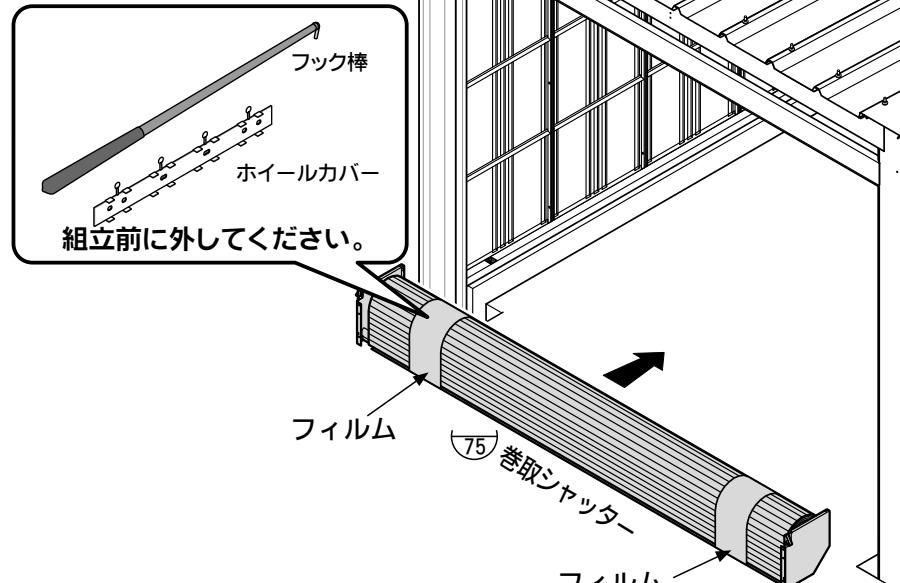


26-1. 巻取シャッターの組立

使用部品

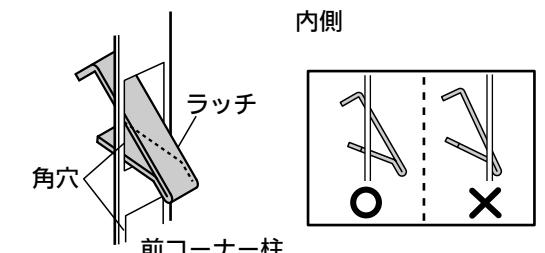
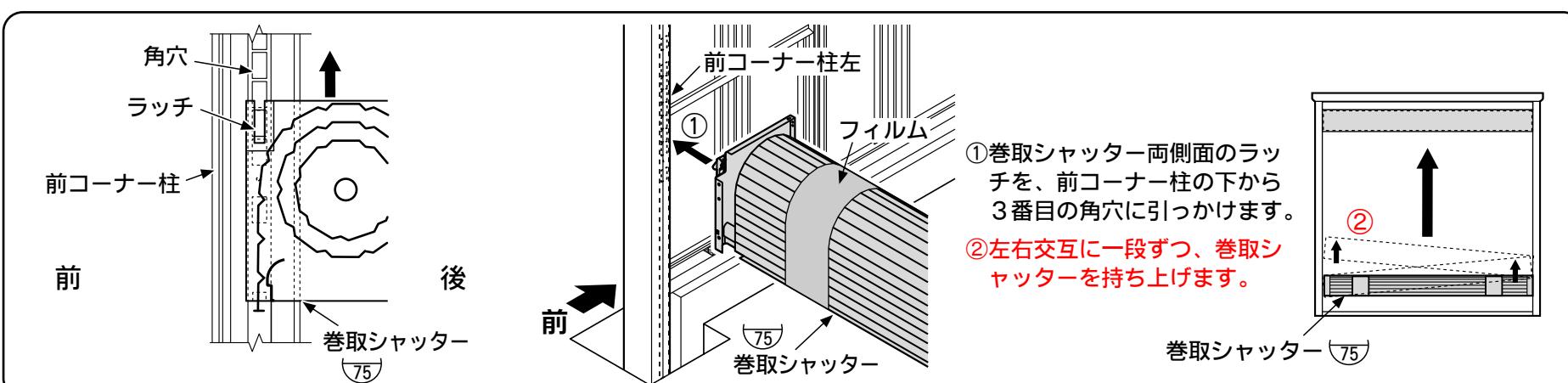
75) 巻取シャッター 2

- 注意**
- シャッターの組立作業は、1棟ずつ行ってください。
 - この作業は、必ず2人以上で行ってください。
 - フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
 - 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるフック棒とホイールカバーをはずしてください。
 - シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具(P54参照)が取り付けてあります。ここではまだはずさないでください。



巻取シャッターのフィルム各2ヶ所は、はがさないでください。

前

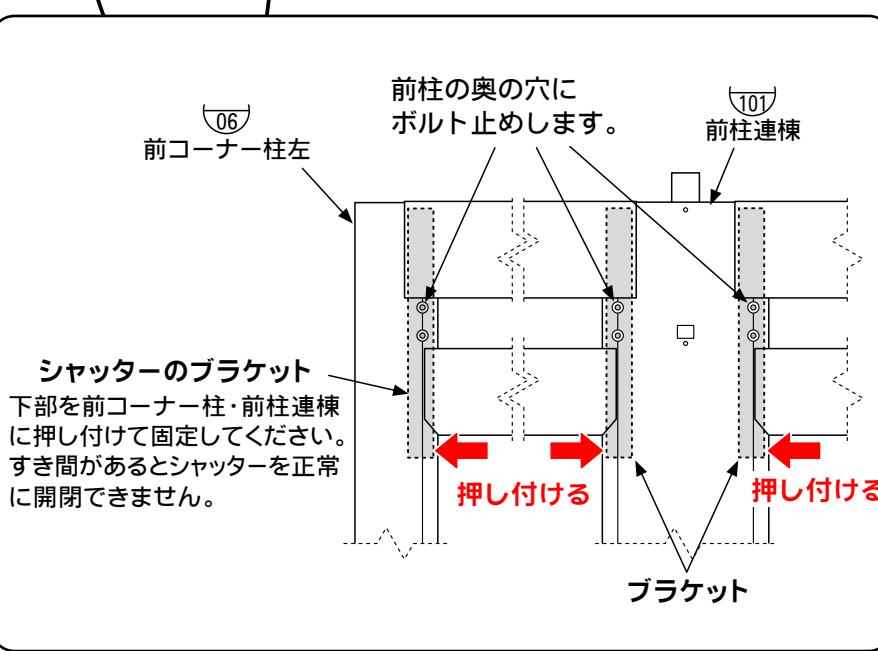
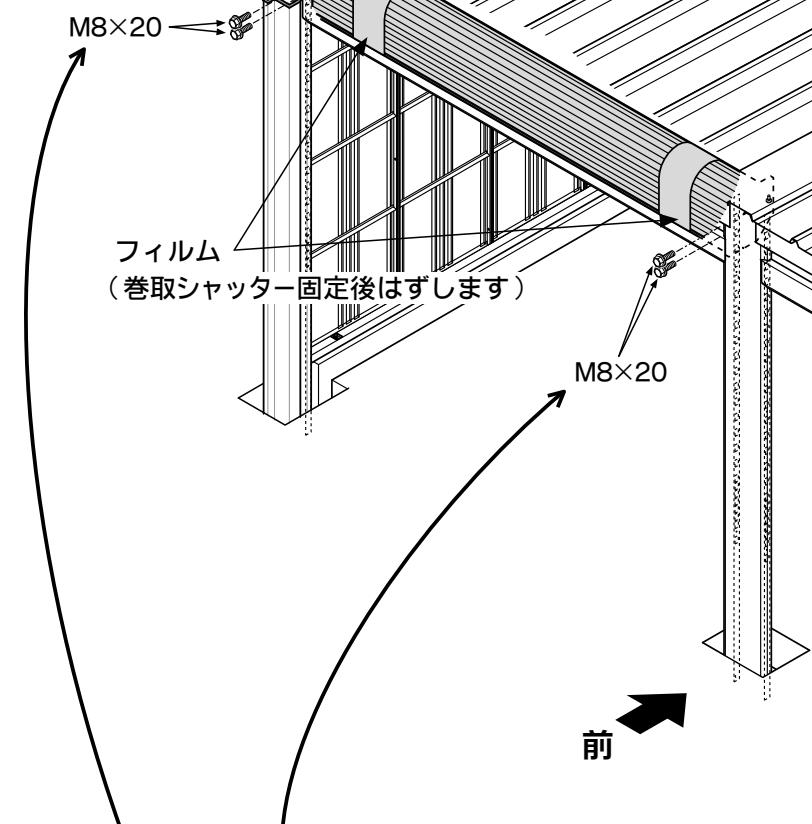


ラッチを角穴に引っかけた際に、ラッチが角穴に入りきっているか再度確認してください。

!
ラッチが角穴に入りきっていない場合、巻取シャッターを支えきれずに落下する危険性があります。

26-2. 巻取シャッターの組立

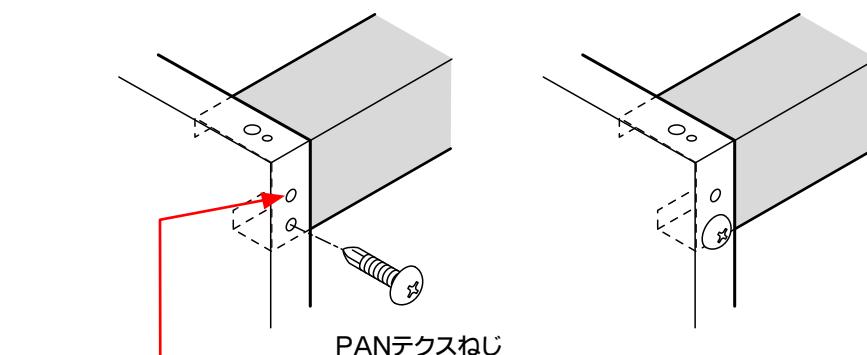
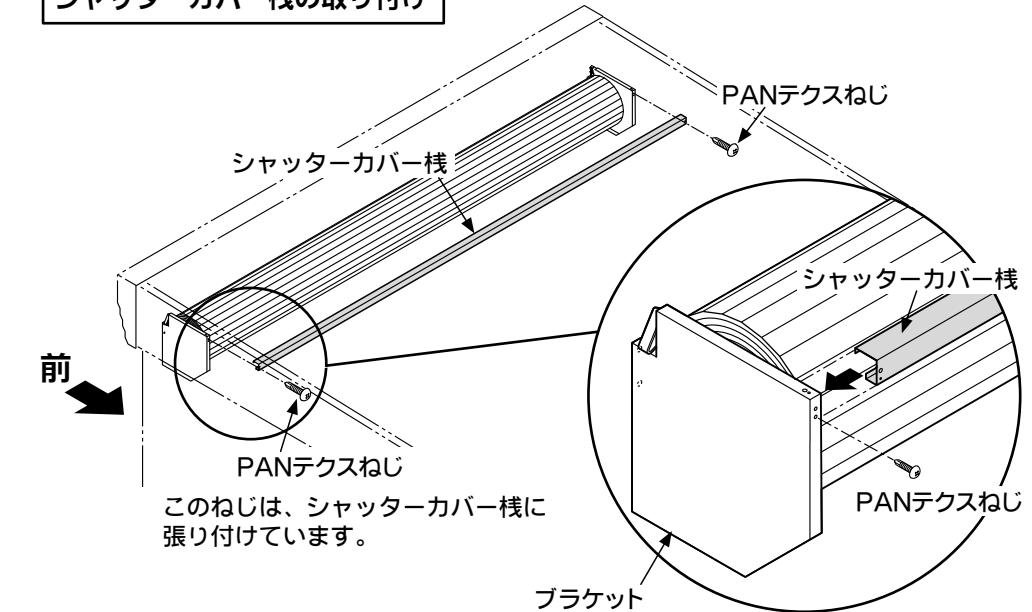
●必ずシャッターのネジ止めを終えてから、次の棟の組立を行ってください。



使用部品

M8×20六角ボルト	8
(フランジボルト M8X20 あら先)	
PANテクスねじ	4
(MBテクス PAN 4X16)	
シャッターカバー棟	2

シャッターカバー棟の取り付け



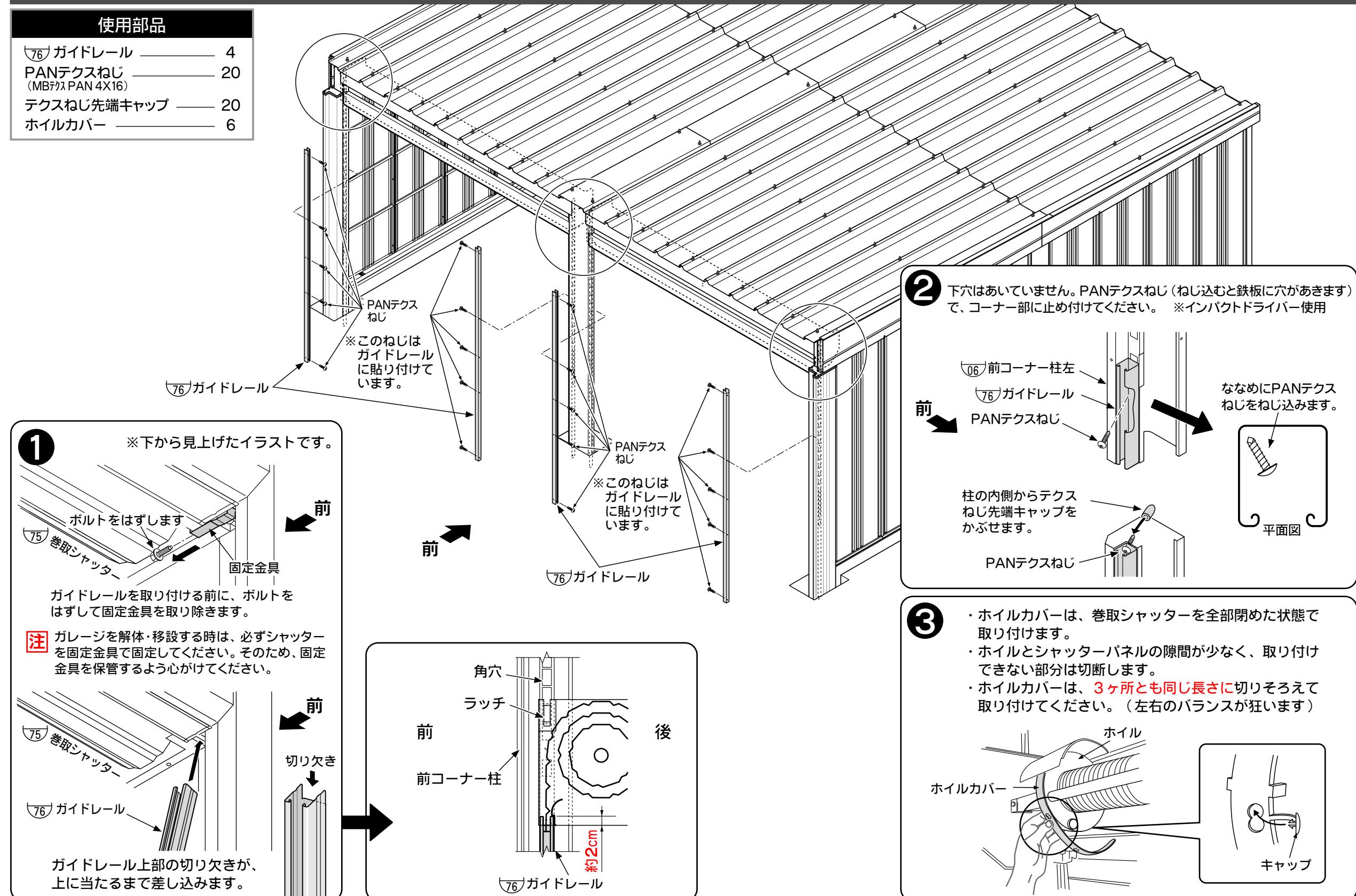
上側のねじ穴は止めません。

オプションのシャッターカバー取付時に使用します。間違えてこのねじ穴に止めると、シャッターカバー棟が落下し、ケガの原因になります。

27. 巻取シャッターのガイドレール・ホイルカバーの組立

使用部品

76 ガイドレール	4
PANテクスねじ	20
(MBテク PAN 4X16)	
テクスねじ先端キャップ	20
ホイルカバー	6

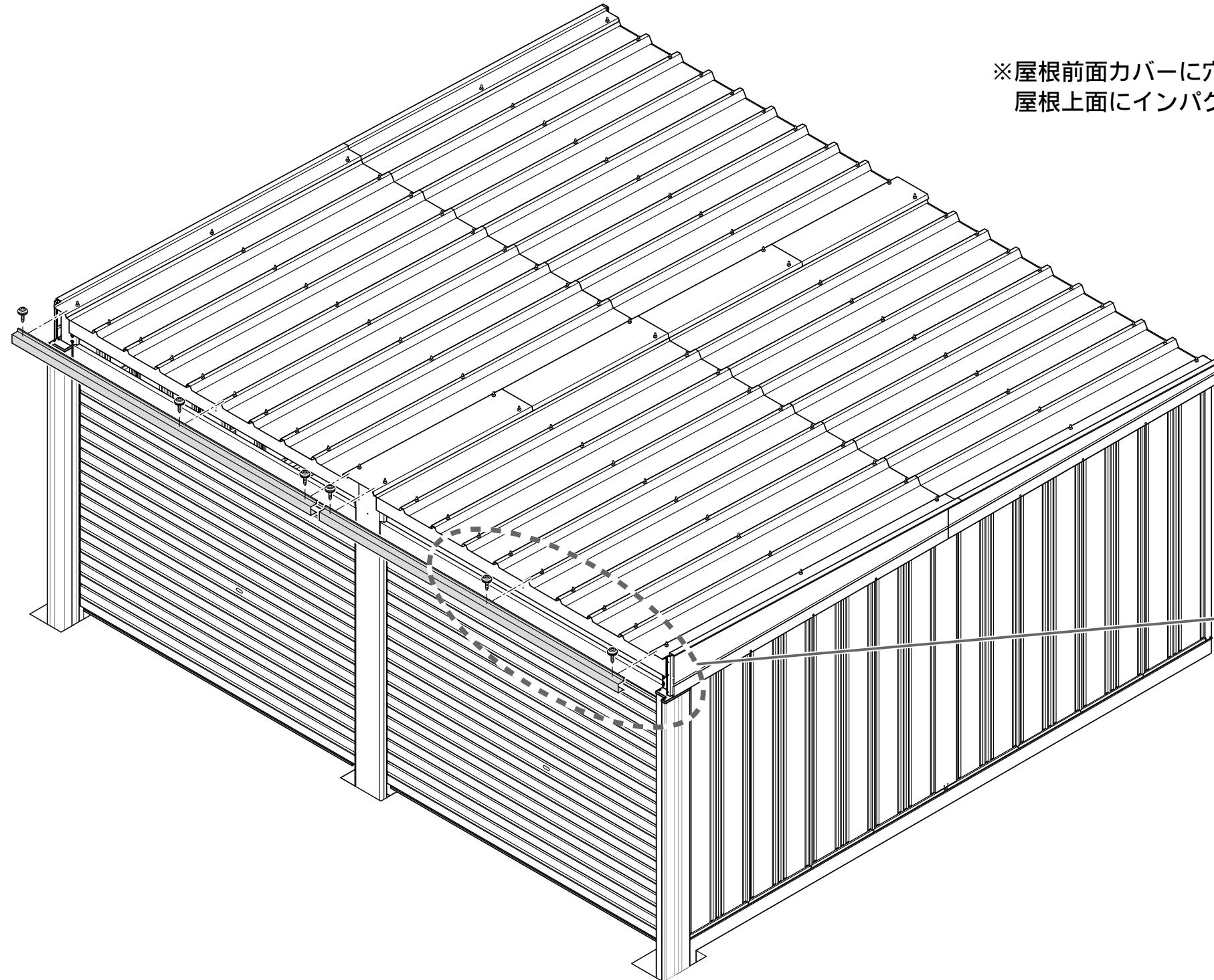


28. 屋根前面カバーの組立

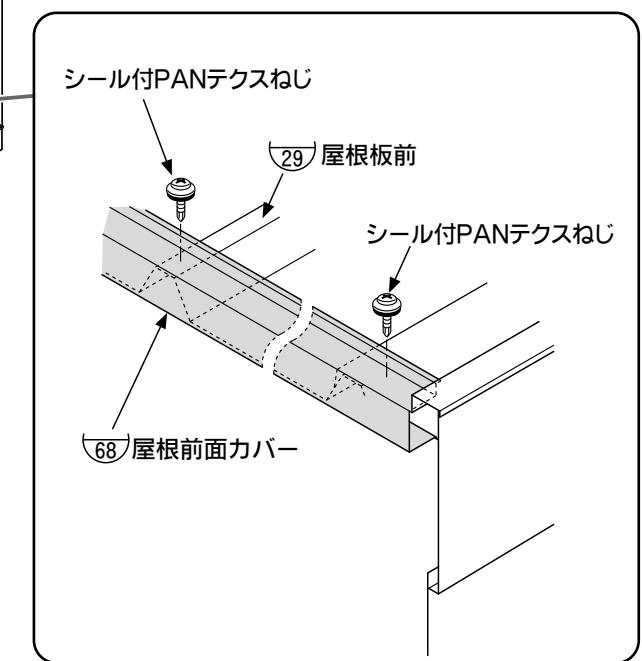
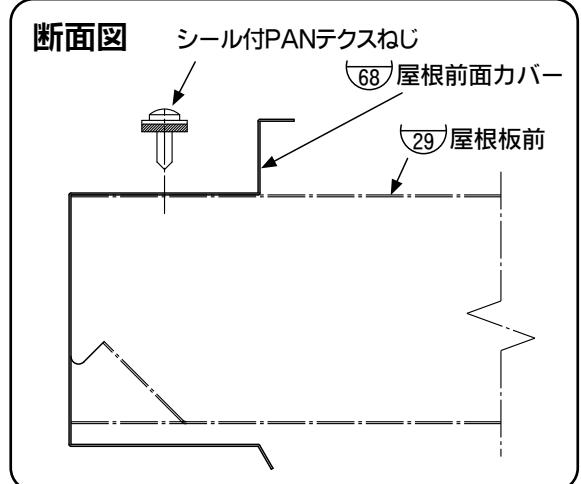
⚠ 注意: シール付PANテクスねじにより生じた切り粉は取り除いてください。
サビ発生の原因になります。

使用部品

⑥8 屋根前面カバー	2
シール付PANテクスねじ (ピアソソルワッシャ PAN 4×13)	6



※屋根前面カバーに穴はあいていません。両端と中央付近の屋根上面にインパクトドライバーで取り付けてください。



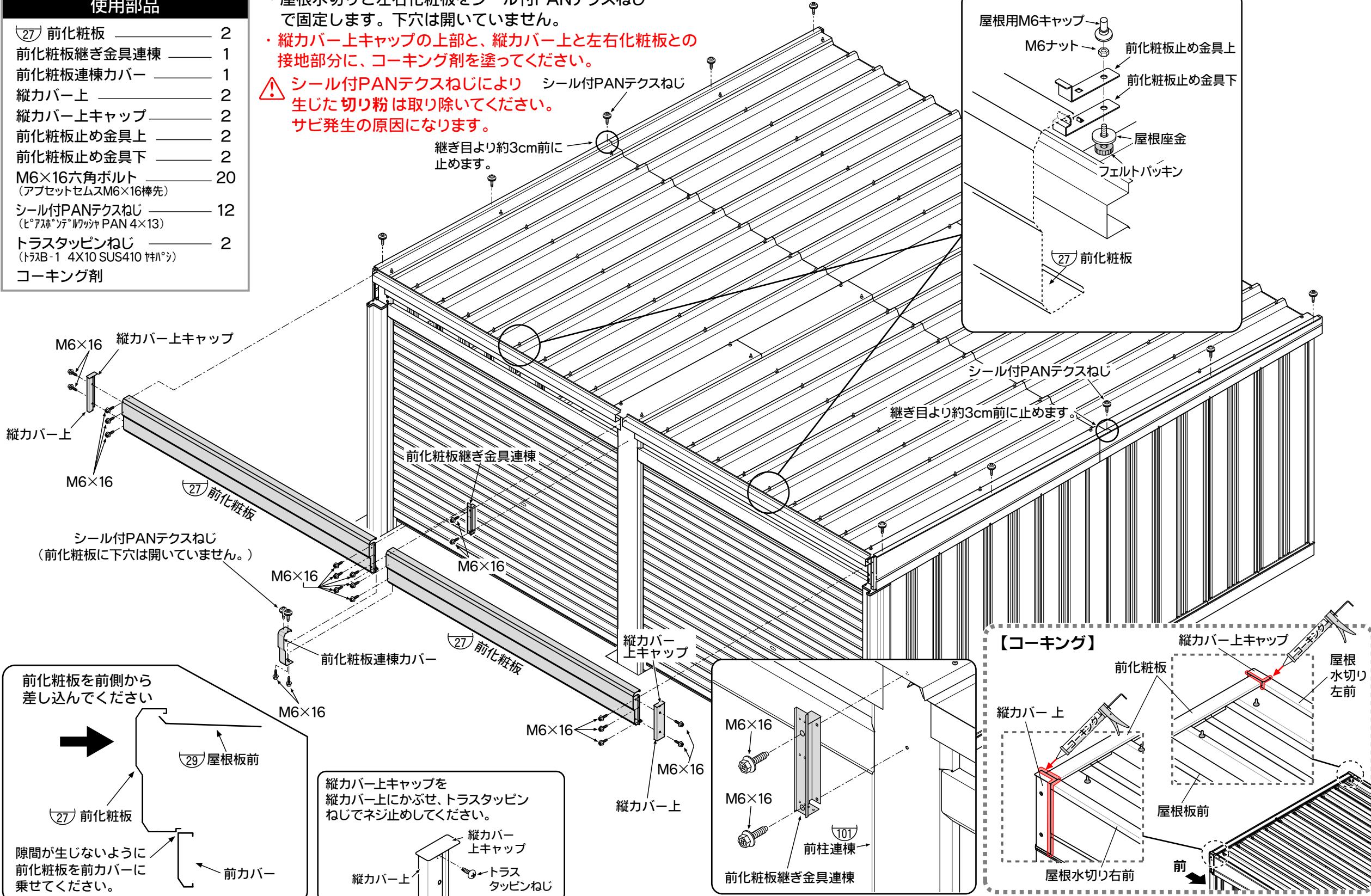
29. 前化粧板、前化粧板止め金具の組立

使用部品	
(27) 前化粧板	2
前化粧板継ぎ金具連棟	1
前化粧板連棟カバー	1
縦カバー上	2
縦カバー上キャップ	2
前化粧板止め金具上	2
前化粧板止め金具下	2
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	20
シール付PANテクスねじ (ヒアボーテルワッシャ PAN 4×13)	12
トラスタッピンねじ (トラスB-1 4X10 SUS410 ナット)	2
コーティング剤	

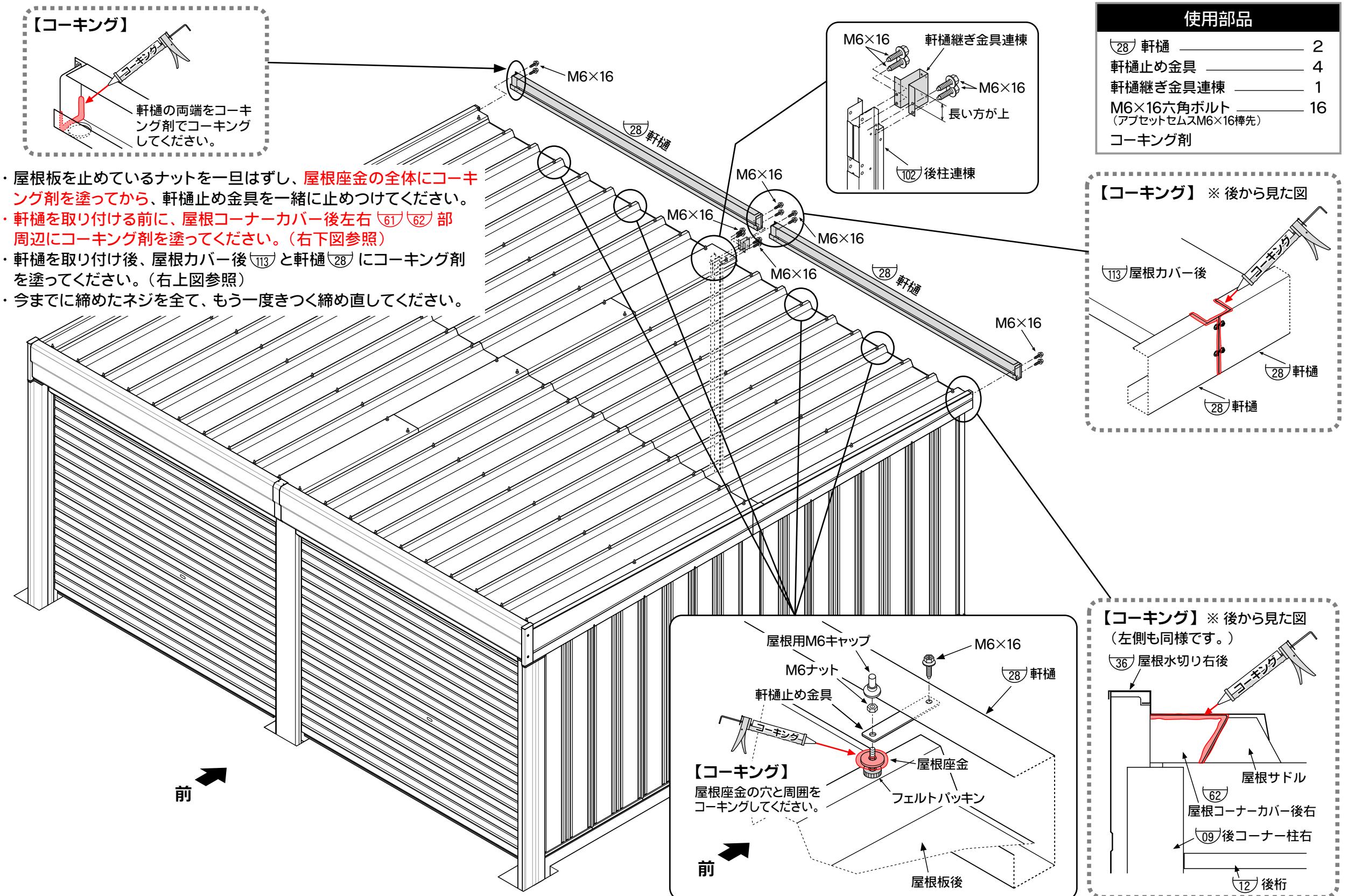
- 屋根水切りと左右化粧板をシール付PANテクスねじで固定します。下穴は開いていません。

- ・縦力バー上キャップの上部と、縦力バー上と左右化粧板との接地部分に、コーティング剤を塗ってください。

!**シール付PANテクスねじにより
生じた切り粉は取り除いてください。
サビ発生の原因になります。**



30. 軒樋・軒樋止め金具の組立

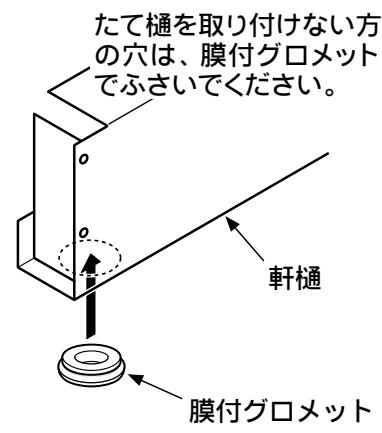
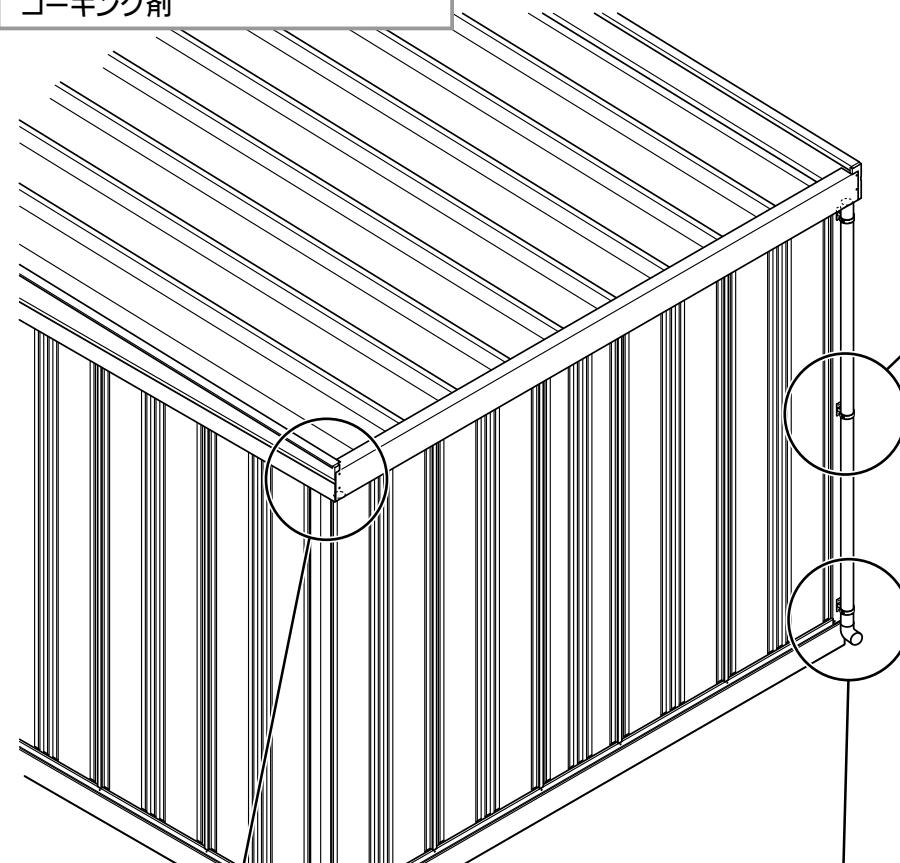
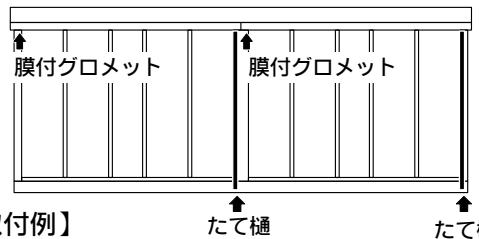


31. たて樋の組立

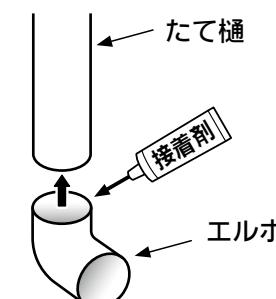
使用部品

たて樋	2
控具	6
PANテクスねじ (MBカム PAN 4X16)	14
テクスねじ先端キャップ	12
エルボ	2
膜付グロメット	2
樋接着剤	
コーティング剤	

● たて樋は、左右どちらでも取り付けられます。

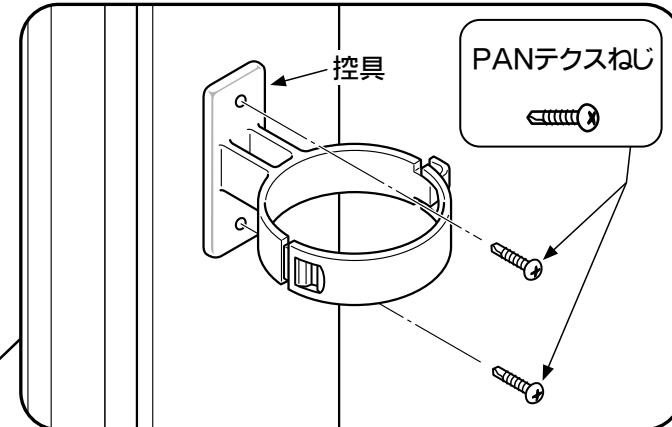


たて樋を取り付けない方の穴は、膜付グロメットでふさいでください。

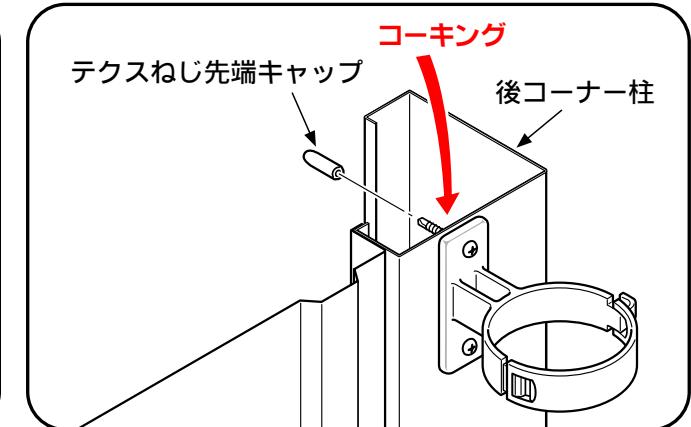


※ たて樋の位置は、後で変更するとねじ穴が残りますので、あらかじめ取り付ける位置をよく確認しておいてください。

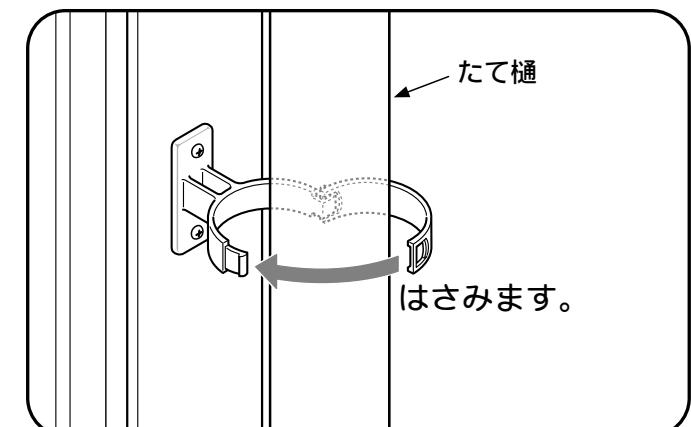
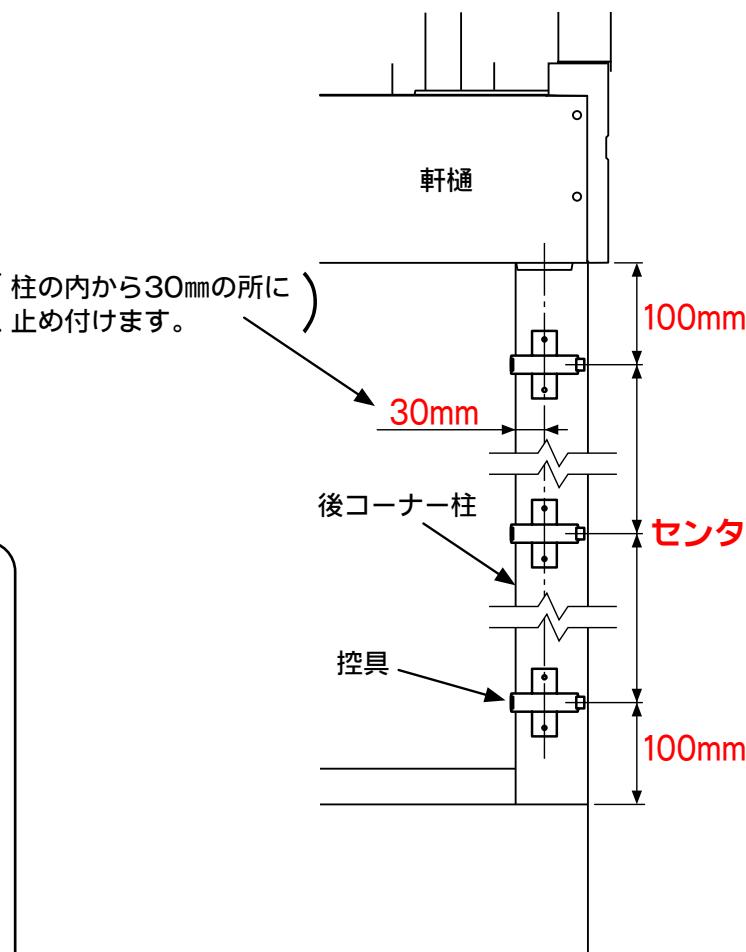
※ XS型・YS型のたて樋は、長めのサイズになっています。カットしてご使用ください。



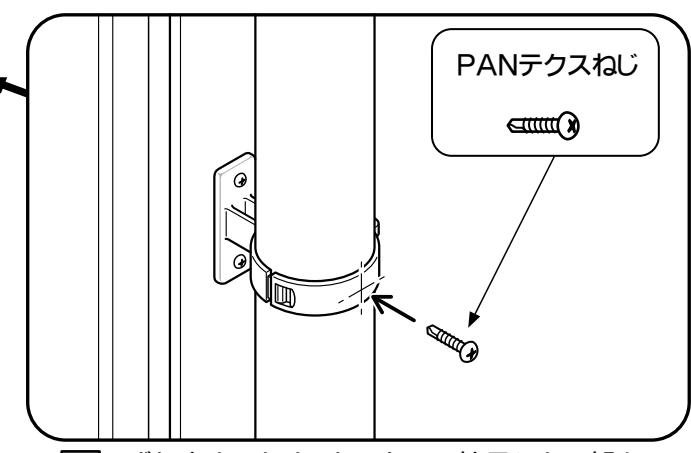
1 下図の位置に、控具をPANテクスねじで取り付けます。(たて樋1本あたり3個)



2 柱の内側から、テクスねじの根本をコーティングしテクスねじ先端キャップをかぶせてください。(計12ヶ所)

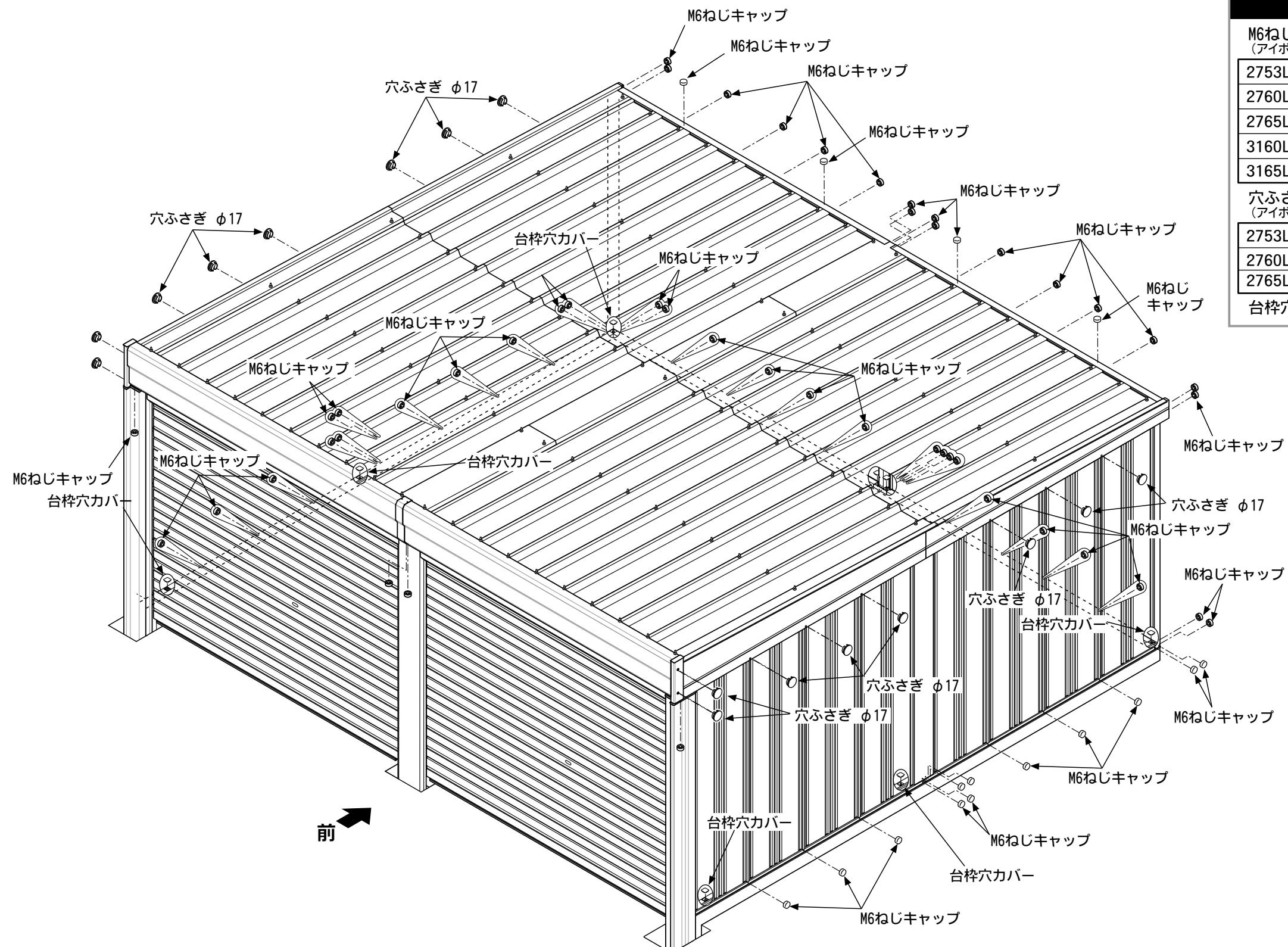


3 たて樋を上に押し当てて、控具ではさみます。



4 ずれ止めのため、センターの控具とたて樋をPANテクスねじで固定してください。(各1ヶ所)

32. M6ねじキャップ・穴ふさぎ $\phi 17$ ・台枠穴カバー の取り付け



使用部品

M6ねじキャップ (アイボリーブラック)

2753L	56
2760L	58
2765L/3153L/3453L	60
3160L/3460L	62
3165L/3465L	64

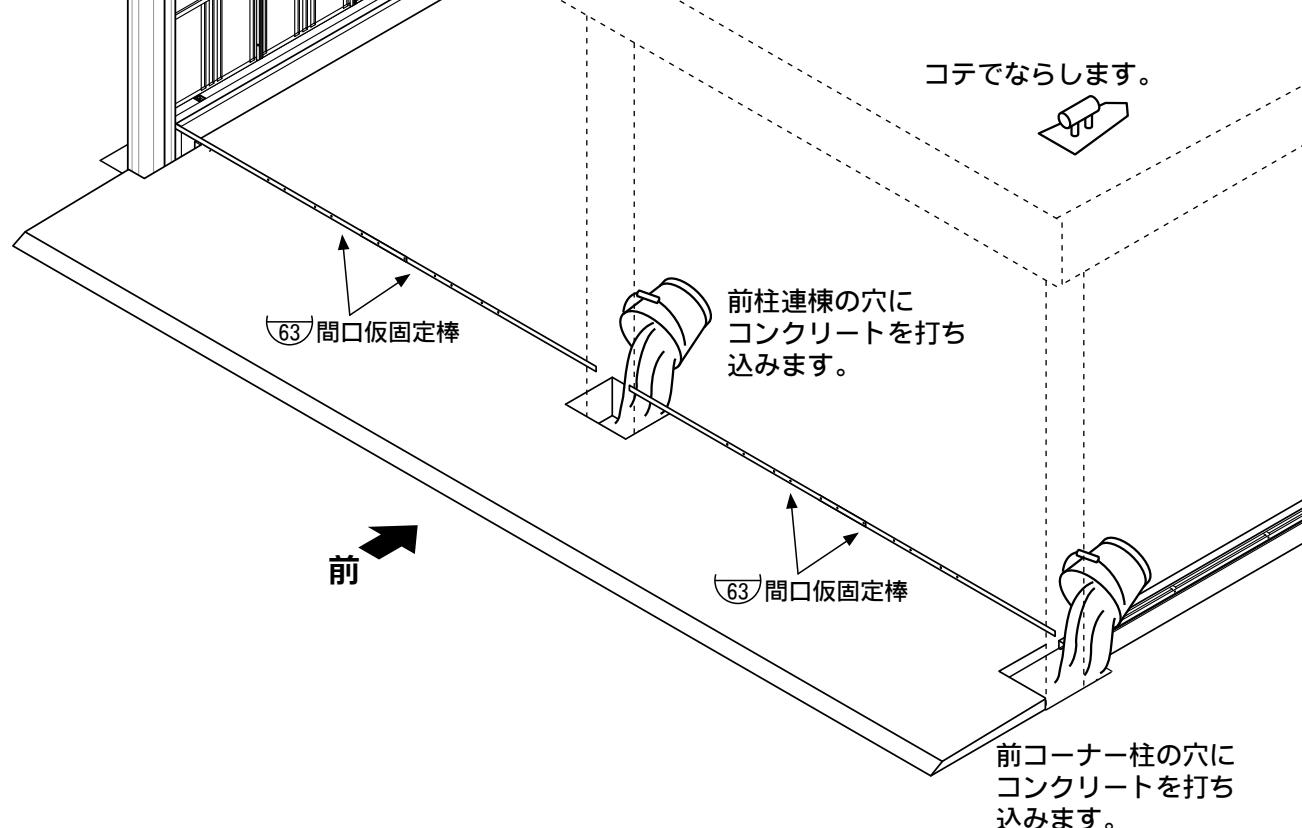
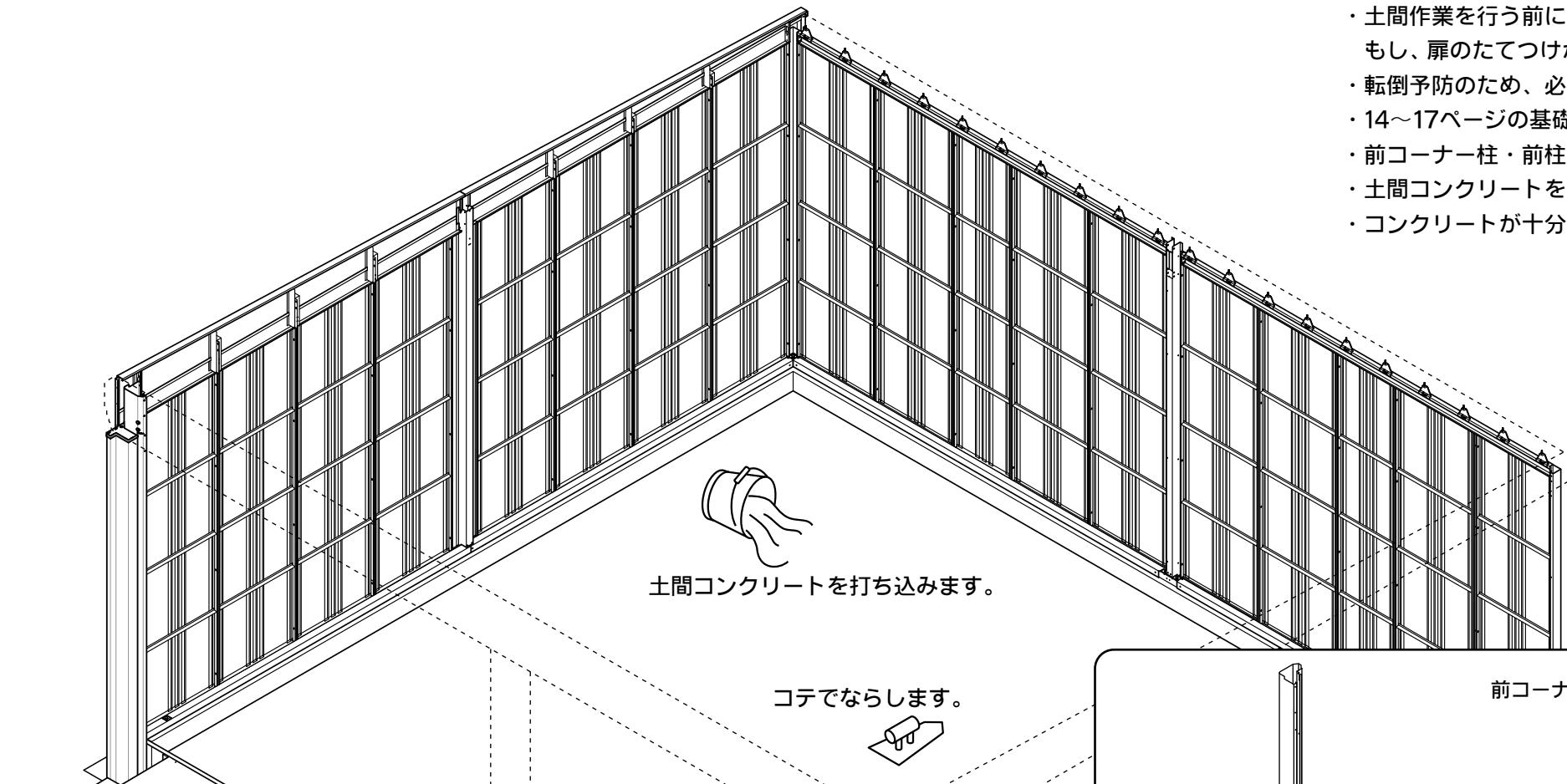
穴ふさぎ $\phi 17$ (アイボリーブラック)

2753L/3153L/3453L	14
2760L/3160L/3460L	16
2765L/3165L/3465L	18

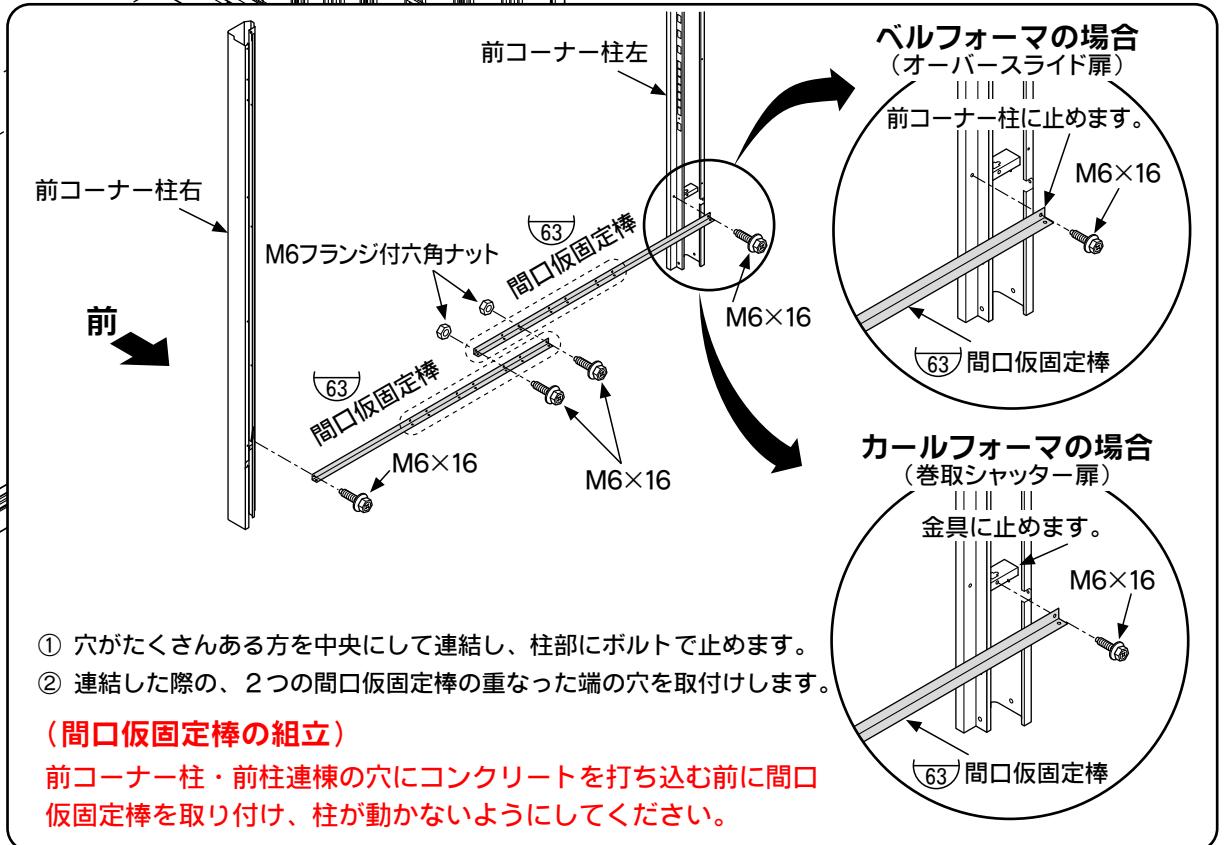
台枠穴カバー

8

33. 土間作業

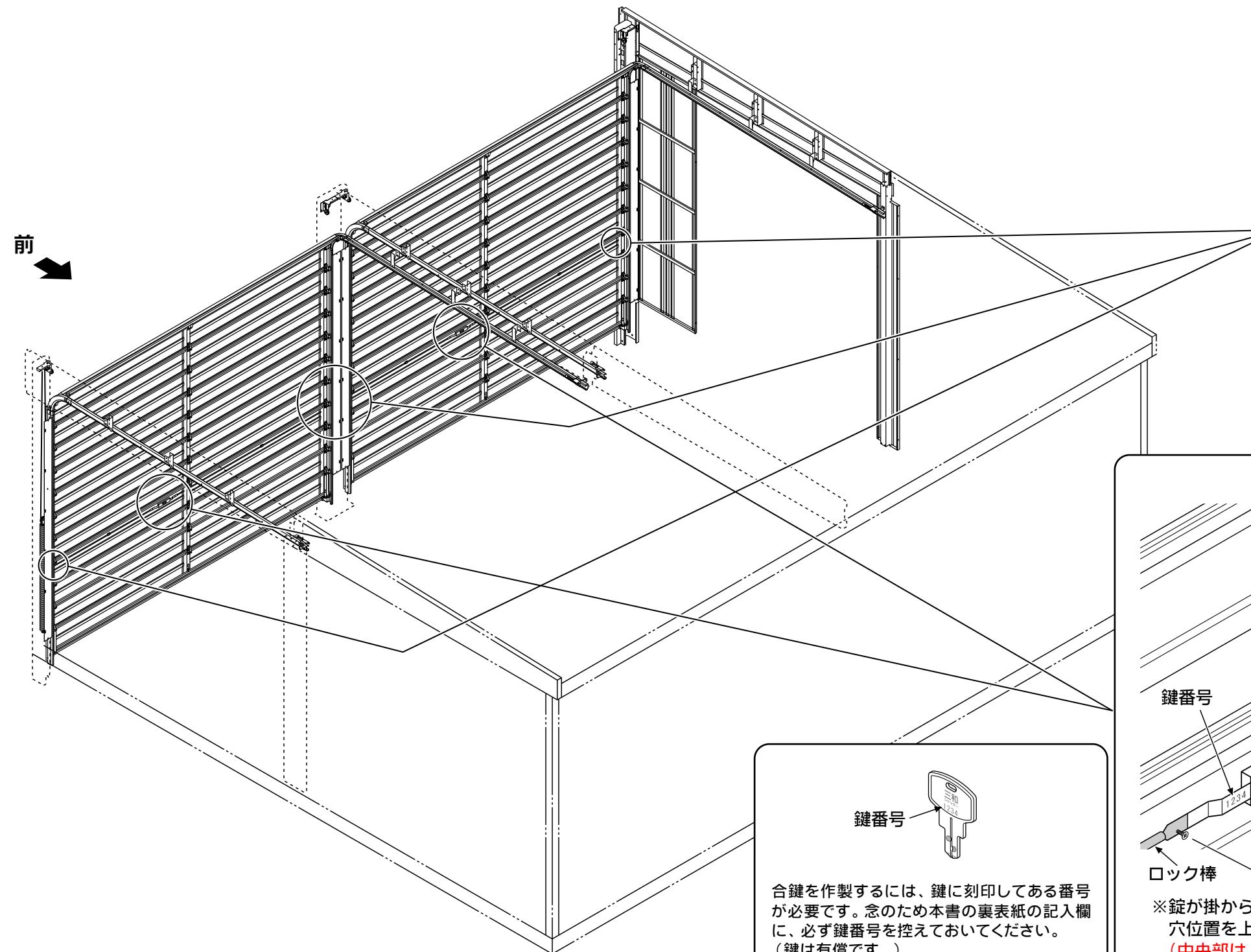


- ・ 土間作業を行う前に、扉がスムーズに開閉できるか確認してください。もし、扉のたてつけが悪いときは、前コーナー柱を微調整してください。
- ・ 転倒予防のため、必ず転倒予防措置を行ってください。
- ・ 14~17ページの基礎施工図を参照してください。
- ・ 前コーナー柱・前柱連棟の穴にコンクリートを打ち込みます。
- ・ 土間コンクリートを打ち込み、コテでならします。
- ・ コンクリートが十分に固まった後、間口仮固定棒をはずします。



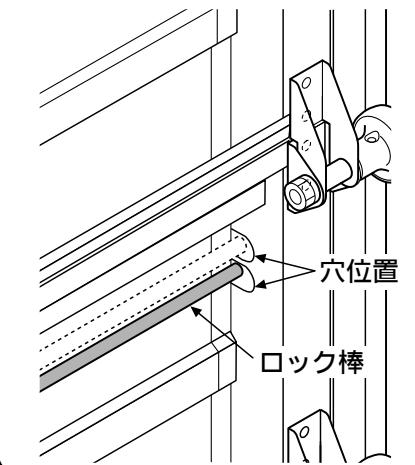
34. 錠穴の調整 (ベルフォーマ: オーバースライド扉の場合)

※土間コンクリート乾燥後、錠穴の調整をしてください。

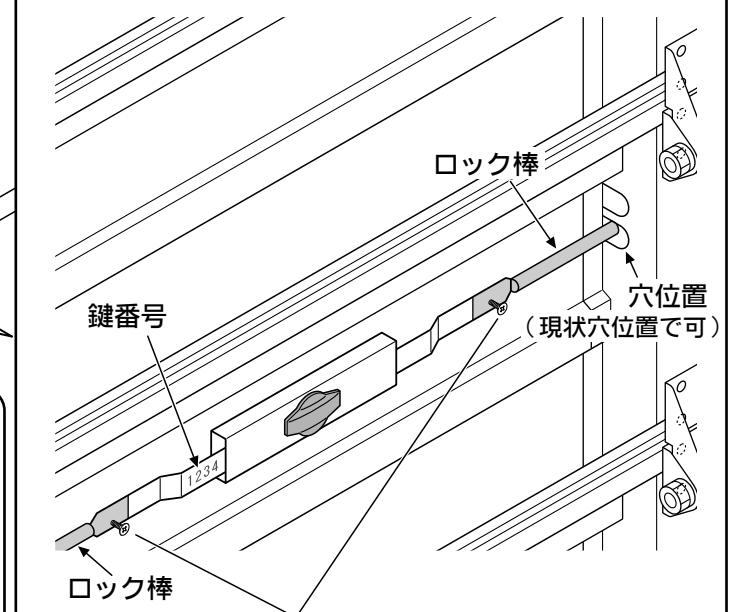


左右部(下図は内観右)

※錠が掛からないときは、一旦中央部ねじをはずしてロック棒の穴位置を上にしてください。



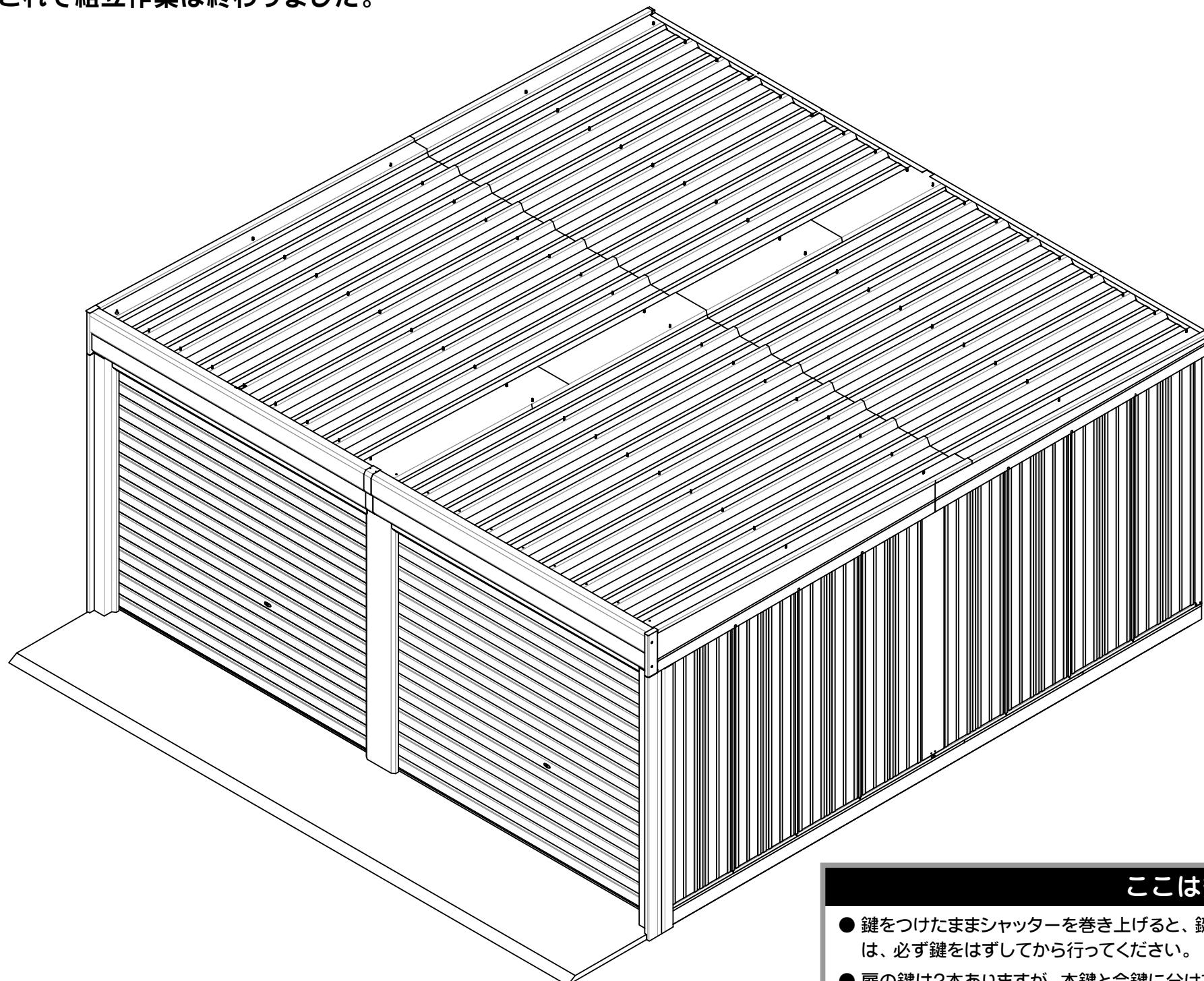
中央部



※錠が掛からない時は、ねじをはずして左右部の穴位置を上にしてください。
(中央部は、下側のままで結構です)

35. 完成

これで組立作業は終わりました。



ここは気をつけて！

- 鍵をつけたままシャッターを巻き上げると、鍵を巻き込む恐れがありますので、シャッターの巻き上げは、必ず鍵をはずしてから行ってください。
- 扉の鍵は2本ありますが、本鍵と合鍵に分けて紛失しないように保管してください。(鍵をかけたまま、なくされるお客様が多くおられます。)もし、2本の内1本をなくされた場合は、お早めに購入された販売店までお問い合わせください。(合鍵を作製するには鍵に刻印してある番号が必要です。)本書の裏表紙の記入欄に、必ず鍵番号を控えておいてください。なお、鍵は有償です。)

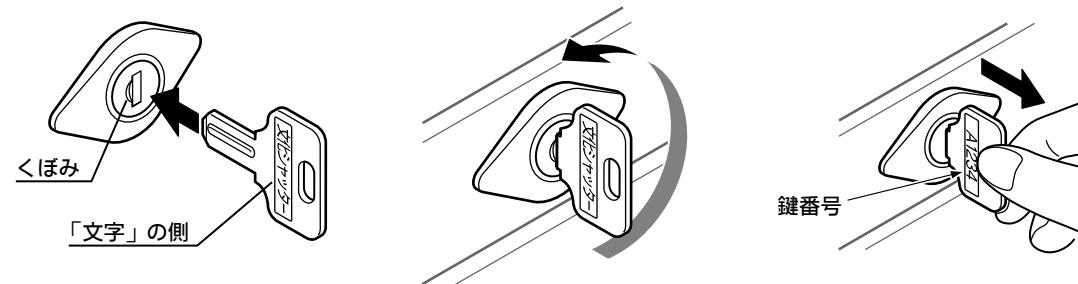
36. カールフォーマ: 巻取シャッターのご使用方法

!**注意**

- カギをかける前に、シャッターが下端まで完全に閉鎖していることを、必ず確認してください。
- ロックバーを持って開閉しないでください。バーが曲がってカギがかかりにくくなる恐れがあります。

開け方

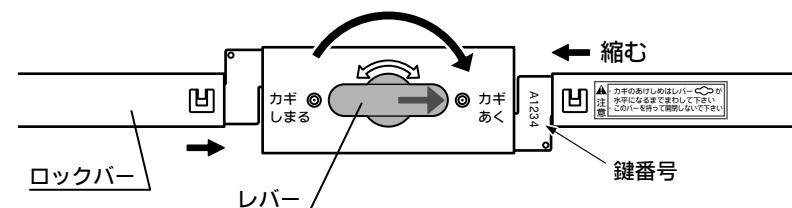
1 カギを開ける〈屋外から〉



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、反時計回りに半回転させます。

必ず、カギを抜いてからシャッターを開けてください。

カギを開ける〈庫内から〉



レバーを時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギあく」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

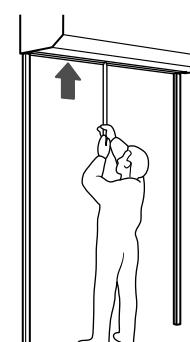
2

手掛けを持って、水切りが胸の位置にくるくらいまで静かに引き上げます。



3

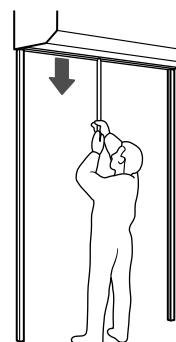
フック棒を水切りの穴に掛け、静かに押し上げます。



閉め方

1

フック棒を水切りの穴に引っかけ、胸の位置くらいまで静かに引き下げます。



2

フック棒をはずし、手掛けを持って最下部まで静かに下げます。



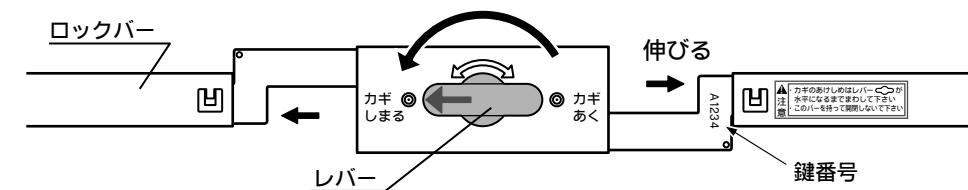
3 カギをかける〈屋外から〉



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、時計回りに半回転させます。

施錠後は、必ずカギを抜いてください。

カギをかける〈庫内から〉



レバーを反時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギしまる」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

製品名	タクボガレージ：
品番	
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒 お名前 電話番号 () -
販売店又は作業店	店名 電話番号 () -
力ギ番号	
備考	

上記の表にご記入の上、本書を紛失されないよう大切に保管してください。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所(AM9:00～PM5:00)まで、お気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場 〒799-1392 愛媛県西条市北条962-7 0898(65)5000(代)
 仙台営業所 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12 022(783)3360(代)
 東京営業所 〒132-0001 東京都江戸川区新堀1丁目6-5 03(3698)2205(代)
 埼玉営業所 〒362-0066 埼玉県上尾市大字領家91-1 048(783)0771(代)
 横浜営業所 〒226-0028 横浜市緑区いぶき野31-14 045(984)1891(代)
 名古屋営業所 〒485-0081 愛知県小牧市横内字下割子287-21 0568(74)5506(代)
 大阪営業所 〒561-0891 大阪府豊中市走井3丁目1-2 06(6844)3300(代)
 広島営業所 〒731-0231 広島市安佐北区亀山4-11-54 082(814)6690(代)
 高松営業所 〒761-8075 香川県高松市多肥下町1529-8 087(865)1349(代)
 松山営業所 〒790-0062 愛媛県松山市南江戸2丁目4-10 089(922)4300(代)
 福岡営業所 〒812-0888 福岡市博多区板付7丁目11-15 092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)